

平成25年度

岩手県農業研究センター 年報

平成27年2月

目 次

I 農業研究センターの概要

1 組織機構・職員数	I - 1
2 会議、委員会、部会等の運営	I - 2
(1) 農業試験研究推進会議等の開催	I - 2
ア 新規試験研究課題の評価と選定	
イ 試験研究成果の採択	
ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価	
エ 岩手県農業技術開発会議	
オ 試験研究推進アドバイザー	
(2) 機関評価委員会	I - 6
(3) 企画運営会議、全体会議	I - 6
(4) 委員会等の運営	I - 9
ア ほ場管理委員会	
イ 研究報告等企画編集委員会	
ウ 参観デー等企画運営委員会	
エ 特許審査委員会	
オ 岩手県立農業ふれあい公園管理運営委員会	
カ 環境美化委員会	
キ 職員衛生委員会	
ク 原種等生産管理委員会	
ケ その他	
(5) その他会議	I - 11
ア 全国農業関係試験研究場所長会議	
イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議	
ウ 全国畜産関係試験研究場所長会議	
エ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議	
オ 岩手県試験研究機関評価に係る公設試所長等会議	
カ 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針検討会議	
キ 東北農業試験研究推進会議	
ク 東北地域研究・普及連絡会議	
ケ 県内で開催された関係学会	
コ 北東北3県農業試験研究センター企画室長等会議	

II 試験研究の推進

1 研究活動の概要	II - 1
2 トピックス	II - 2
(1) 特許・品種登録出願状況	II - 2
(2) 表彰等受賞状況	II - 2
(3) 特定課題調査検討チームによる検討及び連携プロジェクトによる研究推進	II - 2

3 研究室・課の動き	II-	4
(1) プロジェクト推進室	II-	4
(2) 企画管理部	II-	4
(3) 技術部	II-	5
(4) 環境部	II-	8
(5) 病害虫防除部	II-	9
(6) 畜産研究所	II-	10
(7) 県北農業研究所	II-	12
4 平成25年度試験研究課題	II-	13
(1) 細目課題分類	II-	13
(2) 試験研究課題一覧	II-	14
(3) 平成26年度試験研究を要望された課題とその措置一覧	II-	23
5 共同研究等の推進	II-	24
(1) 食料生産地域再生のための先端技術展開事業	II-	24
(2) 農林水産省委託プロジェクト研究事業	II-	24
(3) 新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業	II-	25
(4) 研究成果最適展開支援事業	II-	26
(5) その他独法等からの委託	II-	26
(6) 民間委託試験	II-	26
(7) (公財)岩手生物工学研究センターとの共同研究	II-	26
(8) 他の公設試との共同研究	II-	27
(9) AFR(岩手農林研究協議会)研究会	II-	27
(10) その他共同研究	II-	27
(11) 産学官連携	II-	28
6 現地試験の実施	II-	29
III 試験研究の成果		
1 試験研究成果	III-	1
(1) 平成25年度成果数	III-	1
(2) 平成25年度成果名一覧	III-	2
2 追跡評価	III-	5
(1) 評価視点	III-	5
(2) 追跡評価の調査方法	III-	5
3 東北農業試験研究成果	III-	6
(1) 研究成果数	III-	6
(2) 研究成果名	III-	6
IV 試験研究成果の発表		
1 試験成績書等刊行物	IV-	1
2 研究レポート	IV-	2
3 岩手県農業研究センター研究報告	IV-	4
4 学会等研究報告	IV-	5
(1) 学術論文	IV-	5
(2) 学会発表	IV-	6

5 雑誌等掲載	IV- 10
(1) 専門雑誌等	IV- 10
(2) 月刊農業普及	IV- 10
(3) 岩手の畜産	IV- 10
(4) 岩手りんごタイムス	IV- 11
(5) その他の雑誌等	IV- 11
6 新聞等掲載	IV- 13
7 テレビ・ラジオ放送	IV- 16
(1) テレビ	IV- 16
(2) ラジオ	IV- 16
8 指導資料等掲載	IV- 17
9 図書資料収集・提供	IV- 19
10 ホームページ	IV- 19

V 指導・啓発活動

1 技術伝達研修等への対応	V- 1
2 現地指導・研修会等への講師派遣	V- 4
3 視察者、見学者の受け入れ状況	V- 16
4 春季一般公開及び参観デー	V- 16
5 現地ふれあい農業研究センター	V- 16
6 一日子供農業研究員	V- 16
7 農業科学博物館、農業ふれあい公園、加工工房(加工体験)の利用者	V- 16
8 研修生の受け入れ	V- 17
(1) 海外研修	V- 17
(2) 北東北3県連携にかかる人事交流(研修)	V- 17
(3) 短期研修生	V- 17
(4) 体験学習の受け入れ	V- 17
ア 小中学校の「総合的な学習の時間」等に対応したもの	
イ 高等学校、大学の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの	
ウ インターンシップ等に対応したもの	
9 協議会、委員会等委員	V- 19

VI 職員研修

1 大学院派遣	VI- 1
2 海外派遣・研修	VI- 1
3 国内研修への派遣	VI- 1
(1) 依頼研究員	VI- 1
(2) 北東北3県研究職員交流(職員派遣)	VI- 1
(3) 農林水産関係研究リーダー研修	VI- 1
(4) 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修	VI- 1
(5) 農林水産関係研究者研修	VI- 1
(6) その他	VI- 2
4 所内研修等	VI- 7
(1) 岩手県総務部人事課主催研修	VI- 7
(2) 岩手県農林水産部主催研修	VI- 9
(3) 所内研修	VI- 9
5 所内セミナー等	VI- 10

VII 試験研究以外の業務概要

1 作物の原々種の採種	VII-	1
(1) 主要農作物種子法に基づく原々種種子の生産	VII-	1
(2) その他原々種種子の生産	VII-	1
2 作物の原種の採種	VII-	2
(1) 主要農作物種子法に基づく原種種子の生産	VII-	2
(2) その他原種種子の生産	VII-	2
3 種苗等の配布	VII-	3
(1) 主要農作物種子法に基づく種苗の配布	VII-	3
(2) その他種苗の配布	VII-	4
4 県有種雄牛の精液の供給	VII-	5
(1) 黒毛和種	VII-	5
(2) 日本短角種	VII-	5
5 種豚、種鶏等の配布	VII-	6
(1) 種豚の配布	VII-	6
(2) 銘柄鶏の配布	VII-	6
6 寄託放牧	VII-	6
(1) 牛	VII-	6
(2) 馬	VII-	6

VIII 人事、予算、財産

1 岩手県農業研究センター予算	VIII-	1
2 建物、用地の面積及び飼養家畜数	VIII-	2
(1) 建物・用地の面積	VIII-	2
(2) 飼養家畜頭数	VIII-	2
3 種苗登録、特許等	VIII-	3
(1) 種苗登録	VIII-	3
(2) 特許、実用新案	VIII-	5
(3) 一般に公開しているプログラム等	VIII-	5
4 表彰	VIII-	6
5 職員名簿	VIII-	9

IX 東日本大震災津波への対応

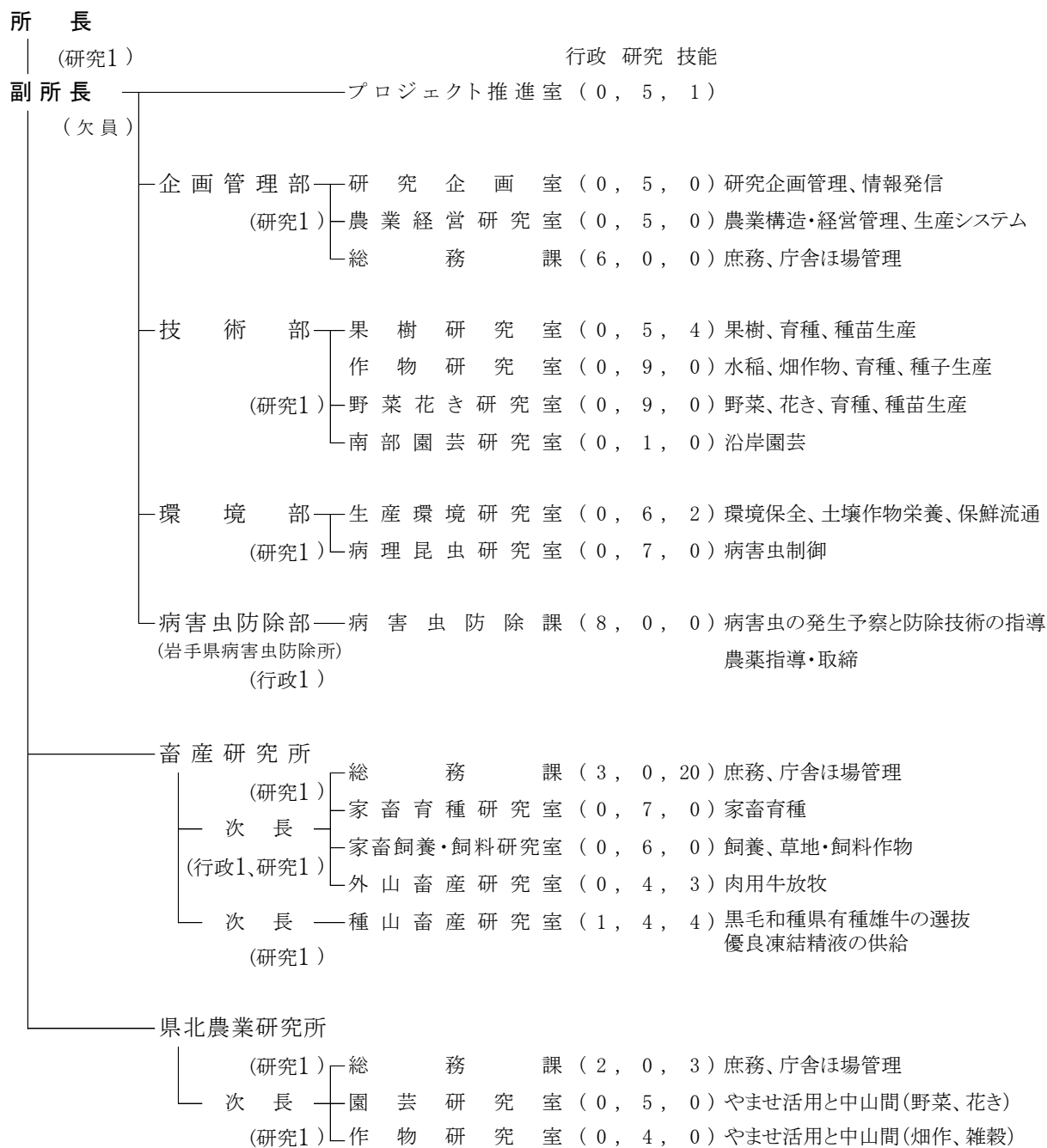
1 農業研究センター復旧・復興支援プロジェクトチームの活動	IX-	1
(1) 地域の復旧・復興対策会議等への対応	IX-	1
(2) 復旧支援業務の実施	IX-	1
(3) 復興支援業務の実施	IX-	1
2 放射性物質に係る農業技術対策調査検討チームの活動	IX-	1
3 復旧・復興支援の取組み紹介	IX-	1

X 沿革	X-	1
------	----	---

I 農業研究センターの概要

I 農業研究センターの概要

1 組織機構・職員数



〈職員数〉

	本 部		畜産研究所			県北農業研究所	合 計
	(北上市)	南部園芸研究室 (陸前高田市)	(滝沢村)	外山畜産研究室 (盛岡市玉山区)	種山畜産研究室 (住田町)	(軽米町)	
行政	15	0	4	0	1	2	22
研究	57	1	15	4	5	11	93
技能	7	0	20	3	4	3	37
合計	79	1	39	7	10	16	152

※欠員の職員3名(副所長、本部環境部生産環境研究室員、県北研園芸研究室長)及び本部技術部作物研任期付研究員研究員1名を含む。

2 会議、委員会、部会等の運営

(1) 農業試験研究推進会議等の開催

ア 新規試験研究課題の評価と選定

(ア) 第1回内部検討会議

a 開催日及び参加範囲

部会名等		農産・園芸	県北振興連携プロジェクト	畜産
開催日		H25.8.6(火)	H25.8.7(水)	H25.8.8(木)
参加範囲	(公財)岩手生物工学研究センター	○	—	—
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	○	○	○
	各家畜保健衛生所	—	—	○
	農業大学校	○	○	○
	各農業改良普及センター	○	○	○

b 協議事項

- (a) 平成26年度試験研究を要望された課題とその措置(案)について
- (b) 平成26年度新規試験研究課題(案)について
- (c) 平成25年度試験研究成果(案)について
 - 注1) 試験研究成果案は農産部会で1課題提案

(イ) 第1回外部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等	農産	園芸			畜産	県北振興連携プロジェクト
		(果樹)	(野菜)	(花き)		
開催日	H25.9.9(月)	H25.9.9(月)	—		H25.9.12(木)	H25.9.13(金)
参加範囲	試験研究推進アドバイザー	○	○	開催せず	○	○
	東北農政局盛岡地域センター	—	—		—	—
	全国農業協同組合連合会岩手県本部	○	○		—	○
	岩手県農産物改良種苗センター	○	○		—	○
	岩手県植物防疫協会	○	○		—	○
	岩手家農菜卸商業協同組合	○	○		—	○
	岩手県農業公社	—	—		○	—

注1) 園芸部会(野菜・花き)は平成26年度新規試験研究課題の提案が無いため、開催せず

注2) 畜産部会、県北振興連携プロジェクトには試験研究推進アドバイザーの他、生産者、生産組合に出席要請

b 協議事項等

- (a) 平成26年度新規試験研究課題について
- (b) 平成25年度試験研究成果(案)について
 - 注1) 試験研究成果案は農産部会で1課題提案

(ウ) 第1回評価調整会議

- a 開催日 平成25年9月30日(月) 13:00～
- b 協議事項等
 - (a) 平成26年度実施要望課題の措置について
 - (b) 平成26年度新規試験研究課題(案)について
 - (c) 平成25年度試験研究成果(案)について
- c 参集範囲
 - 農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長

イ 試験研究成果の採択

(ア) 第2回内部検討会議

- a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産	園芸			畜産
			(果樹)	(野菜)	(花き)	
開催日		H25.12.2(月)	H25.12.6(金)	H25.12.3(火)	H25.12.6(金)	H25.12.4(水)
参集範囲	(公財)岩手生物工学研究センター	—	—	—	○	—
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○	○	○
	各広域振興局農政担当及び農林振興センター	○	○	○	○	○
	各家畜保健衛生所	○	○	○	○	○
	農業大学校	○	○	○	○	○
	各農業改良普及センター	○	○	○	○	○

- b 協議事項
 - (a) 平成25年度試験研究成果(案)について
 - (b) その他

(イ) 第2回外部検討会議

- a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産	園芸			畜産
			(果樹)	(野菜)	(花き)	
開催日		H26.1.9(木)	H26.1.15(水)	H26.1.17(金)	H26.1.15(水)	H26.1.14(火)
参集範囲	試験研究推進アドバイザー	○	○	○	○	○
	東北農政局盛岡地域センター	○	—	—	—	—
	全国農業協同組合連合会岩手県本部	○	○	○	○	—
	岩手県農業共済組合連合会	○	—	—	—	○
	岩手県土地改良事業団体連合会	○	—	—	—	—
	岩手県農産物改良種苗センター	○	○	—	○	—
	岩手県植物防疫協会	○	○	○	○	—
	岩手県農薬卸商業協同組合	○	○	○	○	—
	岩手県農業公社	○	—	—	—	○
	岩手県農業機械協会	○	—	—	—	—
	岩手県果樹協会	—	—	—	—	—
	岩手県畜産協会	—	—	—	—	—
	家畜改良事業団盛岡種雄牛センター	—	—	—	—	○

注1) 園芸部会(果樹)、畜産部会には試験研究推進アドバイザーの他、生産者、生産組合に出席要請

- b 協議事項
 - (a) 平成25年度試験研究成果(案)について
 - (b) 研究トピックスの紹介について
 - (c) その他

(ウ) 第2回評価調整会議

- a 開催日 平成26年1月27日(月) 13:00～
- b 協議事項
 - (a) 平成25年度試験研究成果(案)について
 - (b) その他
- c 参集範囲
 - 農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長

ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価

(ア) 第3回内部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等	プロジェクト 推進室・技 術部(作物 研)	企画管理部	技術部		環境部	畜産 研究所	県北農業 研究所	
			(果樹関係)	(野菜花き・ 南部園芸)				
開催日	H26.3.5(水)	H26.3.5(水)	H26.2.27(木)	H26.2.27(木)	H26.3.3(月)	H26.3.4(火)	H26.2.26(水)	
参集 範囲	(公財)岩手生物工学研究センター	—	—	—	○	○	—	○
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○	○	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	○	○	○	○	○	○	○
	各家畜保健衛生所	—	—	—	—	—	○	—
	農業大学校	○	○	○	○	○	○	○
	各農業改良普及センター	○	○	○	○	○	○	○

b 協議事項

- (a) 平成26年度試験研究課題の試験設計について
- (b) その他

(イ) 第3回評価調整会議

- a 開催日 平成26年3月17日(月) 13:00～
- b 協議事項
 - (a) 年度評価・事後評価について
 - (b) 平成26年度新規試験研究課題について
 - (c) 試験研究推進計画の改訂について
 - (d) その他
- c 参集範囲
農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長

エ 岩手県農業技術開発会議

(ア) 第1回

- a 開催日 平成26年2月6日(木) 15:00～
- b 報告・協議事項
 - (a) 農業研究センターにおける技術開発について
 - (b) 沿岸被災地の農業復興に向けた試験研究の取組について
 - (c) 生物工学研究センターにおける技術開発について
- c 参集範囲
(公財)岩手生物工学研究センター
農政担当技監、農政関係各室課、生物工学研究所、農業大学校、中央農業改良普及センター
農業研究センター所長、各部長、各研究所長、各研究所次長、プロジェクト推進室長

オ 試験研究推進アドバイザー

所属部会	氏名	役職名	出席者	
			第1回	第2回
農産 (水稲)	新田 義修	岩手県立大学総合政策学部准教授	○	○
	高橋 信	岩手県農業農村指導士 (有)高橋農産・代表取締役	○	○
	大谷 隆二	東北農業研究センター生産基盤研究領域農業機械グループ・上席研究員	○	○
	菅原 久耕	有限会社ファーム菅久・代表		○
農産 (畑作)	千葉 丈	全農岩手県本部営農対策部・部長	○	○
	片山 勝之	東北農業研究センター 水田作研究領域(大仙研究拠点)・上席研究員	○	
	熊谷 匡章	有限会社下館農産・代表取締役	○	
園芸 (果樹)	小森 貞男	岩手大学農学部農学生命課程・准教授	○	○
	阿部 和幸	果樹研究所 リンゴ研究領域 上席研究員	○	○
	小岩 克宏	岩手県果樹協会・副会長岩手県農業農村指導士	○	○
	富山 司	岩手県農業農村指導士	○	○
園芸 (野菜)	高野 寛子	岩手県青年農業士	○	○
	由比 進	東北農業研究センター畑作園芸研究領域・上席研究員		○
	門田 育生	東北農業研究センター生産環境研究領域・上席研究員		○
	三浦 正美	岩手県農業農村指導士		○
	橋本 正成	(株)銀河農園 代表取締役		○
園芸 (花き)	高橋 泰	全農岩手県本部園芸部・次長		○
	稲本 勝彦	東北農業研究センター畑作園芸研究領域野菜・主任研究員		○
	高橋 俊一	(株)T&Gバイオナーサリー・代表取締役		○
	遠藤 満	八幡平市花き研究開発センター・主任技師		○
畜産	南川 信一	元岩手県農業農村指導士		
	押部 明德	東北農業研究センター・畜産飼料作研究領域 領域長	○	○
	吉田 勝栄	(一社)岩手県畜産協会 経営支援部次長		○
	築城 幹典	岩手大学農学部農学生命課程・教授		○
	小原 克也	全農岩手県本部畜産酪農部・次長		○
	高橋 先雄	岩手県農業農村指導士	○	
	田村 正仁	岩手県農業農村指導士	○	○
白戸 綾子	(独)家畜改良センター岩手牧場・場長	○	○	
			15 名	24 名

(2) 機関評価委員会

ア 開催日・場所 平成25年11月13日(水) 岩手県農業研究センター 畜産研究所

- イ 議題 (ア) 視察調査(畜産研究所畜舎)
 (イ) 意見交換(H23年度機関評価結果に対応した取組及び今後の方針について)
 (ウ) 委員講評

ウ 機関評価委員

- (ア) 外部評価(6人) 石黒 潔 氏(東北農業研究センター企画管理部長)
 (五十音順) 小野 正一 氏(県農業農村指導士)
 小野寺 純治 氏(岩手大学地域連携推進センター副センター長・教授)
 菊池 勝 氏(全農県本部副本部長)
 高畑 義人 氏(岩手大学農学部教授)
 新田 義修 氏(岩手県立大学総合政策学部准教授)
 (イ) 所員 所長、各部長、各研究所長、事務局等

(3) 企画運営会議、全体会議

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
25.4.5(金)	特別会議室	(第1回企画運営会議) 1 協議事項 (1) 平成25年度業務方針(案)について 2 連絡・報告事項 (1) 平成25年度当初予算について(06.01.11.,06.02.05 農業研究センター費) (2) 平成25年度競争的研究資金応募課題採否状況について(H25.4.4現在) (3) 特定課題検討チーム、連携プロジェクトチームについて (4) 災害発生時における職員配備体制及び非常招集連絡系統図について (5) 農業研究センター全体会議について (6) 平成25年度広報計画について (7) 各部長・研究所長から情報提供 (8) 平成25年度年間行事計画及び4,5月の行事予定について
25.4.12(金)	大会議室	(全体会議) ○第1部 センター本部職員(室課長、チーム長、転入者、新採用職員+研究所次長・室課長) (1) 試験研究推進に係る諸規程等について (2) 適正経理の実施について (3) 情報セキュリティの徹底について (4) 苦情処理マニュアルについて (5) その他 ○第2部 所長、各部長・研究所長・次長、センター本部全職員 (1) 農業研究センター機関評価に対応した取組について (2) 農業研究センター研究推進計画について (3) 平成25年度業務方針について ア 組織のプロフィール、基本方針、職員の資質向上、組織運営課題 イ 各部・研究所の取り組み基本方針及び重点事項について (ア) 企画管理部 (イ) 技術部 (ウ) 環境部 (エ) 病虫害防除部 (オ) 畜産研究所 (カ) 県北農業研究所 (キ) プロジェクト推進室 (4) 東日本大震災津波に係る取り組みについて (ア) 「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 (イ) 「放射性物質に係る農業技術対策調査検討チーム」 (5) その他

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
25.5.27(月)	特別会議室	(第2回企画運営会議) 1 協議事項 (1) 平成25年度機関評価の進め方について (2) 試験研究推進計画(後期計画)作成の進め方について (3) 次期プロジェクト研究課題に係る特定課題調査検討チームの編成について (4) 競争的資金への応募課題について(県北農業研究所) (5) 試験研究課題計画書(様式1)の変更について(プロジェクト推進室) 2 連絡・報告事項 (1) 平成25年度競争的研究資金応募課題採否状況等について (2) 試験研究推進アドバイザー候補者について (3) 一日こども研究員の開催について (4) 「第56回東北農業試験研究発表会」発表課題応募状況について (5) 広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績(3月～7月)について (6) 各部長・研究所長からの情報提供等 (7) 先端プロの概要説明 (8) 6月の行事予定
25.7.8(月)	県北農業研究所 特別会議室	(第3回企画運営会議) 1 協議事項 (1) 機関評価(内部①)に係る評価資料について (2) 総括課長会議(7.26)に係る取組状況報告事項について 2 連絡・報告事項 (1) 第1回内部検討会議について (2) 平成25年度競争的研究資金応募課題の採否状況等について (3) 一日こども研究員の対応について (4) 農業研究センター参観デーの開催について (5) 第56回東北農業試験研究発表会への対応について (6) 広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)実績・計画について (7) 県職員Ⅰ種 農学職現場見学会について (8) 次期プロジェクト課題検討チームの検討経過について (9) 先端技術展開事業の実施状況について (10) 各部長・研究所長からの情報提供 (11) 7、8月の行事予定
25.9.30(月)	特別会議室	(第4回企画運営会議) 1 協議事項 (1) 機関評価について 2 連絡・報告事項 (1) 平成26年度当初予算要求について (2) 外部資金研究費の節別配分額について (3) 研究報告第13号について (4) 広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)実績・計画について (5) 各部長・研究所長からの情報提供 等 (6) 先端技術展開事業の実施状況について (7) 10月の行事予定

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
25.10.28(月)	特別会議室	(第5回企画運営会議) 1 協議事項 (1) 機関評価委員会について (2) 試験研究推進計画(後期計画)の作成について (3) 研究報告第13号の掲載論文等について (4) 外部資金研究応募課題について(プロジェクト推進室) (5) 災害対策マニュアルの一部改正について 2 連絡・報告事項 (1) 試験研究推進会議 第2回内部検討会について (2) 平成24年度追跡評価結果について (3) 平成26年度依頼研究員の派遣について (4) 広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)実績・計画について (5) 各部長・研究所長からの情報提供 等 (6) 先端技術展開事業の実施状況について (7) 11、12月の行事予定
25.11.25(月)	特別会議室	(第6回企画運営会議) 1 協議事項 (1) 試験研究推進計画(後期)骨子案について (2) 研究報告第13号審査結果について 2 連絡・報告事項 (1) 平成26年度当初予算要求について (2) 第2回外部検討会議の日程について (3) 広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)実績・計画について (4) 各部長・研究所長からの情報提供 等 (5) 先端技術展開事業の実施状況について (6) 12、1月の行事予定
26.1.27(月)	特別会議室	(第7回企画運営会議) 1 協議事項 (1) 外部資金研究応募課題について (2) 農業技術開発会議(2/6)への対応について (3) 試験研究推進計画(後期)骨子案について 2 連絡・報告事項 (1) 第3回内部検討会議(設計)の開催について (2) 平成25年度年報の作成について (3) 広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)実績・計画について (4) 各部長・研究所長からの情報提供 等 (5) 2月の行事予定
26.3.17(月)	特別会議室	(第8回企画運営会議) 1 協議事項 (1) 平成26年度業務方針(案)について 2 連絡・報告事項 (1) 機関評価(内部)②の結果について (2) 平成26年度試験研究課題実施に係る確認について (3) 平成26年度実施予定の外部資金研究課題について (4) 平成26年度依頼研究員の派遣について (5) 平成26年度農業研究センター全体会議の開催について (6) 各部長・研究所長からの情報提供 等 (7) 3～4月の行事予定

(4) 委員会等の運営

ア ほ場管理委員会

開催月日	活動事項	内 容
25.4.30	作業部会打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
25.5.29	技術部圃場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
25.6.25	技術部圃場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
25.7.25	技術部圃場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
25.8.26	技術部圃場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
25.9.3	技術部圃場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
25.12.20～25	野鼠防除	○野鼠防除

イ 研究報告等企画編集委員会

(ア)委員会

開催月日	場所	内 容
25.10.28	本部特別会議室	農業研究センター研究報告第13号への掲載論文等の審査(採否)について
25.11.25	本部特別会議室	農業研究センター研究報告第13号への掲載論文等の審査結果について

(イ)幹事会

開催月日	場所	内 容
(開催なし)		

ウ 参観デー等企画運営委員会

(ア)委員会

開催月日	場所	内 容
(開催なし)		

(イ)幹事会等

(本部関係)

開催月日	場所	内 容
25.6.25	本部2階小会議室	(1) 平成25年度岩手県農業研究センター本部参観デー開催計画について ア 平成24年度の反省点について イ 平成25年度の参観デー開催計画について ウ 今後のスケジュール(予定)について (2) 参観デー開催期間における外部機関からの共催及び会場借用依頼について (3) 生物学研究所一般公開について (4) その他
25.7.29	本部2階小会議室	(1) 平成25年度岩手県農業研究センター本部参観デー開催計画について ア 開催計画について(イベント内容について) イ 動員について (2) 生物学研究所一般公開について (3) その他
25.8.21	本部2階小会議室	(1) 平成25年度岩手県農業研究センター本部参観デー開催計画について ア 準備作業、事前の注意事項について イ 当日の注意事項について (2) 生物学研究所一般公開について (3) その他
25.8.26	本部2階中会議室	平成25年度岩手県農業研究センター本部参観デー全体説明会 (1) 平成25年度岩手県農業研究センター・中央農業改良普及センター合同参観デーについて (2) 生物学研究所一般公開について (3) その他

(畜産研究所関係)

開催月日	場所	内 容
25.8.2	セミナー室	岩手県全国農業機械実演展示会に併せて開催 (1) 展示内容について (2) 準備、当日の対応者について

(県北農業研究所関係)

開催月日	場所	内 容
25.5.30	ミーティング室	(1)実行委員会の設置について (2)準備状況について (3)今後の進め方及びスケジュールについて
25.9.2	ミーティング室	(1)実施計画の確認(確定)について(全体説明会) (2)準備役割分担の最終確認について (3)今後の準備作業の最終確認について

エ 特許審査委員会

開催月日	場所	内 容
25.5.27	本部2階特別会議室	(1)アワ品種「アワ岩手糯3号(ゆいこがね)」の勤務発明審査について
25.10.28	本部2階特別会議室	(1)勤務発明「植物体茎部を熱交換することによる葉温制御法」の審査について

オ 岩手県立農業ふれあい公園管理運営委員会

開催月日	場 所	内 容
25.6.4	農業科学博物館	(1)管理運営報告及び事業計画について

カ 環境美化委員会

開催月日	場 所	内 容
25.4.5	1階小会議室	(1)平成24年度環境美化委員会活動実績について (2)平成25年度環境美化委員会活動計画について

キ 職員衛生委員会

開催月日	場 所	内 容
25.7.3	特別会議室	(1)平成24年度事業実績について (2)平成25年度事業計画(案)について
26.2.25	特別会議室	(1)平成25年度定期健康診断の結果について (2)職場安全点検結果について (3)事業実施状況について (4)農業研究センター労働安全等予防システム運用状況について

ク 原種等生産管理委員会

開催月日	活動事項	内 容
25.7.17		(1)生産計画 (2)圃場・施設の状況確認
25.8.1~2	平成25年度東北六県主要農作物原種・原々種生産に係わる情報交換会(秋田県)参加(1名)	(1)各県生産状況・意見交換 (2)現地視察
25.8.5~6 25.8.20	第1回外部審査	(1)水稲原種・原々種外部審査(出穂期)
25.9.4~5 25.9.9 25.9.17	第2回外部審査	(1)水稲原種・原々種外部審査(糊熟期)
26.2.7	第3回外部審査	(1)水稲および大豆原種・原々種外部審査(生産物)
26.2.24	第2回委員会	(1)25年度の実績について (2)26年度の計画について

(5) その他会議

ア 全国農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
25.6.25	東京都港区 (三会堂ビル 9階 石垣記念ホール)	全国農業関係試験研究場所長会総会 1 平成25年度全国農業関係試験研究場所長会通常総会 2 平成25年度研究功労者表彰式

イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
25.9.26～27	宮城県名取市及び 山元町 (宮城県農業・園芸総合 研究所)	1 協議・検討事項 (1) 研究レベル維持のための研究員の人材育成のあり方について (2) 競争的研究資金の現状と課題について (3) 震災復興及び放射性物質対策への取組みについて (4) 全国農業関係試験研究場所長会の今後の取組について (5) 平成26年度研究功労者表彰について 2 現地調査 (1) JAIいわて花巻雑穀乾燥調製施設(花巻市) (2) 花巻市葡萄が丘農業研究所(花巻市) (3) (株)エーデルワイン(花巻市) (4) (株)銀河農園(紫波町)

ウ 全国畜産関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
25.6.14	東京都文京区 (全国家電会館)	1 協議 (1)平成24年度事業報告及び収支決算について (2)平成25年度事業計画及び収支予算について (3)平成25年度会費の額及び徴収方法について 2 畜産研究功労者表彰

エ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議

開催月日	場 所	内 容
25.9.18～19	秋田県大仙市 (秋田県畜産試験場)	1 重点研究課題・連携(共同)研究について 2 国・独立行政法人に対する要望、意見について 3 畜産研究功労者表彰の推薦について 4 優秀畜産技術者表彰候補者の推薦について 5 意見交換会の内容についての企画案について 6 外部資金獲得について

オ 岩手県試験研究機関評価に係る公設試所長等会議

開催月日	場 所	内 容
開催なし		

カ 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針検討会議

開催月日	場 所	内 容
25.9.18	盛岡市 (エスポワールいわて)	防除指針作成会議(農業普及技術課主催): 作成に係る基本方針の周知等
25.11.12～13	北上市 (農業研究センター)	分科会(農業普及技術課主催): 防除機指針の原案及び要望事項の検討
25.12.18～19	北上市 (農業研究センター)	平成25年度県防除指針の改正内容について(病害虫防除所主催): チェック結果の妥当性の検討
26.2.10	盛岡市 (エスポワールいわて)	防除指針作成会議(農業普及技術課主催): 防除指針(案)の決定

キ 東北農業試験研究推進会議

開催月日	場 所	内 容
【稲推進部会】		
25.8.29～30	青森県黒石市 (青森県産業技術センター農林総合研究所)	○水稲品種立毛検討会
25.8.22～23	現地調査 雫石町、矢巾町 検討会議 盛岡市	○直播研究会並びに水稲直播等低コスト技術現地検討会 1 東北農政局より情報提供 2 各県における水稲直播栽培等の導入状況と推進方向 3 総合討議 「岩手県における水稲直播栽培の普及状況と直播研究の取組について」 「水稲湛水直播における雑草対策」 「乾田直播における乾電気の雑草対策：3葉期以降のノビエの葉齢進展について」
26.1.28～29	盛岡市 (アイーナ)	○稲栽培研究会 1 研究会『『Google Mapによる気象予測データを利用した農作物警戒情報』等の高品質安定生産への活用方法』 2 研究成果情報候補課題の検討
26.1.28～29	盛岡市 (アイーナ)	○稲品種検討会 1 新品種候補系統の概要 2 品種の作付動向と要望される品種 3 奨励品種決定基本調査関係の検討 4 品種・育種関係研究成果情報の検討 5 育種関係情報交換 6 高温耐性品種育成に向けての特性基準の検討
26.1.29	盛岡市 (アイーナ)	○直播研究会 1 新しい直播栽培法についてのマニュアル作成への取り組み 2 マニュアル作成協力会議 (1)鉄コーティング分科会 (2)乾田直播分科会
26.1.29	盛岡市 (アイーナ)	○稲課題検討会
【畑作物推進部会】		
25.8.21～22	宮城県大崎市 (宮城県古川農業試験場)	○畑作物栽培研究会 先端的な生産技術の導入による新たな営農技術実証の検討
25.9.18	滝沢村 (滝沢村ふるさと交流館)	○東北ソバ研究会 東北地方のソバ生産及び研究(生産動向、機械播種、輪作、品種開発)の現状
26.1.29	盛岡市 (アイーナ)	○畑作物栽培研究会 1 検討会「大豆および小麦の多収化戦略」 2 研究成果情報候補課題の検討
26.1.29	盛岡市 (アイーナ)	○畑作物品種検討会 1 研究成果情報(畑作物品種関係)の検討 2 夏畑作物の有望品種・系統の成績及び次年度配布計画の検討 (1)奨励品種改廃・採用予定及び有望品種・系統(各県) (2)大豆の有望品種・系統(育成地) (3)特産作物(ソバ、ハトムギ、雑穀等)の有望品種・系統(育成地、各県)
26.1.29	盛岡市 (アイーナ)	○畑作物課題検討会
26.1.30	盛岡市 (アイーナ)	○畑作物推進部会 本会議 1 検討会・研究会報告 2 重点検討事項「畑作物における雑草対策」 3 現場段階での重要な技術的課題の検討 4 農業新技術200X候補および1.5年プロ候補の選定

開催月日	場 所	内 容
【農業生産基盤推進部会】		
25.9.3	盛岡市 (東北農業研究センター)	○東北地域農業経営研究会(夏期) 1 担い手の育成・確保に向けた農地集積の課題と解決方向
25.8.22～23	郡山市 (福島県農業総合センター)	○作業技術研究会 農作業安全への取組と課題
26.2.4～5	盛岡市 (東北農業研究センター)	○作業技術研究会 1 重点検討事項「攻めの農林水産業に対応した東北地域土地利用型農業の展開に資する作業技術的課題」 2 成果情報の検討・確認 3 トラクタ転倒通報アプリ連絡試験の結果について 4 「農業新技術200X」及び「1.5年プロ」候補課題の選定 5 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討 6 平成26年度作業技術研究会(夏期)についての意見交換
26.2.4～5	盛岡市 (東北農業研究センター)	○農業経営研究会 1 研究成果情報候補の検討 2 「農業新技術2015」候補の選定 3 重点検討事項「地域営農モデル」実現に向けた農業経営研究の課題 4 今後想定される産学官連携研究候補課題の検討 5 現段階での重要な技術的課題 6 平成26年度新規研究課題の検討 7 夏期研究会の次年度開催計画
26.2.5	盛岡市 (東北農業研究センター)	○農業生産基盤推進部会 本会議 1 研究会の報告 2 平成25年度主要研究成果の検討結果報告 3 農業新技術20XX候補及び1.5年プロ候補の選定 4 重点検討事項:「攻めの農林水産業に対応した土地利用型農業の地域営農モデルと技術的課題」 5 現場段階での重要な技術的課題の検討 6 その他
【生産環境推進部会】		
25.7.9～10	福島県郡山市 (福島県農業総合センター)	○土壌肥料研究会(夏期) 1 農耕地からの温室効果ガス発生削減に対応した試験研究の現状と課題 2 東日本大震災に対応した試験研究の現状と課題
25.9.3～4	大仙市	○病害虫研究会(夏期) 1 土地利用型作物で広域に発生する病害虫の被害実態とその対策
26.1.29～30	盛岡市 (東北農業研究センター)	○土壌肥料研究会 1 研究成果情報の検討 2 検討事項特別講演「東北大学大学院農学研究課の震災復興支援の取組み」 「東日本大震災に対応した試験研究の現状と課題」 「温暖化傾向に対応した試験研究の現状と課題」
26.1.29～30	盛岡市 (アイーナ)	○病害虫分科会 病害研究会 1 研究成果情報の検討 2 平成25年度試験研究成績の検討
		○病害虫分科会 虫害研究会 1 研究成果情報の検討 2 平成25年度試験研究成績の検討
26.1.30	盛岡市 (東北農業研究センター)	○農業気象研究会 1 研究成果情報の検討 2 検討事項「近未来に想定される代表的な営農モデルとその実現に向けた技術開発」等の検討
26.1.30	盛岡市 (東北農業研究センター)	○生産環境推進部会 本会議 1 研究成果情報の検討 2 現場段階での重要な技術的課題の検討 3 重検討事項 「近未来に想定される代表的な営農モデルとその実現に向けた技術開発」 「東日本大震災に対応した試験研究の現状と課題」 5 各県からの研究情勢報告

開催月日	場 所	内 容
【畜産飼料作推進部会】		
25.8.28～29	山形市 (ホテルサンルート山形) (山形テルサ)	○夏期研究会 1 分科会 大家畜:①気象変動による家畜生産 ②自給飼料活用による飼料効率向上技術 飼料作:①気象変動による飼料作への影響の現状と対策 ②草地の簡易更新および植生改善技術 2 全体会議 分科会の報告 3 シンポジウム 気象変動と東北畜産の対応戦略を探る
26.1.30～31	盛岡市 (アイーナ会議室)	○畜産飼料作推進部会 本会議 1 重点検討事項 成長戦略の実現に寄与し得る畜産技術 2 現場段階での重要な技術的課題への取り組み 3 主要成果の紹介及び農業新技術200x候補の選定 4 平成26年度「主要新規試験研究計画」の検討 5 その他 6 外部専門委員による講評
26.1.31	盛岡市 (アイーナ会議室)	○牧草飼料作物優良品種選定ネットワーク推進会議 1 飼料用とうもろこし品種の選定試験 2 優良品種選定試験 3 その他
【野菜花き推進部会】		
25.7.18～19	宮城県	○野菜研究会(夏期) 1 野菜の大規模経営における技術的課題
25.8.27～28	福島県郡山市	○花き研究会(夏期) 1 東北地域における花き生産の深化に向けた育種と技術
26.2.3～4	盛岡市 (東北農業研究センター)	○野菜花き推進部会 本会議 1 重点検討事項「露地野菜花き栽培に及ぼす気象変動の影響と対策」の検討 2 研究成果情報候補課題の採択 3 現場段階での重要な技術的課題の検討
【果樹推進部会】		
25.8.22～23	岩手県北上市、奥州市	○果樹研究会(夏期) 1 リンゴ早生品種の開発動向と栽培上の課題 2 研究戦略に係わる総合討議
26.1.28～29	盛岡市 (サンセール盛岡)	○果樹推進部会 1 平成25年度成果情報 2 重点検討事項:寒冷地果樹における高温対策技術～細霧冷房を考える～ 3 現場段階での重要な技術的課題 4 主要新規試験研究計画の概要 5 今後の会議の運営
26.2.4～5	つくば市	○落葉果樹研究会 1 全体会議 高品質果実安定生産に向けた水分管理技術開発の展望 2 樹種別合同検討会 ナシ、カキ、核果類、ブドウ、土壌肥料
26.2.6～7	盛岡市 (サンセール盛岡)	寒冷地果樹研究会 1 全体会議 寒冷地果樹の鳥獣害対策に向けて カラス・ネズミの生態と被害防止技術 2 分科会 栽培)差樹栽培における雪害対策の現状と課題 病害)最近増加傾向にある果実腐敗の発生要因と防除対策 虫害)寒冷地果樹におけるシンクイムシ類の発生状況と防除対策 土壌・肥料)リンゴ有機栽培に関する科学的知見の蓄積と課題

開催月日	場 所	内 容
【研究戦略会議】		
25.10.17	盛岡市 (東北農業研究センター)	1 今後の東北農業に係る試験研究の推進 (「東北地域が目指すべき営農モデル」の検討) 2 東北地域研究・普及連絡会議への提案事項の検討 (農業新技術200X、国の施策で対応すべき技術的課題候補)
【本会議】		
26.2.19	盛岡市 (東北農業研究センター)	1 「地域営農モデル」に基づく試験研究の推進 1) モデルに含めるべき構成要素の検討 2) バックキャストによる重要研究課題の抽出 3) 専門分野間の連携を必要とする課題の取組について 2 その他

ク 東北地域研究・普及連絡会議

開催月日	場 所	内 容
25.10.22～23	陸前高田市(現地圃場) 北上市(農業研究センター)	出席者: 所長 1 現地検討会(先端プロ実証圃場視察) 2 連絡会議 ・「国の施策で対応すべき技術的課題」候補の選定について ・「農業新技術2014」候補の選定について ・意見交換

ケ 県内で開催された関係学会

開催月日	場 所	学 会 名 ・ 内 容
(開催なし)		

コ 北東北3県農業試験研究センター企画室長等会議

開催月日	場 所	内 容
25.11.7	青森市 (青森県庁 北棟)	1 研究職員交流の取組について 2 試験研究連携の取組について 3 情報交換(各県の取組み、秋田県の組織再編、攻めの農林水産業等)

II 試験研究の推進

II 試験研究の推進

1 研究活動の概要

岩手県では、平成 21 年度から平成 30 年度までの 10 年間の計画となる「いわて県民計画」を平成 21 年 12 月に策定した。この「いわて県民計画」に基づき、農林水産部では、農林水産分野の長期的な技術開発の方針として『農林水産技術立県いわて』技術開発基本方針（以下「技術開発基本方針」という。）を策定した（平成 22 年 3 月）。

技術開発基本方針に基づき、農業研究センターでは平成 26 年度までに取り組む具体的なアクションプラン「岩手県農業研究センター試験研究推進計画」を策定した（平成 22 年 3 月、平成 24 年 3 月研究期間を 30 年度まで延長し改訂）。

技術開発基本方針の 6 つの農業技術開発の方向に即し、19 分野 56 の取組により、安全・安心で高品質な農畜産物を効率的・安定的に生産するための高度な技術の開発を進め、「農林水産技術立県いわて」の確立に取り組んでいる。

平成 25 年度の試験研究にあたっては、以下の 3 つの基本方針に沿って、新規 13、継続 111、合計 124（小課題数ベースで、分野を重複する小課題はカウントしている）の研究課題に取り組んだ。

- 1 顧客の視点に立った試験研究等業務の着実な推進
〔
 - ・ 所得向上につながる普及性の高い技術開発
 - ・ 産地づくりをリードする革新的な技術開発など〕
- 2 プロジェクト研究の推進によるスピーディーな課題解決
〔
 - ・ 課題設定から普及定着まで、研究、行政、普及、地域が一体的に推進
 - ・ 連携軸強化による効率的・効果的かつ戦略的な技術開発〕
- 3 情報発信の強化による県民への業務の「見える化」の推進
〔
 - ・ 知的財産の実用化促進
 - ・ 研究成果活用・PR 強化〕

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災等への対応として設置した「震災復旧・復興支援プロジェクトチーム」を「震災復興加速プロジェクトチーム」に改組し（平成 25 年 7 月 1 日）、沿岸地域における復興に向けた技術的、経営的ニーズへの積極的対応、実証試験を通じた技術の導入・開発に取り組んだ。

また、「放射性物質に係る農業技術対策調査検討チーム」では、過去 2 年間の調査結果を踏まえ、大豆及び果樹についてモニタリング調査を実施し、カリ施用による大豆のセシウム吸収抑制効果や果樹の枝におけるセシウム濃度の推移を確認した。放射性物質については、特に牧草や大豆での吸収を低減する技術開発を行った。

県独自予算の研究に加え、競争的資金等の活用や産学官連携による共同研究を推進し、農産部門で 25 課題（うち新規 5 課題）、畜産部門で 5 課題、合計 30 課題の共同研究に取り組んだ。中でも、農林水産技術会議の「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の「中山間地域における施設園芸技術の実証研究」並びに「ブランド化を促進する農産物の生産・加工技術の実証研究」の「果樹類」及び「野菜類」の 3 課題については代表機関として、また、共同研究機関として「中小区画土地利用型営農技術の実証研究」に取り組んだ。

産学官連携では、水稻、小麦及び大豆で実需者や加工業者等との情報交換会を開催するとともに、いわて産学官連携フォーラム等に出展して研究成果を積極的に PR し、新たなニーズの掘り起こしを行った。

知的財産では、「アワ岩手糯 3 号」を品種登録出願し、また、「植物体茎部を熱交換することによる葉温制御法」について特許出願した。

新たな黒毛和種基幹種雄牛として「古都乃花」（ことのはな）、「平安茂福」（ひらやすしげふく）、「月山桜」（がっさんざくら）の 3 頭を指定した。

本年度の試験研究から得られた成果は、内部及び外部（試験研究推進アドバイザー・生産者等）の評価を経て、64 の研究成果（普及区分 13、指導区分 39、行政区分 10、研究区分 2）にとりまとめ公表した。

平成 24 年度に設置した機関評価委員会を、11 月 13 日に畜産研究所を会場として開催し、昨年度の評価意見に対応した本年度の取組状況や試験研究の進捗状況等を報告するとともに、試験研究全般に関し意見交換を行った。

2 トピックス

(1)特許・品種登録出願状況

区分	出願・登録内容	担当
特許	切断器具（果樹摘果用はさみ） 【特許出願番号 特願 2013-084786 号(2013/4/15)】	技術部 果樹研究室
	植物の栽培方法及び植物の栽培装置 【特許出願番号 特願 2014-51011 号(2014/3/14)】	技術部 野菜花き研究室
種苗登録	アワ ゆいこがね(アワ岩手糯 3 号) 【出願番号 27998、登録出願 2014/2/5】 ・粒が大きく多収で黄色い糯性のアワ品種	県北農業研究所 作物研究室
	りんどう いわて夢みのり(いわて LB-2 号) 【登録番号 22946、登録 2014/1/23】 ・9月下旬開花の切り花向け青色リンドウ F ₁ 品種	技術部 野菜花き研究室

(2)表彰等受賞状況

ア 平成 25 年度農林水産部長職員表彰(グループ表彰)

技術部南部園芸研究室が、「新技術実用化による復興イチゴと沿岸地域への導入」により著しい業績をあげたとして、農林水産部長職員表彰を受けた(平成 25 年 10 月 30 日)。

南部園芸研究室では、イチゴ栽培で課題となる省力化、コスト低減、安定生産を解決するため、当時開発中であった「高設栽培装置及びこれを用いた高設栽培方法」(特許 4900735 号)の実用性を高め、県内企業(東日本機電開発(株))と協力して市販品「らく・エコ・ハンモック」を完成させた。

さらに、未利用資源であった県産杉の樹皮を培養土に用いることで、被災した耕地土壌を使わず、かつ廃液を出さずに省力的で安定生産を可能とする岩手オリジナルのイチゴ高設栽培技術を実用化したこと等が評価されたもの。

イ 平成 25 年度東北土壤肥料協議会藤原彰夫研究奨励賞

生産環境研究室佐藤喬 上席専門研究員が、津波被災農地での自然降雨による EC 推移についての研究成果が、土壤肥料に関する調査・研究などの活動で優れた業績として評価され、東北土壤肥料協議会藤原彰夫研究奨励賞を受賞した(平成 25 年 7 月 9 日)

なお、当該協議会は、東北6県の試験研究機関、東北農業研究センター、大学の土壤肥料関係研究者および肥料製造メーカー等で構成される産官学が一体となった組織であり、当表彰は、協議会員を対象として、毎年、土壤肥料に関する調査・研究等で優れた業績を残し、今後活動が期待される研究者に贈られるものである。

(3)特定課題調査検討チームによる検討及び連携プロジェクトによる研究推進

ア 特定課題検討チーム*

なし

(*多岐にわたる課題あるいは今後重要と見込まれる事項について研究的観点から検討するチーム)

イ 連携プロジェクト**

(**多岐の研究部門にまたがる研究課題を短期間に、効率よく解決するために編成するプロジェクト)

(ア)プロジェクト名及び構成

分野	プロジェクト名	研究内容	チーム員	協力
個別課題解決	リンドウこぶ症連携プロジェクト [H21~]	◎リンドウこぶ症対策に係る試験研究	環境部 技術部	・(公財)岩手生物工学研究センター ・中央農業改良普及センター
	水稻種子病害対策連携プロジェクト [H24~]	◎水稻細菌病類を主体とした種子伝染性病害防除対策に係る試験研究並びに指導機関と連携した技術対応	環境部 技術部	・病害虫防除所 ・中央農業改良普及センター

(イ) 取組概要

名称	検討内容	検討結果
リンドウ こぶ症	りんどうこぶ症関連ウイルス(GKaV)の伝搬経路を探索し、こぶ症の発生原因を解明するため、連携プロジェクトを継続。GKaVの病原性について研究を進めている生工研とも連携を図る。 ○第1回チーム会議(H25.5.21)	○新規課題「りんどうこぶ症関連ウイルス(GKaV)の伝搬経路の探索(H25-27:県単)」の実施計画の確認 ○生工研の共同研究課題「先端的かつ岩手県独自の病害診断システムの構築に向けた基礎技術の開発」の実施計画の確認
水稻種子 病害対策	新規課題の進捗状況確認 ○第1回チーム会議(H25.5.28) ○第2回チーム会議(H26.2.7)	○第1回チーム会議 本年度の試験計画の確認 育苗センター等巡回結果の情報共有 ○第2回チーム会議 本年度実施した試験結果の検討 次年度研究計画の検討 本年産種子の保菌状況調査結果の共有

ウ 復興加速プロジェクトチーム

平成23年3月11日に発生した東日本大地震津波で甚大な被害を被った沿岸地域の農業の復旧・復興に向けた具体的な技術支援対策を実施するため設置した「震災復旧・復興支援プロジェクトチーム」を「復興加速プロジェクトチーム」に発展改組し(平成25年7月1日)、農林水産省の委託研究予算(食料生産地域再生のための先端技術展開事業、農林水産省委託、平成25～29年度)を獲得して、復興に資する大規模な実証研究を開始した。

この実証研究は、地域の特徴に合わせた営農技術の実用化並びに経営の姿を6つの経営体における実証を通じて明らかにするものである。農商工連携や観光と結びついた高付加価値化、素材の科学的な評価や新品種を基にしたブランド化、地域の木質資源やICT技術を駆使した低コスト生産技術などを経営面からも評価しつつ総合的に組み立てて普及定着を図っていく内容で、県内外の民間企業・大学・研究機関28機関が取り組んでいる。さらに、沿岸広域振興局、大船渡農業改良普及センター及び中央農業改良普及センターが普及支援組織として協力している。

平成25年度は開始1年目であり、まだ完成された実用成果を示すことはできなかったが、木骨ハウスなど実規模の低コスト施設の建造、有望な野菜品目の地域適応性の検討、りんご早期成園化のためのフェザー苗養成技術や北限のユズ栽培の実証、土地利用型作物の適品種の選定、小型汎用コンバインを核とする低コスト栽培技術の実証など、非常に幅広い取り組みを展開した。また、農業経営面でも沿岸被災地におけるビジネスモデルの構築に向け、実証経営体の総合的な分析評価やコンサルティングを実施した。

エ 放射性物質に係る農業技術対策調査検討チーム

東京電力福島第一原子力発電所事故の事故による放射性物質への対策を講じるため、農業研究センターと中央農業改良普及センターで「放射性物質に係る農業技術対策調査検討チーム」を設置し(平成23年9月)、環境部長をチーム長として、これまで、県産農産物のモニタリング調査や吸収抑制対策等に取り組んだ。

平成25年度は、過去2年間の調査研究の結果、米、野菜、果実などからは放射性セシウムはほとんど検出されないことが明らかとなったことから、調査対象を絞り込み、果樹の剪定枝および土壌における放射性セシウムの経年変化の調査と平成25年度の農作物放射性濃度検査でセシウムが検出された大豆を対象として土壌の要因調査を行った。

調査結果は、これまでの知見と同様、放射性セシウムが検出された大豆は、土壌中の交換性カリ含量が少ないことが要因であり、土壌中の放射性セシウムは、壊変によって、おおむね理論値どおりに減少した。

3 研究室・課の動き

(1)プロジェクト推進室

水稻の湛水直播栽培安定多収技術の開発、及び水田転換畑における麦・大豆の安定多収を実現する新技術等の開発を行い、これらを軸に、土地利用型作物の低コスト生産技術の確立と体系化に取り組んだ。また、沿岸南部地域において本年度から「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の取組みを開始した。

業務推進にあたっては、競争力・社会貢献力のある技術シーズの開発を目指し、現地実証試験やビジネスパートナーとのコミュニケーションの強化によって、生産現場に即した技術の実用化を図った。

<水稻直播栽培の安定多収技術の開発>

県内で急速に普及拡大している水稻鉄コーティング湛水直播栽培技術について、その特徴を整理し、本県のような寒冷地における苗立ち安定化技術について明らかにした。(研究成果:普及区分 水稻鉄コーティング湛水直播の最適コーティング量と本田初期管理。指導区分 水稻鉄コーティング種子作製用鉄粉の造粒・発熱特性の比較。指導区分 水稻鉄コーティング湛水直播栽培技術の特徴)。

<水田大豆・小麦の多収、低コスト技術の開発>

水田転換畑における作物の生産性向上技術の開発を進めた。大豆については、小畦立て播種栽培に適応できる機械除草技術を開発した。小麦については、湿害軽減播種技術として、大豆小畦立て播種と同じ仕様でできる単条広幅小畦立て播種技術を開発した。(研究成果:指導区分 水田大豆の小畦立て栽培に対応できる改良型ディスク式除草機の効果。指導区分 大豆小畦立て播種と同じ仕様でできる小麦の単条広幅小畦立て播種栽培)。

開発技術については、農業改良普及センターからの要請により現地実証を実施した。大豆の機械除草技術については、奥州市水沢区、江刺区において行い、実証農家からは好評価が得られた。また、小麦の密条小畦立て播種についても、花巻市、奥州市水沢区において実証し、湿害軽減効果が確認された。

<食料生産地域再生のための先端技術展開事業>

「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」(中小区画土地利用型営農技術の実証研究)(代表機関:(独)東北農業研究センター)に参画し、東日本大震災からの早期復興をねらいとして、土地利用型作物の低コスト・省力・安定生産技術の実証試験を開始した。陸前高田市において水稻直播栽培技術、大豆小畦立て播種栽培技術、大槌町においてソバ畦立て播種栽培技術を実証した。また、これらの3種の作物を1台の小型汎用コンバインで収穫する技術の実証試験を実施した。

(2)企画管理部

研究企画室

農業試験研究のアクションプランである「農業研究センター試験研究推進計画」に基づき、研究員の円滑な試験研究の支援、生産者や県民に開かれた農業研究センターを目指し、以下の事項について重点的に取り組んだ。

<顧客視点の試験研究の推進>

顧客のニーズに対応した試験研究を推進するため、農業農村指導士会の部会研修会での意見交換(7・8月)で、顧客である農業者等のニーズを把握した。

試験研究推進計画については、前期5年間の研究実績を踏まえ、平成26年度から平成30年度までの後期計画を策定した。

試験研究推進の仕組みについては、研究課題の収集方法や研究成果の追跡評価方法を見直すとともに、平成23年度に制度化した試験研究推進アドバイザーを研究会議において活用し、顧客目線での助言を得た。

センター運営や試験研究推進に対する外部評価を得るため設置した機関評価委員会を畜産研究所において11月13日に開催した。畜産研究所での日本短角種雄牛の育成状況の見学と南部かしわの試食後、昨年度の評価意見への対応状況や試験研究に関し、質疑と意見交換を行った。

本年度から実施している食料生産地域再生のための先端技術展開事業を適正に執行するため、本部職員に対して事業説明会や経理事務研修会を開催した。

また、競争的研究資金等への応募のため、資金情報の提供や研究計画作成への助言を行うとともに、共同研究を推進

するため、いわて産学官連携フォーラムへ出展し、研究シーズを大学・企業等へ紹介した。

<アウトカムを意識した研究成果の普及と情報発信>

研究センターの業務内容や研究成果の周知を図るため、マスコミへのプレスリリースやホームページにより積極的な情報発信を行なった。プレスリリースは年間22回(前年36回)行い、マスコミでの報道件数は62件(前年82件)であった。ホームページでは年間354万件(前年332万件)の閲覧数があり、また、研究活動の現在(いま)を分かり易く伝える「らば・れたあ」をメールやホームページにより年間77件(前年70件)発信した。さらに、Twitterによる情報発信では、ホームページの更新情報を中心にツイート数1,082回、フォロワー増加数310名であった。

センターを一般に開放する参観デーや一日子供農業研究員を開催した。

参観デーは8月30・31日に開催し、来場者数は約2,500名と前年並みであった。また、一日農業研究員は8月1日に「害虫とただのムシ」として開催し、北上市及び花巻市の小学生16名が参加した。果樹用農薬飛散制御型防除機に関する現地セミナーを独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援センターと共同開催するとともに、農業における放射性物質対策技術研修会を開催した。また、震災被災地である陸前高田市でいちごの高設栽培技術を紹介する現地ふれあい農業研究センターを開催し、研究最終年度となった非主食用稲の直播技術等の研究成果に関する公開シンポジウムを青森市及び盛岡市で開催した。

<専門知識と技術を有する人材育成>

研究員の資質向上については、「農業研究センター研究員育成プログラム」(平成19年3月策定)に基づき、センター研究員研修計画を策定した。この研修計画にもとづき、依頼研究員等(3名)に研究員を派遣するとともに、可能性(FS)調査に2件2名を派遣した。また、北東北三県研究職員交流では、秋田県から2名を受け入れた。

予算管理面では、経理事務検討チームにより構築した「新たな予算の執行管理システム」を運用して、予算管理を行うとともに、「不正防止計画」に基づいたモニタリングと内部監査の実施により適正な経理事務を支援した。また、研究備品の更新計画をローリングした。

農業経営研究室

生産性の高い農業経営構造の確立に向け、①本県主要農産物の競争ポジショニングの提示、②沿岸地域農業の復興に資するビジネスモデルの提示、③営農計画作成支援情報の提供を研究の柱として業務に取り組んできた。

- ① 本県主要農産物の競争ポジショニングの提示では、「きゅうり」の需要動向について東京都中央卸売市場の統計分析により、岩手県は卸売数量の伸び率、市場シェアとも低い状態にあることを明らかにした。また、二戸の事例からヘルパー制度導入が反収向上に寄与することを示唆した。
- ② 沿岸地域農業の復興に資するビジネスモデルの提示では、高規格ハウスにより大規模園芸経営を目指す農業法人に対して、経営管理計画の立案支援や6次産業化による所得向上を目指す経営体の経営改善支援を行ってきた。特に(株)JAおおふなとアグリサービスについては、復興交付金のハード事業計画立案から支援を行い、事業採択後も平成26年夏からの施設稼働を円滑に行うため、栽培管理計画、労務管理計画に関して重点的に支援を行った。
- ③ 営農計画作成支援情報の提供では、(独)中央農業総合研究センターと連携し食料生産地域再生のための先端技術展開事業による研究を実施した。5か年の研究により、14品目の技術体系を組み立て岩手県生産技術体系の補完に資するとともに、先端技術の導入効果と導入条件に関する研究に取り組み、「将来の農業経営像」をシミュレーションするための判断材料を充足する。

(3)技術部

果樹研究室

果樹は、リンゴを主体に、ブドウ、西洋ナシ、オウトウ、ブルーベリーなどの樹種に係る試験を実施している。特に、早生から晩生までを網羅するオリジナルりんご品種の開発を掲げ、「つがる」に代わる早生品種と「ふじ」に匹敵する晩生種の開発を重点課題としている。また、温暖化によるリスクの解消、軽減を図るため、ツル割れや落葉遅延の原因解明を含め、凍霜害、裂果等のリスク対策の開発に努めると共に、果樹作業の軽労化につながる栽培技術の開発に向けた課題を実施している。

加えて、今年度から東日本大地震・大津波被害地域の復興を目的とした、国庫委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開研究」を導入し、リンゴ、ユズ、ブドウの生産・加工技術の実証研究として、センター内の他、陸前高田市に実証圃場を設置するなどし、被災地復興支援に取り組み始めた。

以上の取り組みから、今年度は以下の5つの研究成果を公表した。

- (1) リンゴ「紅いわて」は、デンプン反応指数2以下、糖度13%以上、満開起算日数130~140日を目安として収穫適期を判断し、果実全体に完全に着色した果実を収穫することで、高品質な果実が収穫できることを明らかにした。

- (2) リンゴ品種「紅いわて」「大夢」「はるか」「黄香」「もりのかがやき」は、摘果剤(NAC水和剤)による摘果効果が認められ、「大夢」「黄香」は満開 2 週間後、「紅いわて」「もりのかがやき」は満開3週間後で散布すると摘果効果が得られることを明らかにした。
- (3) リンゴ「はるか」は11月中旬に成熟する晩生の黄色品種で、糖度が高く、ミツが入り、食味が良好である。また、果台長が 25mm 以上の花叢に着果させた場合青み果の発生割合が高いことを明らかにした。
- (4) ブドウ「エーデルロツ」の花穂整形は、開花始期に副穂を除去し、花穂長を9cm 以上にし、花穂の先を切り詰めないことで、良好な果房が得られ、適性着果量は、1葉当たり、果実重で 13g 程度(1新梢当たり 0.75 房)であることを明らかにした。
- (5) おうとうの垣根仕立て栽培において、結実生の高い「紅秀峰」は適応性が高く、密植することで、立木仕立て栽培法よりも多くの初期収量を確保できることを明らかにした。

作物研究室

<水稲育種チーム>

水稲の奨励品種決定調査および水稲品種開発に取り組んだ。

(水稲品種)

奨励品種決定調査では、本調査において粳 7 品種・系統、糯 2 系統を供試し、現地調査では粳を 12 か所、糯を 2 か所で検討した。本調査と予備調査結果を踏まえ、粳の早生で「岩手 106 号」、「ふ系 238 号」、中生で「岩手 107 号」、「北陸 255 号」、晩生で「岩手 108 号」、「岩手 111 号」、糯で「ふ系糯 234 号」を 26 年度の本調査に供試することとした(試験研究成果書(行-02)、(行-03))。

(水稲育種)

いわてブランド米品種開発推進事業に取り組んだ。生産力検定本試験で 49 組合せ 98 系統を供試し、生育並びに収量調査および各種特性検定試験の結果に基づき、「岩手 112 号」(早生の中、多収、いもち極強)、「岩手 113 号」(中生の中、良食味、良質、多収)、「岩手 114 号」(晩生の中、良食味、良質、多収、耐冷性極強 10)、「岩手 115 号」(非主食用、中生の中、耐倒伏性強、直播適性に優れる)、「岩手 116 号」(飼料用、晩生の中、大粒、極多収)の 5 系統を選抜した(行-04)。

平成 22 年度から(独)東北農業研究センターおよび(地独)青森県産業技術センター農林総合研究所と共同で取り組んでいる「東北地域中北部向け多収品種の共同育成」は、23 年度から農林水産省委託プロジェクトの「国産飼料(1 系)コンソーシアム」の構成員として委託課題「11002c 多収でいもち病抵抗性・耐冷性・識別性を有する飼料用米品種の育成(東北地域中北部向けのいもち病抵抗性評価と多収性飼料用米系統の選抜)」において平成 26 年度まで取り組むこととしており、本年度の「岩手 116 号」(前出)を配布系統とした。

また、(公財)岩手生物工学研究センターと連携し、分子マーカーを用いた選抜に取り組んだ。特に、生工研を代表機関として共同課題「ひとめぼれゲノム資源を活用した重要遺伝子同定と実用品種育成」が「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」に移行採択され、本年度から 2 年計画で「ひとめぼれ」突然変異系統群並びに組み替え近交系の遺伝資源を材料として「ひとめぼれ」に極良食味、高度いもち病抵抗性、初期伸長性、耐倒伏性を導入し DNA マーカー選抜法により「スーパーひとめぼれ」を育成することとなった。

<作物栽培・種子チーム>

水稲・畑作物(麦類・大豆)栽培試験、同作柄解析、同品種選定、主要農作物(水稲・小麦・大麦・大豆)原種・原々種生産に取り組んだ。

(水稲栽培)

作況調査・作柄解析については、所内の作況試験データ(本部および県北研究所)・現地生育データ(農業改良普及センター)・気象データ(盛岡地方気象台)・土壌栄養(生産環境研究室)・病虫害(病理昆虫研究室)・作柄(東北農政局)・品質情報(同)を総合的に解析し、当年及び次年度以降の技術対策指導に供した(指-03)。当成果においては、平成 25 年度の特徴的な事項として寡照低温による穂数減少など作柄と品質に及ぼした影響と穂いもちの発生要因について詳細に解析した。

平成 20 年からの疎植栽培の試験結果を基に研究成果「岩手県における水稲品種「ひとめぼれ」の疎植栽培の特徴」(指-04)としてとりまとめた。「結の香」の栽培法を、研究成果「大吟醸酒向け水稲品種「結の香」の栽培の目安」(指-39)としてとりまとめた。

(麦類)

麦類奨励品種決定調査では、小麦 5 品種・系統、大麦 4 系統を供試した。小麦では「製パン適性に優れ穂発芽に強い超強力小麦「銀河のちから」」を研究成果(普-01)としてとりまとめ、奨励品種に採用した。

また、普及員等指導者の技術指導に資するため、試験研究成果として「平成 25 年岩手県産小麦の雨害による品質低下の要因」(指-09)をとりまとめた。

特性検定では、麦類耐寒雪性を(独)作物研究所からの請け負いで実施した。小麦および大麦をそれぞれ 70、50 品種・系統を供試した。

(大豆)

大豆奨励品種決定調査では、3 系統を供試し、「シュウリュウ(東北 166 号)」を有望として、「多収、高品質、豆腐加工適性に優れる大豆「シュウリュウ」」を研究成果(普-03)してとりまとめ、奨励品種に採用した。「シュウリュウ」の栽培法として、研究成果「多収、高品質大豆「シュウリュウ」の栽培法」、及び「除草剤ベンタゾン液剤に対する大豆「シュウリュウ」の反応特性および薬害を軽減する散布方法」(指-08)をとりまとめた。

また、普及員等指導者の技術指導に資するため、試験研究成果として「平成 25 年岩手県産大豆の生育経過の概要と特徴」(指-10)をとりまとめた。子実重は平年並となったが、収穫期の降雨の影響でしわ粒および変質粒等の被害粒が多かったことを示した。

立枯性病害抵抗性検定試験は、40 系統・品種を供試した。

(種子生産)

水稻種子生産(主要品種)では、原々種はうるち 4 品種 269kg、もち 2 品種 150kg、原種はうるち 8 品種 25,000kg、もち 1 品種 3,280kg を生産した。

小麦では、原種は「ナンブコムギ」を 2,880kg、「ゆきちから」を 3,900kg 生産した。大豆原々種は「シュウリュウ」を 75kg、原種は 2 品種「ナンブシロメ」を 1,745kg 生産した。また、小豆の原種を 2 品種 28kg 生産した。

野菜花き研究室

野菜花き研究室では、「農林水産技術立県いわて」の確立のため、以下の基本方針に沿って野菜、花きの作目毎 2 チーム体制で試験研究に取り組んでいる。(1)消費ニーズ及び将来の動向を見越した本県に適する花き(リンドウ)の新品種の育成・選抜、(2)顧客の視点に立った園芸品目の省力・低コスト生産技術の開発(3)生産の安定に直結する優良な原種苗等の正確かつ安定的な供給

<野菜チーム>

野菜は、「顧客の視点に立った園芸品目の省力・低コスト生産技術の開発」を着実に推進するため、果菜類では、施設栽培トマト、パプリカの高品質・安定多収技術、露地ピーマンの効率的施肥法、キュウリの土壌病害軽減技術、新形質キュウリの安定生産技術等に取り組んでいる。茎葉菜類では、国内生産量がほとんどない 11 月の促成アスパラガス栽培技術の確立、ハクサイの冬～春生産を可能にする新品種・作型の開発に向けた課題を実施している。

なお、今年度から東日本大地震・大津波被害地域の復興を目的とした、国庫委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開研究」を導入し、キュウリ、パプリカ、トマトの生産・加工技術の実証研究として、センター内の他、陸前高田市・大槌町に実証圃場を設置するなどし、被災地復興支援に取り組み始めた。

トマトでは、「長期安定収穫が可能なトマト栽培技術の確立」として、低温期に生じる障害果の発生回避技術確立による初期生産の安定化及び高温期における草勢管理技術の確立に取り組んだ。また、「中山間地域における施設園芸技術の実証研究」として「分散する中小規模園芸施設の効率的な管理技術の実用化実証」に取り組む、「養液栽培におけるハウストマト・キュウリの個体葉面積推定法」及び「ユビキタス環境制御システムに対応した簡易量管理給液ノードの開発」(ともに研究)として成果公表した。

パプリカは、新産地の育成を目指し、本県の夏期冷涼な気象を活かした安定生産技術について研究開発を行っており、「収穫量の時期別変動が小さいパプリカ安定栽培技術の確立」に取り組んだ。また、沿岸被災地域に復旧した水稻育苗施設の高度利用に資するため、簡易な隔離床栽培法を考案して実証を行い、設置及び撤去が容易であり実用性を確認した。また、軒高の低い育苗ハウスを有効活用するための収穫位置を低くするための育苗期摘心の効果を確認した。さらに、有望品種の選定を行った。

キュウリは、共同で開発した安価な「かん水同時施肥装置」を活用し、露地夏秋作型キュウリの栽培を行い、装置の性能に問題はなく、生育後半まで栽培が可能であることが確認された。また、被災した陸前高田市の主力品種である「大望」において、慣行の栽培法に比べ収量が3割増加した。なお、新形質キュウリであるスムーズキュウリが、日本型F1品種と同等の食感を有していることが明らかとなり、同じく新形質キュウリのペイトアルファキュウリは初期収量が優れていることを明らかにした。

ピーマンでは、中央農業総合研究センターの委託プロジェクトにより、低コスト養液土耕装置を利用した効率的施肥法に取り組んだ。適正なかん水管理により収量・品質向上と効率的な養液土耕による施肥量削減を目指して、所内試験の露地作型及び遠野市、九戸村の現地試験に取り組む、高い評価を得た。

アスパラガスでは、「岩手型アスパラガス伏せ込み促成栽培安定生産技術の確立」(24～26)により、新たな、休眠打破方法

や、低温の温度域の違いによる休眠打破効果の違い等のメカニズムを解明し確実に休眠打破を図る技術開発や、早期出荷が可能となる新作型の確立に取り組んでおり、「アスパラガス伏せ込み促成栽培に適した品種「ウィンデル」の特性」として成果公表した。(成果区分:普及)

この他、ハクサイでは、国独法、大学、民間種苗会社との共同研究課題「長日要求性素材を利用した極晩抽性ハクサイの新作型の開発」(H24~26)に取り組む、現時点の育成途中品種ではあるが、有望なF₁ 組み合わせを用い、ハウスとべた掛けの利用による3月どりの作型と露地における5月、6月どりの作型を実証した。

<花きチーム>

花きは、世界に発信する「リンドウ王国いわて」の確立に向けて、主産地としての優位性を維持するために、研究対象をリンドウに特化している。特に、市場の需要を満たし、さらには需要を作り出すためのオリジナル品種開発を最重点課題としている。

また、これまでに開発したオリジナル品種の原々種維持、原種増殖と種苗センターへの供給、生産性の高い省力・低コスト安定生産技術の確立に向けた課題を実施している。

リンドウの品種開発では、有望F₁ 系統の組合せ検定を実施し、既存晩生品種「ジョバンニ」(9月上中旬開花)の代替品種として有望な2系統を試験研究成果として取りまとめた。

併せて、既存極早生「キュースト」、「マシリイ」、および早生品種「イーハトーヴォ」、「マジエル」の代替品種を早急に育成すべく、有望F₁ 系統の組合せ検定を実施した。

また、平成23年度に品種登録出願した「いわて夢みのり」(いわてLB-2号)は、H26.1.23付けで品種登録が公表された(第22946号)。

「純系リンドウとDNAマーカーを利用した品種育成技術の開発」で得られた成果を活用し、未受精胚珠の培養により得られた倍加半数体個体に由来する系統のうち23系統から自殖種子を採種し、純系を用いたF₁ 採種を目指して19系統の特性調査を実施した。期待したとおり草姿や開花期が良く揃い、今後も引き続き供試系統を追加し、特性調査を進めていく予定である。

リンドウ種子供給に関して、原々種の安定採種、親株の大量増殖と供給に取り組む、ほぼ計画数量どりの親株を種苗センターに供給した。これら採種親株の管理について、種苗センター現地は場を確認しながら、毎月関係機関で検討会を実施した。

リンドウ系統の早晩性による温度反応差を把握し、適正な増殖条件の解明とリンドウにおける赤色や青色LED光光源を利用した増殖率向上技術を検討を目的とした「早晩性の違いによるリンドウ組織培養の増殖条件の確立」(H23~26)では、培養シュートでの赤色光での増殖を確認したものの、花芽形成もみられ、増殖への実用化は時間差が見られた。

この他、オリジナル極早生品種の株養成技術の開発など、現場からの要望課題について、引き続き取り組んでいる。

南部園芸研究室

南部園芸研究室は平成23年3月11日に発生した震災により研究施設等が全壊・流失したため、平成25年度も本部で研究を行った(平成26年1月6日から陸前高田市で業務再開)。トマト3段階心新栽培様式の確立試験は、これまで本部のは場で行なってきたが、年度途中から宮城県山元町の実証試験地内施設でシンターブランティング等試験を開始した。イチゴの夏秋どり作型に適する品種比較試験では、夏季高温条件下であったが、収量・品質面で優れる「すずあかね」が有望と認められ、成果としてまとめた。今年度で終了となる実用技術開発事業課題「涼しい夏を活かす!国産夏秋イチゴ安定多収技術の開発・実証」では、一季成り性品種の特性や降温技術等を成果としてまとめた。木質系資源の有効利用技術の開発では、粉碎杉樹皮培地利用によるトマト隔離床栽培として成果にまとめ、今後製品化に結び付けたいところである。木質バイオマス加温機のハイブリッド化を図り、燃焼試験を行なった結果、これまでの8時間を超える燃焼時間を確保できる見込みである。引き続き、イチゴ閉鎖型高設栽培システムにおける局所温度管理法について同加温機を利用し試験を継続予定である。

(4) 環境部

生産環境研究室

生産環境研究室では、安全で、安心できる農産物の安定的な生産・供給や環境に配慮した農業の振興を図り、岩手ならではの産地づくりに寄与するため、①環境への負荷軽減に配慮した持続的な土壌・施肥管理技術、②消費者の多様なニーズに対応した高品質農産物の安定供給技術を柱とした研究課題に取り組んだ。

特にも、鶏ふん堆肥に窒素肥料を添加した「高窒素鶏ふん肥料」の製造と利用技術の開発については、堆肥製造メーカーとともに肥料を共同開発し、安定的な製造方法を確立、製品化に至った。5年間の試験の最終年度であり、製品化された肥料

の実用化を目指し、農業研究センター内の圃場及び現地圃場において最終的な実証試験に取り組んだ。

また、津波で被災した農地の復旧対策としては、山土を客土として平成 25 年度春に復旧した水田において、水稻の生育、収量調査を行い、復旧水田における水稻栽培の課題を抽出するとともに、平成 26 年度の復旧工事に向けてガレキ分別土の客土材としての利用について検討するため、ポット試験と枠試験を実施した。

東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射性物質対策としては、農業研究センターと中央農業改良普及センターで構成する「放射性物質に係る農業技術対策調査検討チーム」(平成 23 年 9 月設置)におけるこれまでの調査研究の結果を踏まえ、放射性物質がほとんど検出されない作目は調査対象から除き、果樹剪定枝と土壌における放射性物質の経年変化に絞って調査した。

今年度の取組みの成果は、普及成果として「鶏ふん堆肥に尿素を添加したL型肥料の開発」をとりまとめ、水稻やキャベツ栽培において高窒素鶏ふん肥料が化学肥料と同様の生育、収量を確保できることを明らかにした。また、これまで 30 年にわたって取組んできた県内の土壌調査の結果を「県内水田土壌の 30 年間の施肥管理と土壌化学性の変化」、「県内畑土壌の 30 年間の有機物施用と化学性の変化」として取りまとめた。水田の復旧工事に向けて取組んだガレキ分別土の利用についての調査結果は、「ガレキ分別土の農地作土利用における水稻生育への影響」として取りまとめた。

その他には、トマト栽培における適正な窒素施肥肥料についての研究や、大豆の低収解明のための現地の土壌物理性調査等に取り組んだ。

病理昆虫研究室

持続性が高く安定性のある農業生産目指した病虫害制御技術の確立を進めるため、環境負荷軽減を目指した効率的な化学的病虫害防除技術、生物的防除など環境にやさしい病虫害防除技術及び病虫害総合管理技術 (IPM) の開発に取り組んだ。

水稻分野では、品種「ひとめぼれ」を対象に、穂いもち防除実施の有無による収量・品質に関し検討し、穂いもち被害度と減収率、出穂期における上位 3 葉の株あたり病斑数との関係を明らかにし、学会で発表した (第 67 回北日本病虫害研究発表会)。

野菜分野では、ホウレンソウの白斑病に対する品種間差異や有効な防除薬剤を明らかにし、研究成果 (指導) として取りまとめるとともに、その成果を学会で発表した (第 66 回北日本病虫害研究発表会)。また、転炉スラグを利用して土壌 pH を 7.5 に改良することにより、ホウレンソウ萎凋病の発病抑制効果があることを明らかにし、研究成果 (指導) として取りまとめた。一方、施設果菜類 (ピーマン、なす及びパプリカ) において、天敵製剤と光反射防虫ネットや光反射シート等の物理的防除の組み合わせがアザミウマ類に対して防除効果があることを明らかにし、研究成果 (指導) として取りまとめるとともに、施設ピーマンにおいて新たな天敵製剤であるリモネカスカブリダニのアザミウマ類に対する防除効果を検討し、その結果を学会で発表した (第 67 回北日本病虫害研究発表会)。さらに、だいこんを加害するキスジノミハムシに有効な防除体系を明らかにし、研究成果 (指導) として取りまとめた。

果樹分野では、リンゴ腐らん病の果台感染に対する薬剤の防除効果を検討し、その結果を学会で発表した (第 67 回北日本病虫害研究発表会)。また、近年被害が深刻化しつつあるリンゴの枝幹害虫ヒメボクトウに対し、フルベンジアミド剤の防除適期と防除効果を明らかにし、研究成果 (指導) として取りまとめるとともに、その成果を学会で発表した (第 66 回北日本病虫害研究発表会)。

なお、学会等には積極的に参加し、前記を含み日本土壌微生物学会 1 件、日本ダニ学会 1 件、日本植物病理学会東北部会 1 件、日本応用動物昆虫学会 1 件、北日本病虫害研究会では 5 件について口頭又はポスター発表し、本県の成果を PR した。

(5) 病虫害防除部

病虫害防除課

(病虫害発生予察)

水稻、麦類、大豆、りんご、きゅうり、キャベツ、ねぎ、りんどうを対象として発生予察調査等に基づき、7 回の定期情報に加え、注意報を 4 回 (水稻:細菌病、いもち病、きゅうり:べと病・炭そ病、野菜・花き類:タバコガ類)、特殊報を 2 回 (わらび:ルイスコムツキモドキ、クロアシコムツキモドキ、オクラ:オクラ輪紋病) 発表した。また、防除速報を 14 回 (水稻:斑点米カメムシ類 3 回、取り置き苗処分、葉いもち 3 回、紋枯病、小麦:雪腐病、赤かび病、大豆:ウコンノメイガ、りんご:モニア病、ネギ:ネギアザミウマ、野菜・花き類:オオタバコガ) 発行した。これらの情報については、電子メール、印刷物のほか、いわてアグリベンチャーネットにも掲載し、関係機関・団体、共同防除組合等に提供した。

(病虫害防除指導)

効率的な薬剤防除並びに生物的防除法、耕種的防除法および物理的防除法を組み入れた総合防除の地域への定着を

図り、環境に配慮した持続的農業を推進するため、病虫害防除員、関係機関・団体と緊密な連携をとりながら、「市町村病虫害防除計画」に基づいた防除の実施を推進した。

水稻においては、各地方の病虫害防除員協議会および病虫害防除連絡協議会、市町村病虫害防除協議会、稲作部会等が中心となり取り組んでいる地域の一斉点検調査とその結果に基づく防除指導に対し、随時支援・指導を行った。また、巡回調査地点の農家 94 件の防除実績等を収集し、発生要因解析を行い、次年度以降の防除指導の資とした。

園芸作物では、りんごについて地域の防除暦作成にあたって普及センター担当者等とともに検討を行った。また、県内 71 の共同防除組合等から防除実績を収集、解析して次年度の防除計画の改善に資した。野菜では 22 件、りんごは 14 件の農家の防除実績を収集、同様に次年度の防除計画に資した。

病虫害防除員に対しては、上記の調査活動や防除指導への支援の他、植物防疫実績検討会および諸会議、研修会等を通じて情報の共有と資質の向上を図った。

重要性が増してきている病虫害診断は、86 件の依頼に対応した。作物別の内訳は、野菜が最も多く(42%)、次に花き(38%)、果樹(10%)の順であり、原因別には、病害が 42%、虫害が 13%で、次に不明、生理障害・葉害の順であった。

(農薬適正使用指導)

農薬の適正な販売や使用を徹底するために、農薬の販売者や使用者に対する研修会を関係機関・団体と共同で開催した(7月11日、参加者 217 名)。また、農薬取締法に基づき、農薬販売者への立入検査を実施するとともに(470 件)、農薬使用基準違反のあった使用者に対し指導を行った(1 件)。

(6) 畜産研究所

家畜育種研究室

<家畜育種>

(肉用牛) 日本短角種:種雄牛造成では H24 直接検定牛 15 頭(平均 DG1.56kg)から、現場後代検定用 6 頭(選抜率 40%、平均 DG1.54kg)を選抜した。現場後代検定では H21 交配種雄牛 5 頭(「辰福」、「上川」、「福富」、「花里」、「彦村」)の成績を公表した。

黒毛和種:黒毛和種去勢肥育牛における尿石症の発症予防を目的に、肥育中期以降の給与飼料中の非繊維性炭水化物(NFC)と分解性蛋白質(DIP)との比率(NFC/DIP)に着目して試験を行った結果、NFCとDIPの比率が概ね4対1の場合に、5対1及び6対1と比較して尿石症発症リスクが高まることを明らかにした。また、肥育中期(14~21か月齢)にBUNが21mg/dl以上で、尿石症発症率が高くなることも明らかにした。

(養豚) 現地農場と連携して、パークシャー種豚群の遺伝的改良およびパークシャー種肥育後期に飼料用米配合割合55%で代替した飼料給与試験に取り組んだ。

パークシャー種肥育後期に飼料用米55%を給与した豚の皮下脂肪ではオレイン酸が高まるとともに、リノール酸が低下し、官能評価による評価が高くなることが明らかとなった。

(養鶏) 新軍鶏の改良では雄の第四世代で112日齢時に第一世代よりも7%増となり、雌の産卵率、雄のモモ肉重量について改良が進んだ。

<家畜工学>

(遺伝子解析)種雄牛「金菊徳」産子のQTL解析から枝肉重量、BMS ナンバー、ロース芯面積に影響する遺伝子座を4か所に検出した。枝肉重量における22番染色体、BMS ナンバーにおける25番染色体では有意な領域が検出され、後継種雄牛選抜に利用可能なマーカーとして期待できることが分かった。

県内の和牛集団において地方病性牛白血病の発症抵抗性との関連が報告されているSNPが認められた。また、このSNPを改良マーカーとして利用した場合、産肉形質に負の影響はないことを明らかとした。

家畜飼養・飼料研究室

<飼養>

育成牛に搾乳用 TMR を活用した飼料を給与することで、必要な栄養量の充足が容易となり、良好な発育と初産分娩月齢 22.5 か月齢が達成できることを明らかにした。

大豆 WCS が乾物比で 20% 含む発酵 TMR 給与は、産乳性、消化性で大豆粕利用 TMR と差が認められないことを明らか

にした。

光触媒(酸化チタン)を用いた換気装置により、畜舎内の臭気物質(硫黄化合物)が低減することを明らかにした。

<飼料>

飼料用とうもろこし栽培において、土壌中の可給態リン酸含量が土壌改良目標値(16mg/100g)を上回っている場合、リン酸の補給型施肥基準量は 9kg/10a(乾物収量 2,000kg/10a)であることを明らかにした。

飼料用トウモロコシ市販品種について、極早生 1 品種、早生 6 品種、中生 3 品種、晩生 5 品種の生育特性、耐病性、収量性等について調査し、優れた品種特性を持つ 2 品種について優良品種として選定した。

草地更新翌春の除草剤について、チフェンスフロムチル剤の効果が高く、アジテム剤では強い葉害が発生することを明らかにした。

<牧草の放射線対策>

関係機関による除染プロジェクトチーム活動に参画し、牧草地における放射線対策のための肥培管理、耕起状況等に関する調査を実施し、草地更新後の牧草中放射性セシウム濃度に及ぼす要因を明らかにした。また、牧草・土壌のミネラルモニタリング 383 点、畦畔草の放射線スクリーニング検査を 424 点実施した。

外山畜産研究室

<飼養>

日本短角種の周年出荷へ向けた飼養管理技術では、放牧前舎飼期の経産牛に種雄牛を自然交配させることにより出生時期を分散可能であること、また、産子の発育や、その後の肥育成績は放牧期自然交配産子と同等であることを明らかにした。自然交配後の追い移植では、高い双子分娩率(最終年度 60%)が得られた。

黒毛和種の妊娠中後期における冬期飼養技術では、冬期屋外飼養の繁殖牛の分娩後の繁殖性に負の影響がないことを確認した。

<飼料>

放牧地の春期更新・早期利用技術体系の確立では、雪解け後 5 月上旬耕起、中旬播種により、オーチャードグラス 2.5kg/10a+イタリアンライグラス 0.5 kg/10a の混播割合が有効であることを明らかにした。

低温性乳酸菌添加による牧草サイレージおよび発酵 TMR の品質向上では、(独)農研機構畜産草地研究所が開発中の低温性乳酸菌 3 株が 4℃・30 日の保存で従来利用されている中温性株より有意に乳酸菌含量が増加することを確認した。

種山畜産研究室

<いわて和牛改良増殖対策事業>

黒毛和種改良事業の一環として、県内産黒毛和種種雄牛候補 13 頭を選定するとともに畜産研究所生産の受精卵雄産子等 4 頭計 17 頭の直接検定を実施し、後代検定を実施する候補種雄牛として 5 頭(「福秀幸」「辰美継」「八雲」「育福助」「菊勝鶴」)を選抜した。

また、平成 20 年度の直接検定により選抜された「古都乃花」「春善茂」「北茂鶴」「平安茂福」「月山桜」の 5 種雄牛について現場後代検定を実施し、うち成績が優れた「古都乃花」「平安茂福」「月山桜」を新たに基幹種雄牛として選抜した。

<県有種雄牛の情報発信>

市場成績(毎月)、種山種雄牛だより(毎月)を発行し、家畜市場等において配布したほか、家畜人工授精師を対象として、種雄牛の能力情報等をダイレクトメールで配信した。

(7) 県北農業研究所

園芸研究室

- (1) 県北地域の立地特性を活用した園芸作物の安定生産技術の確立に向け、野菜ではハウレンソウケナガコナダニの総合防除体系、地域の誘致企業向けの加工業務用ねぎの栽培法、春まきたまねぎの作型開発、花きでは無側枝性ギク露地栽培技術の確立を中心とした課題に取り組んだ。
ハウレンソウケナガコナダニの総合防除体系については、前年度に既存の剤と同等以上の効果が認められた3剤について散布時期による葉害発生程度の差を検討し、発芽直後の散布ではいずれの剤でも葉害が生じないことを明らかにした。また、一部の剤については1000倍と2000倍で同等の効果が得られること、既存の剤との組み合わせで2回散布する場合の適当な散布時期を明らかにした。
- (2) 加工・業務用ねぎの栽培法については、作型ごとに有望な品種を絞り込むとともに、加工の際に問題となる空洞について、発生しやすい時期、品種、生長経過があることを確認した。出荷期間の拡大に向け大苗の4月定植や収穫物のハウス貯蔵を継続検討した。また、加工用に適した規格(青果用のM規格にほぼ相当)の割合が高まる栽植密度を9月収穫、11月収穫の作期別に明らかにし、試験研究成果として公表した。
- (3) 無側枝性ギクでは、8～9月咲き有望品種の特性把握試験を開始するとともに、8月の需要期出荷に向けた開花調節や花首伸長抑制のための成長調整剤の処理方法及び苗質安定化のための母株管理技術について継続検討した。施肥法については栽培体系の重要事項として取り組み、8月咲き、9月咲き各3品種の適正な窒素施肥量を明らかにして試験研究成果として公表した。
- (4) この他、農業改良普及センターからの要望に基づき、雨よけほうれんそうの難防除雑草であるゴウシュウアリタソウに対する数種の土壌くん蒸剤の効果を現地試験によって明らかにし、試験研究成果として取りまとめた。

作物研究室

- (1) 雑穀に関する課題「いわて雑穀生産・販売戦略を支援する品種開発と持続的安定生産技術の確立」(H22～26)は、目標が達成されたことから、1年前倒しで終了し、次年度から、新たな課題に取り組むこととした。なお、今年度は、顕色が濃い大粒糯品種「キビ岩手糯1号」を育成・成果公表した。
畑輪作技術では、地域課題(地域経営推進費、3年目)として取り組み、「雑草発生量の少ない雑穀畑輪作技術」として、雑穀を基幹とする輪作体系及び葉たばこを組み入れた雑穀・大豆との輪作体系の2モデルを提示した。
7月の低温により水稻への影響が心配されたことから、県北部を中心に不稔発生及び稔実などの調査を主力品種「いわてっこ」について重点的に行った結果を成果情報として提供した。
- (2) 原種生産については、雑穀を計画どおり生産・確保した。また、水稻、小麦、大豆の奨励品種決定調査、作況調査・作柄解析についても実施し、本部作物研究室との連名で成果情報を提供した。
- (3) 県北地域の食の新たなシーズ掘り起こしと商品化の支援する農商工連携・6次産業化支援に、振興局食産業との協働で取り組んだ。県が新たに育成した低アミロース米「きらほ」、及び雑穀(あわ)「ゆいこがね(出願公表中)」、(きび)「キビ岩手糯1号」を用いて、食品企業や岩手大学と連携しながら、それぞれ「さば寿司」や「あわせんざい」等の商品づくりのプロジェクト活動を進め、商品化された。

4 平成25年度試験研究課題

(1) 細目課題分類

研究推進計画分野 担当部所	総課題数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
		農業構造・経営管理	水稲	畑作物	果樹	野菜	花き	作業技術	環境保全	土壌作物栄養	病害虫制御	食の安全	乳用牛	肉用牛	中小家畜（豚・鶏）	草地・飼料作物	家畜バイオテクノロジー	畜産環境	県北農業振興	震災復興
プロジェクト推進室	17		3	5				8		1										
企画管理部	16	4	1	5	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
農業経営研究室	16	4	1	5				5												1
技術部	183	0	65	14	36	31	11	3	6	6	5	3	0	0	0	0	0	0	0	3
果樹研究室	46				35				6	1	2	1								1
作物研究室	84		64	13				3		1	1	1								1
野菜花き研究室	35					18	11			3	1	1								1
南部園芸研究室	18		1	1	1	13				1	1									0
環境部	37	0	3	3	2	1	1	2	1	7	11	2	0	0	0	0	0	0	0	4
生産環境研究室	22		2	2	1	1		2	1	7		2								4
病理昆虫研究室	15		1	1	1		1				11									
畜産研究所	29	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	9	3	7	3	2	0	0
家畜育種研究室	9												1	2	3		3			
家畜飼養・飼料研究室	11			1									3	1		4		2		
外山畜産研究室	5													2		3				
種山畜産研究室	4													4						
県北農業研究所	28	0	5	6	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	12	0
園芸研究室	9			1					1	1	1								5	
作物研究室	19		5	5						1	1								7	
総計	310	4	77	34	38	32	12	18	8	16	18	5	4	9	3	7	3	2	12	8

※複数の分野に再掲されている研究課題はそれぞれに計上。

複数の担当研究室がある研究課題はそれぞれに計上。

(2) 試験研究課題一覧

凡 例

- ・主査: 小課題の主査研究室
- ・No.: 小課題の連番、課題毎の固有番号はそれぞれの課題名の先頭に()表記
- ・課題: (課題番号)課題名を記載、小課題は太字表示
※ 課題番号: 細目課題は1000番代表記、細目1~4まで各桁毎の表記
- ・開始・終了: 課題の実施～終了年数
- ・予算区分: 国庫補助; 国庫補助事業、国庫委託; 国庫委託事業、独法委託; 独法委託事業、民間委託; 民間委託事業
令達; 令達予算研究、県単研究; 県単予算予算、県単採種; 主要農作物採種管理費
- ・担当: 小課題、細目課題の担当研究室名

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【プロジェクト推進室】						
プロジェクト	1	(H24-01)水田転換畑における作物の生産性向上技術の確立	24	26	県単独	プロジェクト
プロジェクト		(H24-01-1000)転換畑における大豆生産性向上技術の総合実証	24	26	県単独	生産環境、作物、農業経営、プロジェクト
プロジェクト		(H24-01-1100)転換畑大豆の現地における低収要因の解明	24	26	県単独	生産環境、農業経営
プロジェクト		(H24-01-1200)転換畑に適する品種および栽培法の検討	24	26	県単独	生産環境、作物、農業経営、プロジェクト
プロジェクト		(H24-01-2000)転換畑における湿害軽減播種技術の体系化	24	26	県単独	プロジェクト、農業経営
プロジェクト		(H24-01-2100)小畦立て播種栽培に適応できる大豆の機械除草技術の確立	24	25	県単独	プロジェクト、農業経営
プロジェクト		(H24-01-2200)密条用小畦立て播種栽培に適応できる小麦の管理作業技術の開発	24	26	県単独	プロジェクト、農業経営
【農業経営研究室】						
農業経営	2	(H21-02)本県主要農産物の需要・競争構造の分析	21	25	県単研究	農業経営
農業経営	3	(H21-04)農業技術体系データベースの整備・拡充	21	25	県単研究	農業経営
農業経営	4	(H24-02)沿岸地域農業の復興に向けた新たなビジネスモデルの構築	24	26	県単独	農業経営
【作物研究室】						
作物(技術)	5	(803)水稻奨励品種決定調査	14	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-1000)予備調査	14	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-1100)中晩生系統	14	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-1200)早生系統	14	25	県単採種	作物(県北)
作物(技術)		(803-2000)本調査	14	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-2100)中晩生系統	14	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-2200)早生系統	14	25	県単採種	作物(県北)
作物(技術)		(803-3000)現地調査	14	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	6	(805)水稻作況調査と作柄成立要因の解析	14	25	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(805-1000)水稻作況調査	14	25	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(805-1100)県央・県南地域	14	25	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(805-1200)県北地域	14	25	県単研究	作物(県北)
作物(技術)		(805-2000)水稻優良品種の気象反応試験	14	25	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(805-2100)県央・県南地域	14	25	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(805-2200)県北地域	14	25	県単研究	作物(県北)
作物(技術)		(805-3000)水稻作柄成立要因の解析	14	25	県単研究	作物(技術)
作物(技術)	7	(61)水稻原々種生産	S29	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	8	(62)水稻原種生産	S29	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	9	(807)水田雑草の効果的防除技術の開発	14	25	民間委託	作物(技術)
作物(技術)		(807-1000)水稻作用除草剤第2次適用性試験	14	25	民間委託	作物(技術)
作物(技術)		(807-1100)県央・県南地域	14	25	民間委託	作物(技術)
作物(技術)		(807-1200)県北地域	14	25	民間委託	作物(県北)

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
作物(技術)	10	(H22-rb01)主食用米等品種の育成(コシヒカリを超える米)	S59	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-1000)交配母本評価と交配	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-2000)初期世代養成	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-3000)個体選抜	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-4000)系統選抜	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-4100)単独系統	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-4200)生産力検定予備試験系統群	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-4300)生産力検定本試験系統群	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-5000)生産力検定	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-5100)生産力検定予備試験	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-5200)生産力検定本試験	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-5300)生産力検定試験早生系統	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6000)特性検定試験	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6100)いもち病真性抵抗性遺伝子型推定	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6200)葉いもち圃場抵抗性検定試験	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6300)穂いもち圃場抵抗性検定試験	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6400)耐冷性検定試験(育成系統)	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6500)食味官能試験	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6600)食味関連成分分析及び物性試験	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6700)穂発芽検定試験	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6800)直播適性	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-7000)DNAマーカー等先端技術利用	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-8000)育成系統採種	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)	11	(H22-rb02)醸造用水稲品種の育成(山田錦を超える米)	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-1000)交配母本評価と交配	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-2000)初期世代養成	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-3000)個体選抜	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-4000)系統選抜	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-4100)単独系統	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-4200)生産力検定予備試験系統群	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-4300)生産力検定本試験系統群	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-5000)生産力検定	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-5100)生産力検定予備試験	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-5200)生産力検定本試験	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-5300)生産力検定試験早生系統	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-6000)特性検定試験	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-6100)いもち病真性抵抗性遺伝子型推定	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-6200)葉いもち圃場抵抗性検定試験	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-6300)穂いもち圃場抵抗性検定試験	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-6400)耐冷性検定試験(育成系統)	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-6500)食味官能試験	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-6600)食味関連成分分析及び物性試験	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-6700)穂発芽検定試験	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-6900)醸造適性	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-7000)DNAマーカー等先端技術利用	S63	25	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-8000)育成系統採種	S63	25	令達	作物(技術)

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
作物(技術)	12	(H22-rb03)委託試験	S39	25	国庫委託、民間委託	作物(技術),作物(県北)
作物(技術)		(H22-rb03-2000)稲民間育成品種評価試験	H13	25	民間委託	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb03-3000)耐冷性検定試験(委託系統検定)	H18	25	独法委託	作物(技術)
作物(技術)	13	(H21-24)東北地域中北部向け多収稲品種の共同育成	21	26	H21県単 H22~独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-3000)個体選抜	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-4000)系統選抜	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-4100)単独系統	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-4200)生産力検定予備試験系統群	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-4300)生産力検定本試験系統群	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-5000)生産力検定	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-6000)特性検定試験	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-6100)いもち病真性抵抗性遺伝子型推定	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-6200)葉いもち圃場抵抗性検定試験	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-6300)穂いもち圃場抵抗性検定試験	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-6400)耐冷性検定試験(育成系統)	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-6600)食味関連成分分析及び物性試験	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-6700)穂発芽検定試験	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-6800)直播適性	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-8000)育成系統採種	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)	14	(174)えだまめ等オリジナル品種優良種苗の維持・増殖	8	25	令達	作物(技術)
作物(技術)	15	(877)大豆立枯性病害抵抗性検定試験	14	25	独法委託	作物(技術)
作物(技術)	16	(889)麦類耐寒雪性特性検定試験	14	25	独法委託	作物(技術)
作物(技術)	17	(890)畑作物の生育相及び気象反応の解明	14	25	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(890-2000)大豆の生育相と気象反応の解明	14	25	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(890-2100)県央・県南地域	14	25	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(890-2200)県北地域	14	25	県単研究	作物(県北)
作物(技術)		(890-1000)麦類の生育相と気象反応の解明	14	25	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(890-1100)県央・県南地域	14	25	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(890-1200)県北地域	14	25	県単研究	作物(県北)
作物(技術)	18	(891)畑作物原々種・原種生産	14	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	19	(H19-13)麦類奨励品種決定調査及び有望系統の特性調査	19	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(H19-13-1000)(1)奨励品種決定調査(県南・県央地域)	19	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(H19-13-2000)(2)奨励品種決定調査(県北地域)	19	25	県単採種	作物(県北)
作物(技術)		(H19-13-3000)(3)有望系統特性調査	19	25	令達	作物(技術)
作物(技術)	20	(H19-12)大豆等奨励品種決定調査及び有望系統の特性調査	19	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(H19-12-1000)(1)奨励品種決定調査(県南・県央地域)	19	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(H19-12-2000)(2)奨励品種決定調査(県北地域)	19	25	県単採種	作物(県北)
作物(技術)		(H19-12-3000)(3)有望系統特性調査	19	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	21	(H22-33)北東北地域向け非主食用多用途稲の直播品種及び直播栽培等関連技術の開発	22	25	県単研究	作物(技術),プロ
作物(技術)		(H22-33-2000)寒冷地における湛水作溝同時直播栽培技術の確立・寒冷水田に適応した湛水作溝同時直播技術	22	25	県単	プロジェクト
作物(技術)	22	(H24-19)ひとめぼれゲノム資源を活用した重要遺伝子同定と実用品種育成	24	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H24-19-1000)重要形質遺伝子集積による「スーパーひとめぼれ」の育成	24	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)	24	(H24-19)大規模遺伝子資源およびゲノム情報を活用した効率的な水稻品種育成	24	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H24-19-1000)重要遺伝子集積による「スーパーひとめぼれ」の育成	24	26	独法委託	作物(技術)

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【果樹研究室】						
果樹	23	(851)果樹の生育と果実品質変動要因の解明	14	25	県単研究	果樹
果樹		(851-1000)りんごの生育・生態の把握	14	25	県単研究	果樹
果樹		(851-2000)ぶどうの生育・生態の把握	14	25	県単研究	果樹
果樹		(851-3000)西洋なし、その他の果樹の生育・生態の把握	14	25	県単研究	果樹
果樹	24	(850)畑作物に対する植調剤等の利用法	14	25	民間委託	果樹
果樹		(850-1000)果樹園用除草剤の効果的使用法	14	25	民間委託	果樹
果樹		(850-1100)民間委託試験分	14	25	民間委託	果樹
果樹		(850-1200)令達試験分	14	25	令達	果樹
果樹		(850-2000)果樹の植調剤及び資材の効果的使用法	14	25	民間委託	果樹
果樹		(850-3000)野菜の除草剤実用化試験	15	25	民間委託	野菜花き
果樹		(850-5000)【畜産研究所担当分】	16	25	民間委託	家畜飼養・飼料
果樹		(850-5100)【家畜飼養・飼料研究室担当分】	16	25	民間委託	家畜飼養・飼料
果樹		(850-5110)除草剤試験	16	25	民間委託	家畜飼養・飼料
果樹		(850-6000)【県北農業研究所担当分】	16	25	民間委託	園芸(県北)
果樹		(850-6100)【県北園芸研究室担当分】	16	25	民間委託	園芸(県北)
果樹		(850-6110)植調剤試験	16	25	民間委託	園芸(県北)
果樹		(850-6200)【県北作物研究室担当分】	19	25	民間委託	作物(県北)
果樹		(850-6210)植調剤試験	19	25	民間委託	作物(県北)
果樹		(850-7000)小麦の除草剤実用化試験	18	25	民間委託	作物(技術)
果樹		(850-8000)南部園芸研究室分	18	25	民間委託	南部園芸
果樹		(850-8100)除草剤試験	18	25	民間委託	南部園芸
果樹	25	(894)良品質・高品質生産を目的としたウイルスフリー樹の作出	14	25	令達	果樹
果樹	26	(830)ジョナゴールド、ふじ等に優るりんご中・晩生種の開発	14	25	令達	果樹
果樹		(830-1000)国育成系統適応性(盛岡58～65号)	14	25	国庫委託(10100)	果樹
果樹		(830-2000)国内外導入品種の選抜	14	25	令達(101007修正)	果樹
果樹		(830-3000)いわて特産中晩生種の交配育成	14	25	令達	果樹
果樹	27	(829)キャンベル・紅伊豆にかわる耐寒性大衆嗜好品種の育成及び選抜	14	28	独法委託,令達	果樹
果樹		(829-1000)寒冷地向きぶどうの系統適応性試験	14	25	独法委託	果樹
果樹		(829-1400)第12回系統適応性検定試験	20	25	独法委託	果樹
果樹		(829-1500)第13回系統適応性検定試験	22	28	独法委託	果樹
果樹		(829-2000)国内外育成の寒冷地向き品種の選抜(生食用、醸造、兼用種等品種の選抜)	14	25	令達	果樹
果樹		(829-3000)耐寒性大衆嗜好品種の育成及び選抜	14	25	令達	果樹
果樹	28	(837)ラ・フランスに優る西洋なし品種の開発	14	25	令達	果樹
果樹		(837-1000)国内外導入品種の選抜	14	25	令達	果樹
果樹	29	(826)おうとう、もも等の優良品種の選抜	14	25	令達	果樹
果樹		(826-1000)おうとう、もも等の優良品種の選抜	14	25	令達	果樹
果樹	30	(H20-02)岩手県におけるおうとうの垣根仕立て栽培法の確立	20	25	県単研究	果樹
果樹	31	(H21-05)つがる等に優るりんご早生品種の開発	21	30	令達	果樹
果樹	32	(H22-03)岩手県における果樹栽培の温暖化対策技術の確立	22	27	県単研究、独法委託	果樹
果樹		(H22-03-1000)開花期前進に伴う凍霜害対策技術の確立	22	27	県単研究	果樹
果樹		(H22-03-2000)温暖化による果実障害対策技術の確立	23	27	県単研究	果樹
果樹		(H22-03-3000)気象変動に対応した優良系統の選抜	22	27	県単研究	果樹
果樹		(H22-03-5000)温暖化に対応できる新規果樹の選抜と栽培技術の確立	24	27	県単研究	果樹
果樹		(H22-03-6000)果樹園における温暖化緩和技術の開発(仮称)	22	26	独法委託	果樹
果樹	33	(H23-03)りんご新品種などの安定生産技術の確立	23	28	県単研究	果樹
果樹		(H23-03-1000)オリジナル品種の安定生産技術の確立	23	28	県単研究	果樹
果樹		(H23-03-2000)優良品種の栽培技術の確立	23	28	県単研究	果樹
果樹	34	(H23-04)ぶどうオリジナル品種の安定生産技術の確立	23	26	県単研究	果樹
果樹		(H23-04-1000)高品質果実生産方法の確立	23	25	県単研究	果樹
果樹		(H23-04-2000)短梢栽培用平棚を利用した栽培方法の	23	26	県単研究	果樹
果樹	35	(H24-16)果樹生産のための省力・軽労化機器の開発	24	26	独法委託	果樹
果樹		(H24-16-2000)小型幹周草刈機の抑草効果と樹体に及ぼす	24	26	独法委託	果樹
果樹		(H24-16-3000)高機動型果樹用高所作業台の現地実証	24	25	独法委託	果樹
果樹	36	(H24-17)国産小果樹類の新規市場開拓のための省力生産技術・加工品の開発	24	28	独法委託	果樹

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【野菜花き研究室】						
野菜花き	37	(H21-15)低コスト養液土耕栽培による水田転換畑におけるリン酸肥料削減技術の実証	21	25	独法委託	野菜花き
野菜花き		(H21-15-1000)低コスト養液土耕装置を利用した効率的施肥法の確立	21	25	独法委託	野菜花き
野菜花き		(H21-15-2000)リン酸成分を有効活用した省資源型農業の開発	23	25	独法委託	野菜花き
野菜花き	38	(843)りんどうの生育・生態調査	14	25	県単研究	野菜花き
野菜花き	39	(840)りんどうF1品種の親株維持・増殖技術の確立	14	25	県単研究	野菜花き
野菜花き		(840-1000)種子による親株維持技術の確立	14	25	県単研究	野菜花き
野菜花き		(840-2000)培養系親系統の特性検定及びF1品種の組合せ検定	14	25	県単研究	野菜花き
野菜花き	40	(191)りんどうの品種育成	S49	25	令達	野菜花き
野菜花き		(191-1000)りんどうの品種開発	20	25	令達	野菜花き
野菜花き		(191-2000)親株の安定生産	20	25	令達	野菜花き
野菜花き	41	(H19-09)温度・日長条件に対するりんどうの生育反応	19	25	県単研究	野菜花き
野菜花き	42	(H22-07)リンドウ栽培安定化技術の開発	22	26	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H22-07-1000)リンドウ発芽率向上安定化技術の開発	22	25	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H22-07-2000)県育成極早生品種の株養成技術の開発	22	26	県単研究	野菜花き
野菜花き	43	(H23-05)早晩性の違いによるリンドウ組織培養の増殖条件の確立	23	25	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H23-05-1000)組織培養を用いた増殖における培養温度条件と早晩性の関係	23	25	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H23-05-2000)組織培養を用いた増殖における光条件の検討	23	25	県単研究	野菜花き
野菜花き	44	(H23-06)収穫量の時期別変動が小さいパブリカ安定栽培技術の確立	23	25	県単研究、独法委託	野菜花き
野菜花き		(H23-06-1000)収穫量調節技術及び収穫前着色促進技術の開発	23	25	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H23-06-2000)光照射追熟技術の開発	23	25	独法委託	野菜花き
野菜花き		(H23-07)「なす」の省力・低コスト栽培技術の開発(H25休	23	26	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H23-07-1000)かん水等による低コスト生産安定技術の確立(H25休止)	23	26	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H23-07-2000)簡易で省力的な栽培技術の確立(H25休	23	26	県単研究	野菜花き
野菜花き	45	(H23-08)長期安定収穫が可能なトマト栽培技術の確立	23	29	県単研究、独法委託	野菜花き、生産環境、南部園芸
野菜花き		(H23-08-1000)低温期の障害果発生回避技術の確立	23	27	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H23-08-2000)栽培管理・天候に対応したかん水・追肥技術の確立	23	25	県単研究	生産環境
野菜花き		(H23-08-3000)高温期における草勢管理技術の確立	24	29	県単研究、独法委託	野菜花き
野菜花き		(H23-08-4000)3段階摘芯新栽培様式の確立	23	29	県単研究、独法委託	南部園芸
野菜花き	46	(H24-03)長日要求性素材を利用した極晩抽性ハクサイの安定生産技術の確立	24	26	独法委託	野菜花き
野菜花き	47	(H24-04)岩手型アスパラガス伏せ込み促成栽培安定生産技術の確立	24	26	国庫委託、県単	野菜花き、園芸(県北)
野菜花き		(H24-04-1000)高温及び低温による休眠打破メカニズムの解明	24	26	国庫委託	野菜花き
野菜花き		(H24-04-2000)高温による休眠打破を利用した新作型の確立	24	26	国庫委託、県単	野菜花き
野菜花き	48	(H24-05)新形質キュウリ安定生産技術の確立	24	28	独法委託、県単	野菜花き
野菜花き		(H24-05-1000)病害抵抗性台木の適応性の解明	24	26	独法委託	野菜花き
野菜花き		(H24-05-2000)露地栽培における安定生産技術の確立	26	28	県単	野菜花き

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【南部園芸研究室】						
南部園芸	49	(H22-05)イチゴ夏秋どり作型における適品種の選定と多収生産技術の確立	22	25	県単研究、独法委託	南部園芸
南部園芸		(H22-05-1000)夏秋どり作型における四季成り性イチゴ適品種の選定	22	25	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H22-05-2000)夏秋どり作型における多収生産技術の開発	22	25	県単研究、民間委託	南部園芸
南部園芸		(H22-05-3000)夏秋どり作型における一季成り性品種の適応性評価	22	25	県単研究、独法委託	南部園芸
南部園芸	50	(H23-10)園芸分野における木質系資源の有効利用技術の	23	25	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H23-10-1000)粉碎杉樹皮を用いた新たな園芸培地の	23	25	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H23-10-2000)促成イチゴの低コスト加温栽培技術の開発	23	25	県単研究	南部園芸
南部園芸	51	(H25-03)地域適応性の高いいちご系統の選定	25	27	県単	南部園芸
南部園芸		(H25-03-1000)地域適応性の高い半促成栽培向けいちご系統の選定	25	27	県単	南部園芸
南部園芸		(H25-03-2000)地域適応性の高い夏秋どり栽培向けいちご系統の選定	25	27	県単	南部園芸
【生産環境研究室】						
生産環境	52	(H15-24)環境保全型有機質資源連用効果調査	15	27	県単(土壌対策)	生産環境
生産環境		(H15-24-1000)水田における有機質資源連用効果	15	27	県単(土壌対策)	生産環境
生産環境		(H15-24-2000)畑地における有機質資源連用効果	15	27	県単(土壌対策)	生産環境
生産環境	53	(H16-22)新肥料の実用化	16	27	民間委託	生産環境
生産環境		(H16-22-5000)プロジェクト推進室	20	27	民間委託	プロジェクト
生産環境		(H16-22-7000)技術部	20	27	民間委託	作物(技術)、果樹、野菜花き、南部園芸
生産環境		(H16-22-7100)作物研究室(技術)担当分	20	27	民間委託	作物(技術)
生産環境		(H16-22-7300)南部園芸研究室担当分	20	27	民間委託	南部園芸
生産環境		(H16-22-7400)果樹研究室担当分	23	27	民間委託	果樹
生産環境		(H16-22-7500)野菜花き研究室担当分	23	27	民間委託	野菜花き
生産環境		(H16-22-8000)環境部	20	27	民間委託	生産環境
生産環境		(H16-22-8100)生産環境研究室担当分	20	27	民間委託	生産環境
生産環境		(H16-22-9000)県北農業研究所	20	27	民間委託	園芸(県北)、作物(県北)
生産環境		(H16-22-9100)園芸研究室(県北)担当分	20	27	民間委託	園芸(県北)
生産環境		(H16-22-9200)作物研究室(県北)担当分	20	27	民間委託	作物(県北)
生産環境	54	(H20-20)土壌由来温室効果ガスインベントリ情報等整備調査	20	32	国庫委託	生産環境
生産環境	55	(H15-23)土壌機能実態モニタリング調査	15	25	県単(土壌対策)	生産環境
生産環境	56	(H21-14)窒素質肥料添加による高窒素鶏ふん堆肥の製造とその利用技術の開発	21	25	独法委託	生産環境
生産環境	57	(H23-12)土壌環境に配慮した家畜由来有機質資源の肥料的評価	23	26	県単研究	生産環境
生産環境	58	(H24-14)農作物および土壌中放射性セシウム濃度のモニタリング調査および農作物中放射性セシウム濃度に関する土壌要因の解明	24	25	令達	生産環境
生産環境		(H24-14-1000)水稻・畑作物におけるモニタリング調査	24	24	令達	作物、生産環境
生産環境		(H24-14-2000)果樹におけるモニタリング調査	24	25	令達	果樹、生産環境
生産環境		(H24-14-3000)野菜類におけるモニタリング調査	24	24	令達	野菜花き、生産環境
生産環境		(H24-14-4000)土壌におけるモニタリング調査および農作物中放射性セシウム濃度に関する土壌要因の解明	24	25	令達	生産環境

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【病理昆虫研究室】						
病理昆虫	59	(H09-03)【植物防疫事業研究】	9	27	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	60	(402)新農薬の効果検定と防除基準作成	9	25	民間委託	病理昆虫
病理昆虫		(402-2000)東北農業研究所	9	25	民間委託	園芸(県北)
病理昆虫		(402-4000)環境部	9	25	民間委託	病理昆虫
病理昆虫		(402-5000)技術部	16	25	民間委託	果樹
病理昆虫	61	(H15-28)地域特産物における新防除資材の実用化	15	25	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H15-28-1000)雑穀類の難防除害虫	22	25	国庫補助	作物(県北)
病理昆虫	62	(H22-01)広域的な葉いもち防除の徹底による穂いもち防除を省略したいもち病防除体系の確立	22	26	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	63	(H22-04)ハダニ類を主体としたリンゴ病害虫防除体系の最適化	22	26	国庫補助	病理昆虫、果樹
病理昆虫		(H22-04-1000)夏期の防除体系の最適化	22	26	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H22-04-2000)樹型等を考慮した適正な薬剤散布量の検討	22	26	国庫補助	果樹
病理昆虫	64	(H22-06)キュウリ栽培で問題となる病害の防除技術確立	22	26	国庫補助、県単研究	病理昆虫
病理昆虫		(H22-06-1000)ホモブシス根腐病の防除技術確立	22	26	国庫補助、独法委託	病理昆虫
病理昆虫	65	(H23-13)耕種的防除と天敵製剤を組み合わせた果菜類害虫の防除技術の開発	23	25	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H23-13-1000)施設栽培なすにおける天敵製剤を活用した化学合成農薬削減技術の開発	23	25	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H23-13-2000)施設栽培ピーマンにおける天敵製剤を活用した化学合成農薬削減技術の開発	23	25	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	66	(H23-14)ハウレンソウ栽培で問題となる病害の防除技術の確立	23	26	令達、国庫補助、独法委託	病理昆虫
病理昆虫		(H23-14-1000)ハウレンソウ白斑病の防除技術の検討	23	25	令達	病理昆虫
病理昆虫		(H23-14-2000)土壌酸性改良によるハウレンソウ萎凋病の発病抑制効果の検討	23	26	国庫補助、独法委託	病理昆虫
病理昆虫	67	(H24-07)リンドウホソハマキの効率的な防除体系の確立	24	26	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	68	(H25-01)水稻細菌病類(もみ枯細菌病・苗立枯細菌病)を主体とした種子伝染性病害の総合防除技術の確立	25	27	国庫補助	病理昆虫、技術(作物)
病理昆虫	69	(H25-02)大豆のマメシクイガに対する効率的な防除対策の確立	25	27	令達	病理昆虫
病理昆虫	70	(H25-04)りんどうこぶ症関連ウイルス(GKaV)の伝搬経路の探索	25	27	県単	病理昆虫、野菜花き
病理昆虫		(H25-04-1000)りんどうこぶ症ウイルス(GKaV)の媒介生物、保毒雑草、保毒微生物の探索	25	27	県単	病理昆虫
病理昆虫		(H25-04-2000)りんどうこぶ症ウイルス(GKaV)の花粉・種子伝染の確認	25	27	県単	野菜花き
【家畜育種研究室】						
家畜育種	71	(304)肉用牛における経済形質とDNAマーカーとの連鎖解析	7	25	令達	家畜育種
家畜育種	72	(237)日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)	17	30	令達	家畜育種
家畜育種	73	(236)日本短角種産肉能力検定(直接法)	S45	30	令達	家畜育種
家畜育種	74	(H22-12)和牛肥育における尿石症予防のための飼養技術の開発	22	25	県単研究	家畜育種、種山畜産
家畜育種	75	(H22-15)岩手独自の新興鶏系統の開発	22	26	県単研究	家畜育種
家畜育種	76	(H22-30)パークシャー種における輸入トウモロコシから飼料米への全量代替給与技術の確立	22	26	独法委託	家畜育種
家畜育種	77	(H22-29)発酵TMR素材としての自給高タンパク質飼料の低コスト調製・給与技術の開発(乳牛・肉用牛給与)(2)肉用牛への給与技術	22	26	独法委託	家畜飼養・飼料、家畜育種
家畜育種	78	(H22-35)DNA情報等を指標とした種雄牛選抜の実用化	22	26	令達	家畜育種
家畜育種	79	(H23-16)生産農場におけるパークシャー種豚群の遺伝的改良システムの構築	23	27	県単研究	家畜育種

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【家畜飼養・飼料研究室】						
家畜飼養・飼料	80	(253)とうもろこし市販品種の特性比較	S54	25	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	81	(H22-19)飼料作物栽培における土壌条件等に応じた減肥技術の確立	22	26	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	82	(H22-20)乳用育成牛から初産までのTMR給与技術の開発	22	25	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	83	(H23-15)乾乳期間の短縮が高泌乳牛に及ぼす影響の解明	23	26	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	84	(H23-20)空気清浄機能を有する畜舎用換気装置の開発と実用化	23	25	独法委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	85	(H24-08)オーチャードグラス中生優良品種選定試験	24	26	県単独	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	86	(H24-20)イタリアンライグラス系統適応性試験	24	27	独法委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	87	(H25-05)草地更新における除草剤処理等を活用した春期牧草播種技術の確立	25	27	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	88	(H25-08)放射性セシウム汚染草地における除染効果の検証および放射性セシウムレベルの追跡調査	25	27	令達	家畜飼養・飼料
【外山畜産研究室】						
外山畜産	89	(H22-10)日本短角種の周年出荷へ向けた飼養管理技術の確立	22	25	県単研究	外山畜産,家畜育種
外山畜産	90	(H24-09)黒毛和種の妊娠中後期における冬期飼養技術の確立	24	26	県単独	外山畜産
外山畜産	81	(H25-06)生育速度の速い草種等を用いた放牧地の春期更新・早期利用技術体系の確立	25	27	県単	外山畜産
外山畜産	92	(H25-07)寒冷時期生産牧草サイレージへの低温性乳酸菌添加による牧草サイレージおよび発酵TMRの品質向上技術の確立	25	27	県単	外山畜産
【種山畜産研究室】						
種山畜産	93	(235)黒毛和種産肉能力検定(間接法・現場後代検定)	1	30	管理運営費	種山畜産
種山畜産	94	(857)黒毛和種雄牛の利用及び能力調査	14	30	管理運営費	種山畜産
種山畜産	95	(234)黒毛和種産肉能力検定(直接法)	S62	30	管理運営費	種山畜産

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【園芸研究室(県北研)】						
園芸(県北)	96	(H22-28)地球温暖化が果樹・野菜等の園芸作物および茶に及ぼす影響評価と適応技術の開発	22	26	独法委託	園芸(県北)
園芸(県北)	97	(H24-11)ホウレンソウケナガコナダニの総合防除体系の確立	24	26	国庫補助	園芸(県北)
園芸(県北)	98	(H24-12)県北地域における新たなねぎ出荷体系の確立	24	26	県単	園芸(県北)
園芸(県北)		(H24-12-1000)業務用規格に対応した栽培法の確立	24	26	県単	園芸(県北)
園芸(県北)	99	(H24-13)県北地域における無側枝性ギクの栽培技術体系の確立	24	26	県単	園芸(県北)
園芸(県北)		(H24-13-1000)8～9月咲き無側枝性ギクの栽培技術体系の確立	24	26	県単	園芸(県北)
園芸(県北)		(H24-13-2000)長期継続出荷のための有望品種の特性	25	26	県単	園芸(県北)
園芸(県北)	100	(H24-18)新作型開発による東北・北陸におけるタマネギの生産拡大	24	26	独法委託	園芸(県北)
園芸(県北)		(H24-18-1000)県北地域における適する作型開発	24	26	独法委託	園芸(県北)
園芸(県北)		(H24-18-2000)ハウスを用いた乾燥方法の開発	24	26	独法委託	園芸(県北)
【作物研究室(県北研)】						
作物(県北)	101	(H22-22)いわて雑穀生産・販売戦略を支援する雑穀優良種子の生産	22	26	令達	作物(県北)
作物(県北)	102	(H22-23)いわて雑穀生産・販売戦略を支援する品種開発と持続的安定生産技術の確立	22	26	国庫補助, 県単研究, 令達	作物(県北)
作物(県北)		(H22-23-1000)加工・栽培特性に優れた雑穀オリジナル品種の開発と雑穀遺伝資源の収集・評価・保存	22	26	県単研究	作物(県北)
作物(県北)		(H22-23-2000)安定生産を可能にする雑穀畑輪作技術の確立	22	26	県単研究, 令達	作物(県北)
作物(県北)		(H22-23-4000)化学合成農薬を用いない雑穀病害虫防除技術の開発	22	26	国庫補助	作物(県北)
作物(県北)	103	(H24-10)雑穀の機械移植法の開発	24	26	県単独、民間委託	作物(県北)
H25 追加						
プロジェクト		(H25-11)中小区画土地利用型営農技術の実証研究	25	29	独法委託	プロジェクト
南部園芸研究室		(H25-12)中山間地域における施設園芸技術の実証研究	25	29	国庫委託	南部園芸研究室
果樹研究室		(H25-13)ブランド化を促進する果実の生産加工技術の実証研究	25	29	国庫委託	果樹研究室
野菜花き研究室		(H25-14)ブランド化を促進する野菜の生産・加工技術の実証研究	25	29	国庫委託	野菜花き研究室
農業経営		(H25-15)岩手県下における農業・農村型実証研究の導入効果の解明	25	29	国庫委託	農業経営研究室

(3) 平成26年度試験研究を要望された課題とその措置一覧

(平成25年10月23日付け農研企第160号で要望機関に回答)

1 要望課題一覧

連番	部会	要望機関	要望課題名	担当研究室 ○主査	措置 区分
1	農産	農産園芸課	TPP協定参加を見据えた水稲の省力・低コスト生産技術体系の組み立て	○プロジェクト推進室、農業経営研究室、技術部作物研	B,C,D
2	園芸	全農岩手県本部	りんごのわい化栽培における早期成園化並びに省力化を目指す栽培システムの構築	果樹研究室	B,A2
3	園芸	中央農業改良普及センター(県域)	補給型施肥がりんごの樹体生育と果実品質に及ぼす影響の検証	○生産環境研究室、果樹研究室	A1
4	園芸	中央農業改良普及センター(地域)	クラブアップルの受粉専用品種としての剪定方法の解明	果樹研究室	C
5	園芸	中央農業改良普及センター(一関)	JM7台木とM26 台木の耐寒性の比較	果樹研究室	C
6	園芸	中央農業改良普及センター(県域)	きゅうりフケ果の発生要因解明と対策について	○生産環境研究室、野菜・花き研究室	D
7	園芸	中央農業改良普及センター(県域)	岩手県における青枯病対策技術の確立	病理昆虫研究室	D
8	園芸	中央農業改良普及センター(県域、八幡平)	りんどうの炭疽病、黒斑病、苗腐敗症への適用農薬の拡大	病理昆虫研究室	A1
9	園芸	中央農業改良普及センター(地域)	りんどうを加害する難防除害虫キオビトガリメイガの発生生態の解明と防除対策の確立	病理昆虫研究室	A1
10	畜産	全農岩手県本部	泡タイプティートディップの効果検証について	家畜飼養・飼料研究室	D
11	畜産	中央農業改良普及センター(県域)	黒毛和種一貫経営体における効率的牛肉生産のための飼養管理技術の確立	家畜育種研究室	A1
12	畜産	中央農業改良普及センター(県域、奥州)	各地域における和牛子牛価格形成要因の解析とデータ利用体系の構築	種山畜産研究室	D
13	畜産	中央農業改良普及センター(奥州)	枝肉成績に基づいた飼養管理技術情報の解析とデータ利用体系の構築	種山畜産研究室	D
14	畜産	中央農業改良普及センター(奥州)	飼料作物、牧草の優良品種の選定	家畜飼養飼料研究室	B
15	畜産	中央農業改良普及センター(奥州)	放射性物質を含んだ牧草の給与による原乳等への移行と抑制対策の確立	家畜飼養・飼料研究室	C
16	県北	中央農業改良普及センター(県域)	生食用露地ほうれんそう栽培法の確立	園芸研究室(県北)	A1,D

【措置区分】 A1:次年度実施予定 A2:〇〇年度実施予定(実施予定年度を記載) B:現在実施中

C:既知見あり D:実施できない

5 共同研究等の推進

(1) 食料生産地域再生のための先端技術展開事業(委託)

課題名	委託元	研究期間	研究の内容	担当研究室
被災地域の早期復興に資する果樹生産・利用技術の実証研究	果樹研究所(*)	H24～29	レッドカーランツ及びカシスの栽培技術の確立	果樹
施設園芸栽培の省力化・高品質化実証研究	野菜茶業研究所(*)	H24～29	トマト低段栽培の周年高品質多収のための環境制御と群落管理技術の構築(インタープランティング技術)	南部園芸 野菜花き
中小区画土地利用型営農技術の実証研究	東北農業研究センター(*)	H25～29	中小区画水田における土地利用型作物の安定生産技術及び地域の気象条件を生かした加工品開発により収益性の向上を図る実証研究	プロジェクト推進室 農業経営 作物(技術部) 生産環境
中山間地域における施設園芸技術の実証研究	農林水産省技術会議事務局	H24～29	木骨ハウスや木質資源を活用した低コスト暖房、ICT導入による分散施設の効率的な管理などによる、中山間地域に適用性の高い施設園芸技術を構築する実証研究	南部園芸 野菜花き
ブランド化を促進する果実の生産・加工技術の実証研究	農林水産省技術会議事務局	H24～29	露地キュウリと冬春キャベツによる高収益栽培体系の確立、水稻育苗施設を用いたパブリカの高品質生産技術、省力的なトマト栽培技術などにより収益性の高い新たな営農モデルを構築し、産地ブランド化を目指す実証研究	果樹
ブランド化を促進する野菜の生産・加工技術の実証研究	農林水産省技術会議事務局	H24～29	リンゴの早期成園化技術、北限のユズの栽培技術の構築と加工品開発、ブドウの新品種導入、加工品開発、省力栽培技術などによる、付加価値の高い果実の生産・加工技術を構築する実証研究	野菜花き

* (独)農業・食品産業技術総合研究機構

(2) 農林水産省委託プロジェクト研究事業(委託)

課題名	委託元	研究期間	研究の内容	担当研究室
地域内資源を循環利用する省資源型農業確立のための研究開発	近畿中国四国農業研究センター(*)	H21～25	低コスト養液土耕栽培による水田転換畑におけるリン酸肥料削減技術の実証	野菜花き
地域内資源を循環利用する省資源型農業確立のための研究開発	中央農業総合研究センター(*)	H21～25	窒素質肥料添加による高窒素鶏ふん堆肥の製造とその利用技術の開発	生産環境
自給飼料を基盤とした国産畜産物の高付加価値化技術の開発	畜産草地研究所(*)	H22～26	多収でいもち病抵抗性・耐冷性・識別性を有する飼料用米品種の育成	作物(技術部)
	国立大学法人山形大学	H22～26	バークシャー種における輸入トウモロコシから飼料米への全量代替給与技術の確立	家畜育種
	畜産草地研究所(*)	H22～26	発酵TMR素材としての高タンパク質飼料の低コスト調製・給与技術の開発	家畜育種 家畜飼養・飼料
農林水産分野における地球温暖化対策のための緩和及び適応技術の開発	(独)農業環境技術研究所	H22～26	果樹園における剪定枝チップ等の施用の影響解明	果樹
農林業に係る気候変動の影響評価委託事業	(独)農業環境技術研究所	H25～27	温暖化が野菜生産に及ぼす影響評価(ハウレンソウ生育・遮光管理法高温影響評価)	園芸(県北研)

* (独)農業・食品産業技術総合研究機構

(3) 新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業(委託)

課題名	共同研究機関 (筆頭が中核機関)	研究期間	研究の内容	担当研究室
空気清浄(脱臭・除菌)機能を有する畜舎用光触媒換気装置の開発と実用化(課題番号:23061)	【地独】岩手県工業技術センター、岩手大学、パウレックス㈱、㈱釜石電気製作所	H23～25	5 群飼環境下における環境改善方法の確立	家畜飼養・飼料
涼しい夏を活かす！国産夏秋イチゴ安定多収技術の開発・実証(課題番号:23006)	東北農業研究センター(*)、(地独)青森県産業技術センター野菜研究所他	H23～25	2「花成制御による夏秋イチゴ安定多収技術の開発」 (1)「なつあかり」の長日処理等による安定多収技術の開発	南部園芸
カラーピーマンの光照射追熟技術を利用した増収栽培技術の開発(課題番号:23004)	野菜茶業研究所(*)、宮城県、山形県、長野県、高知県	H23～25	2「光照射追熟を利用した早どり増収栽培技術の開発」 (1)「収穫果実の熟度、収穫時期および品種が光照射追熟に及ぼす影響の解明」	野菜花き
地球温暖化に対応したブドウおよびウメ新品種の開発と温暖化進行後の適地変化予測(課題番号:23029)	果樹研究所(*)、山梨県、福岡県、和歌山県、群馬県、石川県、愛媛県、鹿児島県	H23～25	醸造用ぶどう品種開発 ③選抜系統の岩手県における地域適応性の解明	果樹
食料自給率向上に貢献できる実需者ニーズの高い大豆優良品種の育成(課題番号:23031)	作物研究所(*)、(地独)北海道総合研究機構、北海道、長野県、新潟県、2農業協同組合、朝日食品工業㈱、福島県、京都府、千葉県、鹿児島県	H23～25	(2)～⑨大豆立枯性病害抵抗性系統の評価	作物(技術部)
耐病性といもち病抵抗性を兼ね備えた極良食味及び業務用米品種の開発とその普及(課題番号:23038)	(地独)北海道立総合研究機構、北海道農業研究センター(*)、東北農業研究センター(*)、宮城県、秋田県、山形県、福島県、北海道	H23～25	Ⅱ.寒地における安定良質水稻品種の開発 エー①耐冷性特性調査	作物(技術部)
東北・北陸地域における新作型開発によるタマネギの端境期生産体系の確立(課題番号:24006)	東北農業研究センター(*)、東北農業研究センター(*)、山形県、富山県、弘前大学	H24～26	1-(5)大規模畑作地帯を想定した栽培技術の開発 2-(2)望ましい干渉条件の検討	園芸(県北研)
転炉スラグによる土壌pH矯正を核としたフザリウム性土壌病害の耕種的防除技術の開発(課題番号:24015)	東北農業研究センター(*)、(地独)青森県産業技術センター、宮城県、福島県、東京農業大学	H24～26	1-(1)転炉スラグの効率的な施用によるホウレンソウ萎縮病の被害軽減技術の開発と実証	病理昆虫

* (独)農業・食品産業技術総合研究機構

(4) 研究成果最適展開支援事業((独)科学技術振興機構、委託)

課題名	共同研究機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
(育成研究)				
長日要求性素材を利用した極晩抽性ハクサイの安定生産技術の確立	東北農業研究センター(*)、岩手大学、サカタのタネ	H24～26	選抜系統F1組合わせを用いた新作型の開発	野菜花き

(5) その他独法等からの委託(10/10委託)

事業・課題名	共同研究機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
生研センター・イノベーション創出基礎的研究推進事業(発展型研究一般枠Aタイプ)	(公財)岩手生物工学研究センター	H24～25	「ひとめぼれ」ゲノム資源を活用した重要遺伝子同定と実用品種育成	作物(技術部)
受託研究	中央農業総合研究センター(*)	H24～25	育成地等からの麦類育成系統の耐寒雪性圃場検定	作物(技術部)
受託研究	東北農業研究センター(*)	H24～25	イタリアンライグラスの系統適応性特性検定試験	家畜飼養・飼料
受託研究	生研センター(*)	H25～26	小型幹周草刈機および高機動型高所作業台車の主幹形リンゴ園での実証試験	果樹

* (独)農業・食品産業技術総合研究機構

(6) 民間委託試験(10/10委託)

事業名・課題名	相手方	研究の内容	担当研究室
農薬及び植物調節剤等の効果検定試験	(一社)岩手県植物防疫協会	(社)日本植物防疫協会からの委託	病理昆虫、園芸(県北研)、作物(県北研)
		(社)日本植物調節剤研究協会からの委託	作物(技術部)、果樹、家畜飼養・飼料、作物(県北研)
肥料の効果等に関する試験	岩手県施肥合理化協議会	(対象作物) 水稲、水稲(育苗)、大豆、りんご、ピーマン、キャベツ(育苗)、りんどう、小ぎく	果樹、作物(技術部)、野菜花き、生産環境、作物(県北研)、園芸(県北研)

(7) (公財)岩手生物工学研究センターとの共同研究

研究課題名	生工研担当	研究期間	研究の内容	担当研究室
水稲重要形質と連鎖したDNAマーカーの探索	生命科学研究部(遺伝学ゲノム学研究分野)	H15～26	生工研と共同で遺伝子解析に基づくDNAマーカーの開発及びそれらを用いた岩手オリジナル水稲品種の育成	作物(技術部)
DNAマーカー利用によるリンドウ新育種技術の開発と品種保護への応用	細胞工学研究部(分子育種研究分野)	H20～25	リンドウのDNAマーカーの整備及びそれらを用いた優良品種の育成法の確立 品種保護のために高精度かつ簡易なDNA鑑定技術の開発	野菜花き 病理昆虫
先端的技術を用いた岩手県独自の病害虫診断システムの基盤構築	生命科学研究部(植物病態分子研究分野)	H24～25	リンドウこぶ症関連ウイルス(GKaV)とこぶ症発症との因果関係の解明 分子生物学的な病害虫診断技術を利用した新たな病害虫防除システムの構築	病理昆虫

(8) 他の公設試との共同研究

課題名等	相手方	研究期間	担当研究室
ワイン専用ぶどう新系統の醸造特性評価	工業技術センター	H6～	果樹
県産小麦品種の加工特性評価	工業技術センター	H7～	作物(技術部)
醸造用水稲品種の開発	工業技術センター	H8～	作物(技術部)

(9) AFR(岩手農林研究協議会)研究会

ア 研究会

名称	構成	研究期間	担当研究室
1 岩手育種研究会	◎岩手大学農学部・教育学部、東北農業研究センター、岩手県農業研究センター、岩手生物工学研究センター	H10～	作物(技術部)
2 水稲栽培研究会	◎岩手大学農学部、岩手県農業研究センター	H11～	作物(技術部)
3 イワテヤマナン研究会	◎神戸大学大学院農学研究科、岩手大学農学部・教育学部、岩手県農業研究センターほか	H24～	果樹
4 リンドウ研究会	◎岩手大学農学部、東北農業研究センター、岩手県農業研究センター、八幡平市花き研究開発センター	H11～	野菜花き

※平成24年度協議会(11/16)において継続活動実績のある研究会に整理することを承認。これを受けて当センター職員が参加している研究会のみを掲載した。

イ AFR協議会等の開催

開催月日	場所	内容
25.10.16	岩手大学農学部 1号館2階1号会議室	平成25年度岩手農林研究協議会(AFR)協議会
25.7.16	岩手大学農学部 1号館2階小会議室	平成25年度第1回岩手農林研究協議会(AFR)幹事会
25.11.21		平成25年度第2回岩手農林研究協議会(AFR)幹事会

(10) その他共同研究

課題名	相手方	研究期間	研究の内容	担当研究室
肉用牛における経済形質とDNAマーカーの連鎖解析	(社)畜産技術協会	H13～	岩手県種雄牛の約300頭からなる半兄弟家系を作成し、DNAマーカーによる連鎖解析を行い、経済形質遺伝子座を明らかにする。また、遺伝的不良形質について、500頭程度の半兄弟サンプルを追加、原因領域に新たなマーカーの追加等を行い原因となる遺伝子座を明らかにする。	家畜育種
生物遺伝資源交換に関する研究協定	(独)農業生物資源研究所	H14～	植物、動物、微生物の生物遺伝資源及びDNAの相互交換	センター全体
寒冷地向けイチゴ品種の育成に関する研究	東北農業研究センター(*) (地独)青森県産業技術センター 宮城県農業・園芸総合研究所 秋田県農業試験場 山形県	H24～27	選抜初期世代から東北各地域における適応性を検定し、安定生産を可能にする寒冷地向けイチゴ品種の育成の効率化を実現する。	南部園芸研究室

課題名	相手方	研究期間	研究の内容	担当研究室
アラキドン酸生成遺伝子の多型と黒毛和種のおいしさとの関連性の解明	畜産草地研究所(*) 茨城県畜産センター (株)J-オイルミルズ	H24～25	黒毛和種のアラキドン酸の生合成に関わる酵素の遺伝子多型と牛肉のおいしさの関連性を明らかにする。	家畜育種

* (独)農業・食品産業技術総合研究機構

(11) 産学官連携

名称	開催年月	場所	内容	担当研究室
産学官連携フォーラム いわて産学連携推進協議会 (リエゾン I)	25.11.20	盛岡市 (岩手医科大学)	研究シーズ発表による県内企業とのマッチング (事務局:岩手大学地域連携推進センター)	研究企画

※1 平成25年度リエゾン-Iマッチングフェアに出展した研究シーズ(研究シーズ集掲載)

研究シーズ名	担当研究室
加工用途に適する低アミロース米、有色素米品種	作物(技術部)、作物(県北)
飼料用米55%代替飼料で黒豚の発育・食味向上	家畜育種
黄金色、大粒、糯性の雑穀新品種「アワ岩手糯3号」	作物(県北)
(以下は「研究シーズ集」掲載のみ)	
健康志向の雑穀(ヒエ「ねばりっこ」)でお菓子を作りませんか	作物(県北研)
果肉が褐変しにくいカットフルーツに好適な赤リンゴ「紅いわて」	果樹
大玉でジューシーな赤色りんご新品種「大夢」	果樹
耐寒性が強く食味良好なぶどう「エーデルロツ」	果樹
低コストで廃液を系外に出さないイチゴの閉鎖型高設栽培“エコ”システム	南部園芸
敬老の日に彩りを～鉢物りんどう新品種「ももずきんちゃん」	野菜花き
そばや盛岡冷麺のクズ、おからなどの地域未利用資源で作るブランド豚及び地鶏の自給飼料	家畜育種

6 現地試験の実施

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)	
小畦立て播種栽培に適応できる大豆の機械除草技術の確立	奥州市水沢 奥州市江刺	佐倉河 稲瀬	プロジェクト推進室 (技術部作物)	
小麦密条用小畦立て播種技術の現地実証 (24播種) (24播種)	花巻市 奥州市	西宮野目 佐倉河		
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 中小区画土地利用型営農技術の実証研究 水稲生産の省力化・低コスト化技術の実証	陸前高田市	広田		
省力生産を前提にした安定多収栽培技術の実証 (大豆) (ソバ)	陸前高田市 大槌町	小友 浪板		
省力・低コスト収穫作業体系の実証 (水稲) (大豆) (ソバ)	陸前高田市 陸前高田市 大槌町	広田 小友 波板		
先端プロ: 中山間水田における畦畔法面の省力管理技術の実証 研究	陸前高田市	浜田川地区	農業経営	
県産米の品質・食味トップブランド現地栽培実証 (施肥合: いわて純情米総合実証展示圃)	奥州市 奥州市 北上市 花巻市 花巻市 雫石町 八幡平市 九戸村	水沢区 胆沢区 宮野目 東和町	技術部 作物	
水稲奨励品種決定現地調査 (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (糯)	雫石町 紫波町 岩手町 花巻市 西和賀町 奥州市 一関市 大船渡市 遠野市 山田町 久慈市 二戸市 九戸村	上野 星山 土川 矢沢 沢内前郷 江刺区稲瀬 萩荘 日頃市 上郷町 豊間根 夏井 安比 荒谷		
麦類耐寒雪性特性検定試験	一戸町	奥中山		
麦類奨励品種決定調査(現地調査)	一関市 矢巾町	舞川 煙山		
大豆奨励品種決定調査(現地調査)	奥州市 盛岡市	江刺区田原 玉山区		
リンゴ育種系統の現地適応性試験	二戸市 宮古市 矢巾町 奥州市 一関市	金田一 内の沢 煙山 江刺区小倉沢 花泉町金沢		技術部 果樹
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 ブランド化を促進する果実の生産・加工技術の実証研究	陸前高田市	米崎 広田		

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
低コスト養液土耕装置を利用した効率的施肥法の確立(ピーマン)	遠野市 九戸村	松崎 伊保内	技術部 野菜花き
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 ブランド化を促進する野菜の生産・加工技術の実証研究	陸前高田市 大槌町	竹駒 大槌	
長日要求性素材を利用した極晩抽性ハクサイの安定生産技術の確立	一関市 大船渡市	千厩町奥玉 猪川町	
リンドウ育種F ₁ 系統の現地適応性試験	一戸町 雫石町 奥州市	平糠 上野 衣川区	
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 中山間地域における施設園芸技術の実証研究	陸前高田市	米崎	技術部 南部園芸
リンドウ採花期間における環境にやさしい肥料の検討	八幡平市	安代	環境部
水稻に対するケイ酸質肥料の施用効果の確認	花巻市	石鳥谷	生産環境
粒状てんろ炭カルの大豆の施用効果	花巻市	東和	
高窒素鶏ふん堆肥の現地実証試験	岩手町	久保	
	花巻市	笹間	
	北上市	成田	
	一関市	舞川	
復旧水田での地力改善による水稻の安定生産実証	陸前高田市	竹駒、気仙、 米崎、小友、 広田	
広域的な葉いもち防除の徹底による穂いもち防除を省略した いもち病防除体系の確立	奥州市	①江刺区 (愛 宕、田原、藤 里、玉里) ②水沢区 (佐 倉河、羽田、 姉体)	環境部 病理昆虫
大豆のママシクイガに対する効率的な防除対策の確立	奥州市	江刺区 大豆 生産組合×3 組合	
キュウリホモブシス根腐病の防除技術の確立	花巻市	糠塚	
土壌酸性改良によるハウレンソウ萎凋病の発病抑制効果試験	①遠野市 ②八幡平市	①松崎 ②西根	
施設栽培なすにおける天敵製剤を活用した化学合成農薬削減技 術の開発	花巻市	大迫	
施設栽培ピーマンにおける天敵製剤を活用した化学合成農薬削減 技術の開発	①花巻市 ②奥州市 ③矢巾町	①石鳥谷町 ②水沢区 ③室岡 (パプ リカ)	
りんどうこぶ症関連ウイルス(GKaV)の伝搬経路の探索	①八幡平市 ②西和賀町 ③盛岡市	こぶ症発症圃 場	
新農薬の効果試験と防除指針作成	①三戸町 ②軽米町 ③盛岡市 ④花巻市 ⑤岩泉町	①斗内 ②晴山 ③羽場 ④石鳥谷町 ⑤安家、小川	

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
民間農場におけるパークシャー種豚農場改良システム	岩泉町		畜産研究所
自給飼料多給による高付加価値豚肉生産			家畜育種
飼料作物栽培における土壌条件等に応じた減肥技術の確立	滝沢市		家畜飼養・飼料
小区画圃場でのとうもろこし不耕起実証試験 トウモロコシ市販品種の特性比較	葛巻町 宮古市 八幡平市		
日本短角種の周年出荷へ向けた飼養管理技術の確率	久慈市		外山畜産
黒毛和種の妊娠中後期における冬期屋外飼養技術の確立	洋野町		
たまねぎの新作型栽培法の確立	九戸村	江刺家	県北農業研究所
土壌くん蒸剤による難防除雑草ゴウシュウアリタソウの防除対策	軽米町 軽米町	観音林 増子内	園芸
加工・栽培特性に優れた雑穀オリジナル品種の開発と雑穀遺伝資源の収集・評価・保存	軽米町 一戸町	晴山 面岸	県北農業研究所 作物
安定生産を可能にする雑穀畑輪作技術の確立	二戸市 軽米町	上海上 長倉	

Ⅲ 試験研究の成果

Ⅲ 試験研究の成果

1 試験研究成果

(1)平成25年度成果数

成果区分	普及 (普及に移しうる 成果)	指導 (技術指導に 参考となる成果)	行政 (行政施策等に反 映すべき成果)	研究 (研究手法等に 関する成果)	総計
1 農業構造・経営管理			1		1
2 水稲		4	3		7
3 畑作物	3	3			6
4 果樹	1	4			5
5 野菜	1	3		2	6
6 花き	2	1			3
7 作業技術	1	4			5
8 環境保全					
9 土壌作物栄養	1	2	1		4
10 病害虫制御		8			8
11 食の安全					
12 乳用牛					
13 肉用牛		2	5		7
14 中小家畜(豚・鶏)		1			1
15 草地・飼料作物	2	4			6
16 家畜バイオテクノロジー					
17 畜産環境					
18 県北農業振興	2	3			5
19 震災復興					
[計]	13	39	10	2	64

普及:農家等へ普及することによって、経済効果や経営改善等が見込まれる成果

指導:普及指導員等の技術指導上の参考として適当と認められる成果

行政:行政からのニーズに対応した研究成果等で、行政施策の企画等に参考になると認められるもの

研究:研究手法・分析手法、育種母本等に関するもの

(2) 平成25年度成果名一覧

【普及(普及に移しうる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
3 畑作物	(H25-普-01)	製パン適性に優れ穂発芽に強い超強力小麦「銀河のちから」	作物(技術)
2 水稲 7 作業技術	(H25-普-02)	水稲鉄コーティング湛水直播の最適コーティング量と本田初期管理	プロジェクト推進室
3 畑作物	(H25-普-03)	多収、高品質、豆腐加工適性に優れる大豆「シュウリュウ」	作物(技術)
3 畑作物	(H25-普-04)	多収、高品質大豆「シュウリュウ」の栽培法	作物(技術)
4 果樹	(H25-普-05)	りんご「岩手7号(紅いわて)」の収穫適期判断	果樹(技術)
5 野菜	(H25-普-06)	アスパラガス伏せ込み促成栽培に適した品種「ウィンデル」の特性	野菜花き(技術)
6 花き	(H25-普-07)	9月上旬開花の切り花向け青色リンドウF1品種「いわてLB-3号(仮称)」の育成	野菜花き(技術)
6 花き	(H25-普-08)	9月上中旬開花の切り花向け青色リンドウF1品種「いわてLB-4号(仮称)」の育成	野菜花き(技術)
9 土壌作物栄養	(H25-普-09)	鶏ふん堆肥に尿素を添加したL型肥料の開発	生産環境
15 草地・飼料作物	(H25-普-10)	乾物収量性に優れた飼料用とうもろこし品種「ロイヤルデント TH875」	家畜飼養・飼料
15 草地・飼料作物	(H25-普-11)	乾物収量性に優れた飼料用とうもろこし品種「ゴールドデントKD550」	家畜飼養・飼料
18 県北農業振興	(H25-普-12)	顔色が濃い大粒品種「キビ岩手糯1号」の育成	作物(県北)
18 県北農業振興	(H25-普-13)	土壌くん蒸剤による難防除雑草ゴウシュウアリタソウの防除対策	園芸(県北)

【指導(技術指導に参考となる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
2 水稲 7 作業技術	(H25-指-01)	水稲鉄コーティング種子作製用鉄粉の造粒・発熱特性の比較	プロジェクト推進室
2 水稲 7 作業技術	(H25-指-02)	水稲鉄コーティング湛水直播栽培技術の特徴	プロジェクト推進室
2 水稲	(H25-指-03)	平成25年岩手県産水稲の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	作物(技術)
2 水稲	(H25-指-04)	岩手県における水稲品種「ひとめぼれ」の疎植栽培の特徴	作物(技術)
2 水稲	(H25-指-05)	平成25年度における水稲品種「いわてっこ」の障害不稔発生の解析	作物(県北)
3 畑作物 7 作業技術	(H25-指-06)	水田大豆の畦立て栽培に適応できる改良型ディスク式除草機の効果	プロジェクト推進室
3 畑作物 7 作業技術	(H25-指-07)	大豆小畦立て播種と同じ仕様でできる小麦の単条広幅小畦立て播種栽培	プロジェクト推進室
3 畑作物	(H25-指-08)	除草剤ペンタゾン液剤に対する大豆「シュウリュウ」の反応特性および薬害を軽減する散布方法	作物(技術)
3 畑作物	(H25-指-09)	平成25年岩手県産小麦の雨害による品質低下の要因	作物(技術)

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
3 畑作物	(H25-指-10)	平成25年岩手県産大豆の生育経過と特徴	作物(技術)
4 果樹	(H25-指-11)	りんご新品種に対する摘果剤の効果	果樹(技術)
4 果樹	(H25-指-12)	りんご品種「はるか」の栽培特性	果樹(技術)
4 果樹	(H25-指-13)	ぶどう品種「エーデルロッセ」の花穂整形方法と適正着果量	果樹(技術)
4 果樹	(H25-指-14)	おうとう品種「紅秀峰」は垣根仕立て栽培への適応性が高い	果樹(技術)
5 野菜	(H25-指-15)	杉樹皮のトマト隔離床用培地への適応性	南部園芸
5 野菜	(H25-指-16)	良質で多収の四季成り性イチゴ「すずあかね」の特性	南部園芸
5 野菜	(H25-指-17)	一季成り性イチゴ品種の夏秋栽培における特性と高温対策技術	南部園芸
6 花き	(H25-指-18)	リンドウ種子生産におけるリンドウ子房輪紋症ウイルスの伝搬経路と対策	野菜花き(技術)
9 土壌作物栄養	(H25-指-19)	県内水田土壌の30年間の施肥管理と化学性の変化	生産環境
9 土壌作物栄養	(H25-指-20)	県内畑土壌の30年間の有機物施用と化学性の変化	生産環境
10 病害虫制御	(H25-指-21)	ハウレンソウ白斑病の病原菌と防除薬剤	病理昆虫
10 病害虫制御	(H25-指-22)	転炉スラグを用いた土壌pH改良によるハウレンソウ萎凋病の被害軽減	病理昆虫
10 病害虫制御	(H25-指-23)	だいこんキスジノミハムシ多発ほ場での防除体系	病理昆虫
10 病害虫制御	(H25-指-24)	施設なすにおける天敵製剤と物理的防除を組み合わせたアザミウマ類・ハダニ類の防除効果	病理昆虫
10 病害虫制御	(H25-指-25)	施設ピーマンにおける天敵製剤と物理的防除を組み合わせたアザミウマ類防除効果	病理昆虫
10 病害虫制御	(H25-指-26)	紫外線カットフィルムが施設ピーマンの作付初期に寄生したミカンキイロアザミウマの密度に与える影響	病理昆虫
10 病害虫制御	(H25-指-27)	施設パプリカにおける天敵製剤と物理的防除を組み合わせたアザミウマ類防除効果	病理昆虫
10 病害虫制御	(H25-指-28)	りんご園地におけるヒメボクトウ若齢幼虫の効果的な防除方法	病理昆虫
13 肉用牛	(H25-指-29)	黒毛和種去勢肥育牛における給与飼料のNFC/DIPと尿石症発症リスクの関連性	家畜育種
13 肉用牛	(H25-指-30)	「菊福秀」産子の母方祖父別枝肉成績	種山畜産
14 中小家畜(豚・鶏)	(H25-指-31)	パークシャー種の肥育後期(体重70~110kg)における飼料用米配合飼料給与が発育・肉質に及ぼす影響(追補)	家畜育種
15 草地・飼料作物	(H25-指-32)	飼料用とうもろこし栽培におけるリン酸の補給型施肥基準	家畜飼養・飼料

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
15 草地・飼料作物	(H25-指-33)	新播草地における播種翌年の一番草刈取り前のエゾノギンギンに対する効果的な除草剤	家畜飼養・飼料
15 草地・飼料作物	(H25-指-34)	草地更新における前植生の土壌混和状況の違いとカリ追肥量が牧草中放射性セシウム濃度へ与える影響	家畜飼養・飼料
15 草地・飼料作物	(H25-指-35)	県内除染後牧草地におけるカリウム施肥による牧草ミネラルバランスへの影響	家畜飼養・飼料
18 県北農業振興	(H25-指-36)	雑草発生量の少ない雑穀畑輪作技術	作物(県北)
18 県北農業振興	(H25-指-37)	加工・業務用に求められるM規格のねぎ栽培に適した栽植密度	園芸(県北)
18 県北農業振興	(H25-指-38)	県北地域における無側枝性ギク(露地栽培)の窒素施肥量	園芸(県北)

【行政(行政施策等に反映すべき成果)】

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
1 農業構造・経営管理	(H25-行-01)	岩手県産きゅうりの競争ポジショニングと対応方向	農業経営
2 水稲	(H25-行-02)	平成25年度水稲奨励品種決定本調査・現地調査結果	作物(技術)
2 水稲	(H25-行-03)	平成26年度水稲奨励品種決定本調査・現地調査に新たに供試する「ふ系238号」「北陸255号」「岩手111号」	作物(技術)
2 水稲	(H25-行-04)	平成26年度水稲奨励品種決定予備調査に供試する「岩手112号」「岩手113号」「岩手114号」「岩手115号」「岩手116号」	作物(技術)
9 土壌作物栄養	(H25-行-05)	ガレキ分別土の農地作土利用における水稲生育への影響	生産環境
13 肉用牛	(H25-行-06)	日本短角種産肉能力検定(直接法)成績	家畜育種
13 肉用牛	(H25-行-07)	日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	家畜育種
13 肉用牛	(H25-行-08)	岩手県の和牛集団における地方病性牛白血病発症抵抗性に関連する遺伝子型と枝肉形質との関連	家畜育種
13 肉用牛	(H25-行-09)	黒毛和種産肉能力検定(直接法)成績	種山畜産
13 肉用牛	(H25-行-10)	黒毛和種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	種山畜産

【研究(研究手法等に関する成果)】

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
5 野菜	(H25-研-01)	溶液栽培におけるハウスキュウリ・トマトの個体葉面積推定法	野菜花き(技術)
5 野菜	(H25-研-02)	ユビキタス環境制御システムに対応した簡易量管理給液装置の開発	野菜花き(技術)

2 追跡評価

○平成25年度追跡評価の概要

(1) 評価視点

岩手県農業研究センター試験研究課題評価実施要領別表5の規程により、「成果の活用状況」について、「現在も有効な成果であるか」「成果が経済活動等で活用されているか」の評価視点で追跡評価を実施。

(2) 追跡評価の調査方法

ア 評価1(評価の視点「現在も有効な成果であるか」)

(ア) 評価対象 平成9年度から平成22年度までに公表した「普及」、「指導」区分の試験研究成果(1037 成果)

(イ) 評価方法 成果の主査研究室が関係研究室と調整の上、自己評価

(ウ) 評価区分

A:(現在でも)有効

B:目的達成(既に、成果の目的を達成し、現在では有効性がない)

C:後年度の成果に反映(更新)

D:無効(Bの概念にふくまないもの)

イ 評価2(評価の視点「成果が経済的活動等で活用されているか」)

(ア) 評価対象

a 平成22年度に公表した「普及」区分の研究成果(17 成果)

b 平成22年度に公表した「指導」区分の研究成果(39 成果)

(イ) 評価方法

a 「普及区分」

(a) 本庁各室課が定める要綱・要領等に基づき検討されている成果は、自己評価を実施(別紙様式「平成22年度追跡評価調査(普及区分)」)

① 農作物奨励品種等の決定及び改廃に関する要綱(奨励品種等)

※ 農産園芸課が所管する稲、麦類、豆類、果樹、野菜、花き等が対象

② 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針作成要領(農薬の採用・使用上の留意点等)

③ いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会設置要領(種雄牛の作出)

④ 日本短角種集団育種推進事業推進協議会設置要領(種雄牛の作出)

(b) 上記(a)以外の成果は、成果の活用状況(「成果活用による効果等」)について、以下により、生産者等に調査を依頼

① 評価調査による調査:成果毎に調査対象者*1を定め、評価調査による調査を依頼

※ 調査対象者は、農業改良普及センターの協力を得て選定(生産者等58名)

a 「指導区分」

(a) 成果の活用状況(「技術指導の参考」、「指導効果」)について、主要農業改良普及センター等に調査を依頼

(b) 評価区分

a 評価調査による調査:成果毎に調査対象者を定め、評価調査による調査を依頼

※ 調査対象者は、中央農業改良普及センターの協力を得て選定

3 東北農業試験研究成果

< 研究成果情報 >

(1) 研究成果数

推進部会名	稲	畑作物	野菜花き	果樹	生産環境	畜産	計
研究成果数	3	7	2	2	3	2	18※

※ 稲推進部会と生産環境推進部会で共通の研究成果が1成果

(2) 研究成果名

推進部会名	成 果 名	分 類	主査研究室
稲・生産環境	岩手県における「ひとめぼれ」の茎数増加モデルとその適用範囲	研究	作物(技術部)
稲	寒冷地における水稲鉄コーティング湛水直播の苗立ち安定化技術	研究	プロジェクト推進室
	岩手県における「ひとめぼれ」の疎植栽培の特徴	研究	作物(技術部)
畑作物	穀粒が濃い黄色で大きい短稈・多収あわ新品種「アフ岩手糯3号」	畑作物品 種・普及	作物(県北研)
	穎色が濃い大粒のきび新品種「キビ岩手糯1号」	畑作物品 種・普及	作物(県北研)
	小麦「銀河のちから」の岩手県における採用	畑作物品 種・普及	作物(技術部)
	大豆新品種「シュウリュウ」の岩手県における採用	畑作物品 種・普及	作物(技術部)
	岩手県における多収、高品質大豆「シュウリュウ」の栽培法	畑作物品 種・普及	作物(技術部)
	ベンタゾン液剤に対する大豆「シュウリュウ」の反応特性と葉害を軽減する散布時期	畑作物品 種・普及	作物(技術部)
	平成25年岩手県産小麦の雨害による品質低下	畑作物品 種・普及	作物(技術部)
野菜花き	イチゴの短日送風処理による夏秋どり作型における一季成り性品種の特性	研究	野菜花き
	帰化雑草「ゴウシュウアリタソウノ」に対する数種土壌くん蒸剤の防除効果	研究	園芸(県北研)
果樹	りんご「岩手7号(紅いわて)」の収穫適期判断	研究	果樹
	オウトウ品種「紅秀峰」は垣根仕立て栽培への適応性が高い	普及	果樹
生産環境	キュウリ黒星病防除剤の効果と本病感受性の品種間差異	普及	病理昆虫
	鶏ふん堆肥に尿素を添加したL字型肥料の開発	普及	生産環境
畜産	NFC/DIPが4程度の飼料では黒毛和種去勢肥育牛の尿石症リスクが高まる	研究	家畜育種
	前植生の十分な攪拌とカリ追肥は牧草中放射性セシウム濃度を低下させる	研究	家畜飼養・飼料

IV 試験研究成果の発表

IV 試験研究成果の発表

1 試験成績書等刊行物

資料番号等	表題名	発行年月	総頁数
プロジェクト推進室 プロ推 26-No.1	平成26年度 試験研究成績書 プロジェクト推進室	26.3	162
企画管理部 経営 25 No.1	岩手県産きゅうりの競争ポジショニングと対応方向	25.2	163
技術部 技術25 No.1	平成23年度 水稻新品種育成試験成績書(技術部作物研究室)	25.8	155
技術25 No.2	平成25年度 水稻関係除草剤試験成績書(技術部作物研究室)	25.1	82
技術25 No.3	平成24年度 果樹試験成績書(技術部果樹研究室)	25.1	167
環境部 環境 25 No.1	平成25年度 試験研究成績書(病理昆虫研究室)	26.3	360
環境 25 No.2	平成25年度 試験研究成績書(生産環境研究室)	25.3	137
病虫害防除部	平成25年度 植物防疫事業年報	26.5	180
	イネドロオイムシの食害程度判別シート	26.2	4
畜産研究所 畜産 24 No.1	平成24年度試験成績書(畜産研究所)	25.3	78
県北農業研究所 県北 25 No.1	平成24・25年度 試験研究成績書(園芸研究室)	26.3	89
県北 25 No.2	平成24・25年度 試験研究成績書(作物研究室)	26.3	100

2 研究レポート(平成25年度発行分)

No.	試験研究成果名	担当研究室
692	水稲鉄コーティング湛水直播の最適コーティング量と本田初期管理	プロジェクト推進室
693	水稲鉄コーティング種子作製用鉄粉の造粒・発熱特性の比較	プロジェクト推進室
694	水稲鉄コーティング湛水直播栽培技術の特徴	プロジェクト推進室
695	水田大豆の畦立て栽培に適応できる改良型ディスク式除草機の効果	プロジェクト推進室
696	大豆小畦立て播種と同じ仕様でできる小麦の単条広幅小畦立て播種栽培	プロジェクト推進室
697	りんご「紅いわて」の収穫適期判断	果樹(技術)
698	おうとう品種「紅秀峰」は垣根仕立て栽培への適応性が高い	果樹(技術)
699	りんご新品種に対する適果剤の効果	果樹(技術)
700	りんご品種「はるか」の特性	果樹(技術)
701	ぶどう品種「エーデルロツ」の花穂整形方法と適正着果量	果樹(技術)
702	製パン適性に優れ穂発芽に強い超強力小麦「銀河のちから」	作物(技術)
703	岩手県における水稲品種「ひとめぼれ」の疎植栽培の特徴	作物(技術)
704	多収、高品質、豆腐加工適性に優れる大豆品種「シュウリュウ」	作物(技術)
705	多収、高品質大豆「シュウリュウ」の栽培法	作物(技術)
706	除草剤ベンタゾン液剤に対する大豆「シュウリュウ」の反応特性および薬害を軽減する散布方法	作物(技術)
707	アスパラガス伏せ込み促成栽培に適した品種「ウインデル」の特性	野菜花き(技術)
708	9月上旬開花の切り花向け青色リンドウF1品種「いわてLB-3号(仮称)」の育成	野菜花き(技術)
709	9月上中旬開花の切り花向け青色リンドウF1品種「いわてLB-4号(仮称)」の育成	野菜花き(技術)
710	リンドウ種子生産におけるリンドウ子房輪紋症ウイルスの伝搬経路と対策	野菜花き(技術)
711	良質で多収の四季成り性イチゴ「すずあかね」の特性	南部園芸
712	一季成り性イチゴ品種の夏秋栽培における特性と高温対策技術	南部園芸
713	鶏ふん堆肥に尿素を添加したL型肥料の開発	生産環境
714	ガレキ分別土の農地作土利用における水稲生育への影響	生産環境
715	県内水田土壌の30年間の施肥管理と化学性の変化	生産環境
716	県内畑土壌の30年間の有機物施用と化学性の変化	生産環境

No.	試験研究成果名	担当研究室
717	ハウレンソウ白斑病の病原菌と防除薬剤	病理昆虫
718	転炉スラグを用いた土壌pH改良によるハウレンソウ萎凋病の被害軽減	病理昆虫
719	だいこんキスジノミハムシ多発ほ場での防除体系	病理昆虫
720	施設なすにおける天敵製剤と物理的防除を組み合わせたアザミウマ類防除効果	病理昆虫
721	施設ピーマンにおける天敵製剤と物理的防除を組み合わせたアザミウマ類防除効果	病理昆虫
722	紫外線カットフィルムが施設ピーマンの苗に寄生していたミカンキイロアザミウマの増殖に与える影響	病理昆虫
723	施設パプリカにおける天敵製剤と物理的防除を組み合わせたアザミウマ類防除効果	病理昆虫
724	りんご園地におけるヒメボクトウ若齢幼虫の効果的な防除方法	病理昆虫
725	黒毛和種去勢肥育牛における給与飼料のNFC/DIPと尿石症発症リスクの関連性	家畜育種
726	パークシャー種の肥育後期(体重70~110kg)における飼料用米配合飼料給与が発育・肉質に及ぼす影響(追補)	家畜育種
727	乾物収量性に優れた飼料用とうもろこし品種「ロイヤルデント TH875」	家畜飼養・飼料
728	乾物収量性に優れた飼料用とうもろこし品種「ゴールドデントKD550」	家畜飼養・飼料
729	飼料用とうもろこし栽培におけるリン酸の補給型施肥基準	家畜飼養・飼料
730	新播草地における播種翌年の一番草刈取り前のエゾノギシギシに対する効果的な除草剤	家畜飼養・飼料
731	草地更新における前植生の土壌混和状況の違いとカリウム追肥量が牧草中放射性セシウム濃度へ与える影響	家畜飼養・飼料
732	県内除染後牧草地におけるカリウム施肥による牧草ミネラルバランスへの影響	家畜飼養・飼料
733	黒毛和種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	種山畜産
734	「菊福秀」産子の母方祖父別枝肉成績	種山畜産
735	平成25年度における水稻品種「いわてっこ」の障害不稔発生の解析	作物(県北)
736	顔色が濃い大粒品種「キビ岩手糯1号」の育成	作物(県北)
737	雑草発生量の少ない雑穀畑輪作技術	作物(県北)
738	土壌くん蒸剤による難防除雑草ゴウシュウアリタソウの防除対策	園芸(県北)
739	加工・業務用に求められるM規格のねぎ栽培に適した栽植密度	園芸(県北)
740	無側枝性ギク(露地栽培)の施肥量	園芸(県北)

3 岩手県農業研究センター研究報告

第13号(平成26年3月発行)

区分	論文題名	著者	所属
報文	リンドウ褐斑病の病原菌, 発生生態および防除法に関する研究	猫塚修一	元環境部病理昆虫研究室 (現 県南広域振興局農政部花巻農林振興センター)
	岩手県におけるキュウリホモプシス根腐病の発生生態と防除に関する研究	岩館康哉	環境部病理昆虫研究室
	岩手県内の黒毛和種および日本短角種における牛肉中の脂肪酸組成と枝肉形質の遺伝的パラメータの推定	佐藤洋一	元畜産研究所家畜育種研究室 (現 岩手県立農業大学校)
		安田潤平	元畜産家畜育種研究室 (現 中央農業改良普及センター)
		米澤智恵美	元畜産研究所家畜育種研究室 (現 中央農業改良普及センター軽米普及サブセンター)
藤村和哉		元畜産研究所種山畜産研究室 (現 農林水産部畜産課)	
	熊谷光洋	元畜産研究所家畜育種研究室 (現 畜産研究所外山畜産研究室)	

4 学会等研究報告

(1) 学術論文(専門家の査読を受け、掲載された論文)

岩手県農業研究センター研究報告

○岩舘 康哉(2014)
岩手県におけるキュウリホモブシス根腐病の発生生態と防除に関する研究
岩手農研七研報 13:69-160.

PLOS ONE (2013)

Eri Ogiso-Tanaka*a1, Kazuki Matsubara*b1, Shin-ichi Yamamoto*a1, Yasunori Nonoue*c1, Jianzhong Wu*a1, Hiroko Fujisawa*a1, Harumi Ishikubo*a1, Tsuyoshi Tanaka*a1, Tsuyu Ando*a1, Takashi Matsumoto*a1, Masahiro Yano*a1
Natural Variation of the RICE FLOWERING LOCUS T 1 Contributes to Flowering Time Divergence in Rice
PLOS ONE 8 (10): e75959
*1 Agrogenomics Research Center, National Institute of Agrobiological Sciences
Current address: a: Genetic Resources Center, National Institute of Agrobiological Sciences, b: Institute of Crop Sciences, National Agriculture and Food Research Organization, c: Iwate Agricultural Research Center

Breeding Science (2013)

Tadashi Abe#*1, Yasunori Nonoue#*2*6, Nozomi Ono*2, Motoyasu Omoteno*3, Masato Kuramata*1, Shuichi Fukuoka*4, Toshio Yamamoto*4, Masahiro Yano*5, and Satoru Ishikawa**1
Detection of QTLs for reducing cadmium (Cd) concentrations in rice grain by using LAC23/Koshihikari chromosome segment substitution lines.
Breeding Science 63:284-291
*1 Soil Environment Division, National Institute for Agro-Environmental Sciences, *2 Institute of the Society for Techno-innovation of Agriculture, Forestry and Fisheries, *3 Toyama Prefectural Agricultural, Forestry & Fisheries Research Center, *4 Agrogenomics Research Center, National Institute of Agrobiological Sciences, *5 Agrogenomics Research Center, National Institute of Agrobiological Sciences
Current address: : 6 Iwate Agricultural Research Center
#These authors contributed equally to this work

北日本病害虫研究会報

○岩舘 康哉(2013)
キュウリ黒星病に対する感受性の品種間差異
北日本病害虫研究会報 64:72-75.

○羽田 厚(2013)
リンゴ樹体内に食入したヒメボクトウ幼虫に対するベルメトリンエアゾルの防除効果
北日本病害虫研究会報 64:200-202.

○富永 朋之(2013)
発病枝の吊り下げ接種によるリンゴ腐らん病に対する薬剤防除効果の検討
北日本病害虫研究会報 64:243. 講要

○村上太郎・田淵 研*1・横田 啓・宍戸貴洋(2013).
発生予察におけるアカスジカスミカメのフェロモントラップの有効性(第2報)
北日本病害虫研究会報 64:244. 講要
*1 農研機構東北農業研究センター

○横田 啓(2013)
マメシクイガに対する数種薬剤の時期別防除効果
北日本病害虫研究会報 64:251. 講要

○多田典穂・伊藤勇弥*1(2013)
岩手県の夏秋ビーマンにおけるアカメガシワクダアザミウマによるアザミウマ防除効果
北日本病害虫研究会報 64:255. 講要
*1 石原産業株式会社

○吉田 雅紀・加藤 清吾(2013)
2011年および2012年の岩手県におけるオオタバコガの発生消長
北日本病害虫研究会報 64:176-181.

International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology

○Masanori Tohno*1・Maki Kitahara*2・Tomohiro Irisawa*2・Takaharu Masuda・Ryuichi Uegaki*1・Moriya Ohkuma*2・Kiyoshi Tajima*1 (2013).
Description of *Lactobacillus iwatensis* sp. nov., isolated from orchardgrass (*Dactylis glomerata* L.) silage, and *Lactobacillus backii* sp. nov.
Int J Syst Evol Microbiol 63:3854-3860.
*1 National Insitutite of Livestock and Glassland Science, *2 Microbe Division/Japan Collection of Microorganisms, RIKEN,

(2)学会発表(発表要旨)

H24年分

北日本病害虫研究会(第66回発表会:2013.2.14～15開催・秋田ビューホテル 北日本病害虫研究会報. 第64巻)

○阿部 弘・星 伸枝・阿部 潤*1・仲谷 房治*2(2013) 岩手県内のスターチス・シヌアータに発生したウイルス病 北日本病害虫研究会報 64:241. 講要 *1 岩手県生物工学研究所*2 岩手県植物防疫協会
○村上 太郎・田淵 研*1・横田 啓・宍戸 貴洋(2013) 発生予察におけるアカスジカスミカメのフェロモンとラップの有効性(第2報) 北日本病害虫研究会報 64:244. 講要 *1農研機構 東北農業研究センター
○大友 令史・名久井 一樹(2013) 岩手県における果樹カメムシの発生と被害の実態 北日本病害虫研究会報 64:258. 講要

H25年分

日本作物学会(第237回講演会—2014春季:2014.3.29～30開催・千葉大学)

○寺田道一・臼井智彦・高橋昭喜・扇良明 岩手県における水稲鉄コーティング湛水直播栽培の苗立ち安定化のための最適コーティング量と播種後の水管理 (ポスター発表) 日本作物学会記事.第83巻(別号1):270-271
○小館琢磨・川代早奈恵・菅原浩視 岩手県における夏季高温年の水稲「ひとめぼれ」の栽培管理方法がタンパク質含量及び外観品質に与える影響 日本作物学会記事.83(別1):262-263

日本育種学会(第124回講演会—2013秋季:2013.10.12～14開催・鹿児島大学)

○仲条真介(2013) 鮮やかな粒色をもつ多収籾アワ新品種「アワ岩手籾3号」の育成 育種学研究. 15(別2):51
--

日本育種学会 第125回講演会(平成25年度春季大会:2014.3.21～22開催・東北大学 育種学研究15(別1):2014.3月発行)

○野々上 慈徳・阿部 陽*・高木宏樹*・八重樫弘樹*・菊地秀子*・宇津志博恵*・小笠原由美子・川代 早奈恵・菅原 浩視・ 寺内良平*(2014) QTL-seq法による北東北地域のイネ品種の出穂期関連遺伝子座の同定 育種学研究16(別1):20 *(公財)岩手生物工学研究センター
○川代早奈恵・阿部陽*・野々上慈徳・高木宏樹*・太田裕貴・小館琢磨・小綿寿志・寺内良平*・菅原浩視(2014) 新奇のやや低アミロース性イネ突ぜつbへんい系統の特性 育種学研究16(別1):62 *(公財)岩手生物工学研究センター

日本作物学会東北支部会 第56回講演会(2013.8.20～21 開催・福島県農業総合センター)

○小綿寿志・谷口義則*1(2013) 小麦開溝粒の発生と播種様式との関係について *1 東北農業研究センター 日本作物学会東北支部会報 第56号 : 5-7
○大里達朗(2013) 岩手県北における水稲安定多収のための生育ステージのとらえ方と栽培に当たってのポイント 支部会報. 56:43
○仲条真介(2013) アワ・キビ粒色の退色に与える温度と光質の影響について 支部会報. 56:51

東北農業試験研究第56回発表会(2013.7.31 開催・盛岡市)・東北農業研究(第66号)

○白井 智彦・白土 宏之*(2013). 鉄コーティング直播栽培における岩手県主要水稻品種の出芽・苗立ちの特徴 *1 東北農業研究センター
○菅原浩視・阿部陽*・吉田宏**(2013) 水稻低アミロース品種「岩手91号」の育成 *(公財)岩手生物工学研究センター、**岩手県農村計画課
○漆原昌二・大友英嗣*・藤尾拓也・本田純悦 露地ビーマンの点滴かん水による効果とリン酸減肥 *一関農業改良普及センター
○桐山直盛 牧草の放射性セシウム吸収に対するリター・ルートマット層および土壌中のカリ含量の影響
○高橋彩子 岩手県における水稻に対するケイ酸資材の効果・モニタリング
○佐藤まり子・佐藤直人*1・茂呂勇悦*2・山本公平*3(2013). 傾斜放牧地における作溝式播種機初冬期播種技術 *1 現 県立農業大学校, *2 中央農業改良普及センター, *3 一関農業改良普及センター
○佐々木正俊・増田隆晴(2013). 傾斜放牧地における作溝式播種機初冬期播種技術
○神山洋・熊谷光洋(2013). 近赤外線装置を活用した黒毛和種枝肉筋間脂肪中の脂肪酸測定法の検討
○佐々木康仁・熊谷光洋(2013). 飼料用米の多給がバークシャー種肥育後期豚の発育及び肉質に及ぼす影響

第8回ヤマセ研究会(2013.8.20~21 開催・宮城県古川農業試験場)

○高橋智宏(2013) 気温の予想を用いた 栽培管理指導に向けた水稻の生育量予測

第7回農業気象研究会(2013.11.13~14 開催・中央農業総合研究センター)

○高橋智宏(2013) 岩手県における気温予測を用いた水稻の生育量予測と栽培管理指導への活用

13th International Asparagus Symposium(2013.10.21~23 開催・中華人民共和国南昌市)・Acta Horticulturae

○Takayuki Yamaguchi1 and Tomoo Maeda2 Asparagus production from autumn to winter in Japan: current status and novel techniques of the 'Fusekomi forcing culture' 1岩手農研セ、2弘前大学農学生命科学部
○Daniel. Z. K. Wambrawu1, T. Kashiwatani1, A. Komura1, H. Hasegawa1, K. Narita1, K. Honda1, T. Maeda1 and T. Yamaguchi2 Effect of supplemental light on the quality of green asparagus cultivated by winter forcing culture 1弘前大学農学生命科学部、2岩手農研セ

園芸学会(平成25年度秋季大会:2013.9.20~22開催・岩手県岩手大学上田キャンパス 園芸学研究. 12(別1): 2013.9月発行)

○藤尾拓也1・山田修1・東出忠桐2・山口貴之1・内藤善美1・漆原昌二1・岩崎泰永2 地下水を利用したトマトの茎部冷却処理が果実収量に及ぼす影響 園芸学研究第12巻(別冊2): 362. 1岩手農研セ、2農研機構野菜茶業研究所
○樋口洋子 1・池浦博美1・北條伶子1・春原奈々1・柘植一希1・細田絢子1・清水佑1・飯塚明範1・大中創太1・伊藤秀和 2・森本進3・寺崎亮4・北澤裕明5・藤尾拓也6・元木悟1 非破壊式糖酸度計を利用した房どりトマトの品質評価 園芸学研究第12巻(別冊2): 275. 1明治大農学部,2農研機構野菜茶研,3(株)クボタ,4明治大院農学研究科,5農研機構食総研,6岩手農研セ
常盤秀夫1・○元木悟2・松永邦則3・浦上敦子4・清水佑2・飯塚明範2・山口貴之5・北澤裕明6・芳賀紀之7・北條伶子2・細田絢子2・大中創太2・柘植一希2・樋口洋子2・春原奈々2・寺崎亮2・池浦博美2・前田智雄8 アスパラガスの作型前進のための改良マルチ栽培法の検討 園芸学研究第12巻(別冊2): 275. 1福島県農業総合センター、2明治大学農学部、3バイオニアエコサイエンス(株)、4農研機構野菜茶研、5岩手農研セ、6農研機構食総研、7福島県、8弘前大学農学生命科学部

園芸学会アスパラガス研究小集会(平成25年度秋季大会:2013.9.19開催・岩手県岩手大学上田キャンパス)

○山口貴之 岩手県の生産および改植の事情に関して
○山口貴之 Asparagus production from autumn to winter in Japan: Current status and novel techniques of the 'Fusekomi forcing culture'
○Daniel. Z. K. Wambrauw1, T. Kashiwatani1, A. Komura1, H. hasegawa1, K. Narita1, K. Honda1, T. Maeda1 and T. Yamaguchi2 Effect of supplemental light on the quality of green asparagus cultivated by winter forcing culture 1弘前大学農学生命科学部、2岩手農研セ

園芸学会(平成26年度春季大会:2014.3.29~30開催・筑波大学筑波キャンパス 園芸学研究. 13(別1): 2014.3月発行)

○北條伶子1・樋口洋子1・飯塚明範1・青木理佐2・藤尾拓也3・甲村浩之2・松永邦則4・加藤正一5・山初仁志5・寺崎亮6・北澤裕明7・池浦博美1・元木悟1 アーチ放任仕立て栽培(通称:ソバージュ栽培)が露地夏秋どりミニトマトの収量および品質に及ぼす影響 園芸学研究第13巻(別冊1): P081. 1 明治大農学部, 2県立広島大生命環境学部, 3岩手農研, 4バイオニアエコサイエンス(株), 5秋田県横手市実験農場, 6明治大院農学研究科, 7農研機構食総研
○樋口洋子1・北條伶子1・垣尾尚史2・寺崎亮3・藤尾拓也4・北澤裕明5・池浦博美1・元木悟1 小型卓上試験機を用いたトマトのへた離れ性および果柄の離脱性の評価 園芸学研究第13巻(別冊1): P194. 1明治大農学部, 2(株)島津製作所, 3明治大院農学研究科, 4岩手農研, 5 農研機構食総研
○山口貴之1、前田智雄2 高温処理が晩秋期のアスパラガスの萌芽に及ぼす影響の品種間差 園芸学研究第13巻(別冊1): P174. 1岩手農研セ, 2弘前大学農学生命科学部
○柏谷太亮1、Wambrauw Daniel1、前田智雄1、本多和茂1、地子立2、山口貴之3 遮光フィルムの用いたホワイトアスパラガス伏せ込み栽培におけるストレス処理が品質および収量に及ぼす影響 園芸学研究第13巻(別冊1): P357. 1弘前大学農学生命科学部、2上川農試、3岩手農研セ
○清水佑1、飯塚明範1、松永邦則2、浦上敦子3、山口貴之4、寺崎亮1、元木悟1 新規改良ホーラーがアスパラガス定植時の作業性に及ぼす影響 園芸学研究第13巻(別冊1): P358. 1明治大農学部, 2バイオニアエコサイエンス(株)、3農研機構野菜茶研、4岩手農研セ
○横田啓・田代勇樹*1・武田純子(2014) 岩手県の春まきタマネギ栽培における育苗法の違いが生育及び収量に及ぼす影響 園芸学研究第13巻(別冊1): . *1 岩手県庁

園芸学会アスパラガス研究小集会(平成26年度春季大会:2014.3.28開催・筑波大学筑波キャンパス)

○山口貴之 第13回国際アスパラガスシンポジウムIAS2013報告

電気学会(平成25年基礎・材料・共通部門大会:2013.9.12~13開催・横浜国立大学 電気学会論文誌A.133:2013.9月発行)

○高畑純一郎1, 渡邊翔太2, 高木浩一1, 颯田尚哉3, 山田修4, 佐々木裕二4, 藤尾拓也4 水中気泡内放電を用いたコマツナの生育促進 電気学会論文誌A(133-4): 211-216. 1岩手大学工学部, 2シンド電気, 3岩手大学農学部, 4岩手農研

産学連携学会(第11回大会:2013.6.20~21開催)

佐々木裕二、山田修、藤尾拓也 閉鎖型高設栽培システムと小型バイオマス加温機の開発による復興イチゴに支援
--

土壌肥料学会(2013年度日本土壌肥料学会東北支部会福島大会:2013.7. ~7. 開催・福島県 スパム)

○佐藤喬・大友英嗣*・日影勝幸** 津波被災水田を想定した塩類濃度(EC指標)が異なる土壌での水稲生育反応(ポット試験) *一関農業改良普及センター、**岩手県農業大学校

日本土壌微生物学会2013年度大会 (2013.6.19～21開催・東京農工大学)

○岩館 康哉(2013)
カルシウム資材処理によるキュウリホモプシス根腐病の発病抑制効果
土と微生物 66(2):80. 講要

第22回日本ダニ学会静岡大会 (2013.9.27～29開催・静岡県静岡市)

○羽田 厚(2013)
岩手県内のリンゴ園地に生息するカブリダニ類

日本植物病理学会東北部会 (2013.10.28～29開催・秋田県秋田市)

○岩館 康哉(2013)
転炉スラグを用いた土壌pH改良によるホウレンソウ萎凋病の被害軽減効果
日本植物病理学会報 80(1):68. 講要

北日本病害虫研究発表会 (2014.2.20～21開催・福島市 北日本病害虫研究会報. 65: 印刷中)

○多田 典穂 (2014)
施設ピーマンにおけるリモニカスカブリダニのアザミウマ類防除効果

○富永 朋之 (2014)
リンゴ腐らん病の果台感染に対する薬剤防除の検討

○羽田 厚・大友令史 (2014)
ヒメボクトウ幼虫に対するフルベンジアミド水和剤の食入阻止効果

○岩館 康哉 (2014)
ホウレンソウ白斑病の病原性と防除薬剤について

○森本晶*1・岩間俊太*2・岩館康哉・宍戸邦明*3(2014)
転炉スラグの施用による土壌pH矯正が土壌微生物相に及ぼす影響
*1 北農研、*2 青森産技セ農林総研、*3 福島農総セ

○菅 広和 (2014)
水稲品種「ひとめぼれ」における穂もち防除の収量・品質に対する影響

○大友 令史・東海林 豊*1 (2014)
ワラビにおけるコマツキモドキ類の発生
*1岩手中央農改西和賀サブセンター

○横田 啓・武田純子 (2014)
春まきタマネギのネギアザミウマに対する数種薬剤の防除効果

日本応用動物昆虫学会 (2014.3.26～28開催・高知大学 講演要旨)

○羽田 厚 (2013)
岩手県内のリンゴ園地で採取したナミハダニ個体群の薬剤感受性の変化
第58回日本応用動物昆虫学会大会 平成26年度日本農学会大会分会講演要旨集:56.

○横田 啓(2014)
暑い夏は斑点米被害が増える? - 温度条件の違いがアカスジカスミカメによる斑点米被害に及ぼす影響 -
第58回日本応用動物昆虫学会大会 講演要旨集:p27

日本草地学会 (2014.3.31～4.2開催・宮崎県宮崎市)

伊藤孝浩・○尾張利行・佐藤まり子・山形広輔・多田和幸*1・魚住順*2
ライムギと飼料用トモロコシ二毛作体系における不耕起栽培トモロコシの播種適期と適正窒素施用量
日本草地学会誌第60巻別号:
*1 岩手県奥州普及セ・*2 農研機構東北農研

○増田隆晴・佐々木正俊・熊谷光洋
大規模草地におけるトラクタGPSを活用した牧草反転作業精度の向上
日本草地学会誌第60巻別号:

○増田隆晴・佐々木正俊・熊谷光洋
大規模草地におけるトラクタGPSを活用した肥料散布精度の向上
日本草地学会誌第60巻別号:

○佐藤まり子・尾張利行・山形広輔・藤原哲雄
土壌中前植生塊とカリ追肥が牧草放射性セシウム濃度に与える影響
日本草地学会誌第60巻別号:

日本雑草学会 (2014.3.28～30開催・東京都小金井市・法政大学 講演要旨)

○藤沢 巧(2014)
ゴウシュウアリタソウに対する数種土壌くん蒸剤の防除効果

5 雑誌等掲載

(1) 専門雑誌等

『農業技術体系 畜産編』 追録32号

熊谷 光洋 岩手県での日本短角種改良の取組み (社)農山漁村文化協会 農業技術体系 第3巻 肉牛 基本技術編:技 420の2-11

最新 農業技術 畜産 Vol.6

西田 清 黒毛和種の代表系統 岩手県 (社)農山漁村文化協会:121-125
熊谷 光洋 岩手県での日本短角種改良の取組み (社)農山漁村文化協会:189-198
鈴木 強史 飼料用トウモロコシを用いた肥育技術 (社)農山漁村文化協会:199-203

(2) 月刊農業普及(平成25年4月号～平成26年3月号)

4月号	田口 礼人 伊藤 孝浩	季節の農作業(ぶどう) 農業研究センター試験研究レポート「飼料用トウモロコシの不耕起栽培における二毛作前作ライ麦の最適刈取時期」
5月号	鈴木 強史	農業研究センター試験研究レポート「とうもろこしサイレージ(CS)と大豆ホールクロップサイレージ(WCS)のみで飼料自給率100%の日本短角種肥育技術」
6月号	川守田 真紀 田口 礼人 田口 礼人 佐藤 喬 鈴木 強史 横田 啓	農業研究センターで開発された新技術(りんご新規鮮度保持剤「1-MCP」の利用上の留意点 農業研究センターで開発された新技術(短梢剪定に適するぶどう白色大粒品種「シャインマスカット」) 季節の農作業(ぶどう) 農業研究センター試験研究レポート「石灰資材の施用による土壌pH改良で大豆の増収が図れます」 農業研究センターで開発された新技術 らぼ・れたあ「冬越し回避で8月にたまねぎ収穫～春まきたまねぎの定植を行いました～」
7月号	田口 礼人 桐山 直盛	季節の農作業(ぶどう) らぼ・れたあ「県産農産物の安全・安心な生産に向けて～放射性物質に係る調査検討チームの取組」
8月号	佐藤 喬 仲條真介	らぼ・れたあ「未利用有機質資源の高度利用化を図る～高窒素鶏ふんペレット肥料の開発とその利用」 農業研究センター・試験研究レポート「黄金色の糶(もち)アワ新品種「アワ岩手糶3号」
9月号	寺田 道一 田口 礼人 漆原 昌二	らぼれたあ「岩手スタイル 鉄コーティング湛水直播栽培技術の確立に向けて」 季節の農作業(ぶどう) 農業研究センター試験研究レポート「露地ピーマンの増収を図るかん水とリン酸肥料の減肥」
10月号	田口 礼人 田口 礼人 大里達郎	農業研究センター試験研究レポート「ぶどう白色大粒品種「シャインマスカット」は短梢剪定に適する」 季節の農作業(ぶどう)) らぼ・れたあ「「さば味噌おにぎり」が大好評！さば寿司プロジェクトが新メニュー考案」
11月号	齋藤 浩和 武田 純子	らぼ・れたあ「国産大豆で乳牛用飼料の安定供給を大豆ホールクロップサイレージの自給飼料実用化」 農業研究センター・試験研究レポート「ほうれんそう産地における土壌中の硫酸イオンの蓄積状態とその要因」
12月号	佐々木 正俊	らぼ・れたあ「試験現場から現場での普及を念頭に黒毛和種繁殖牛冬期屋外飼養実践農家との情報交換」
1月号	高橋 昭喜 浅川 知則 今野 一之	農業研究センター試験研究レポート「Simple is best! 新しい作溝装置の装着で湛水直播機をより高精度に」 季節の農作業(りんご) らぼ・れたあ「現在の人気ナンバー1を凌ぐ能力！本県の基幹種雄牛として新たに3頭がデビュー」
2月号	浅川 知則 増田 隆晴	季節の農作業(りんご) 農業研究センター試験研究レポート「トラクタGPSによる広大草地での精度の高い牧草反転作業の実現」

(3) 岩手の畜産(平成25年5月号～平成26年3月号)

5月号	伊藤 孝浩	ライ麦と飼料用トウモロコシ二毛作におけるトウモロコシ播種適期および適窒素施肥量
7月号	山形 広輔	飼料用トウモロコシ栽培における効果的な堆肥施用
9月号	増田 隆晴	トラクタ搭載型GPSを活用した大規模草地の牧草反転作業精度の向上
11月号	佐々木 正俊	作溝式播種機を用いた初冬期の傾斜放牧地の更新
1月号	今野 一之	現在の人気ナンバー1を凌ぐ産肉能力！～本県の基幹種雄牛として新たに3頭がデビュー～
3月号	佐々木 康仁	お米育ちの豚肉は美味しい

(4) 岩手りんごタイムス(平成25年4月号～平成26年3月号)

4月号	田口 礼人 浅川 知則	凍霜害対策について マメコバチの利用方法
5月号	羽田 厚 富永 朋之	交信攪乱剤使用の留意点 斑点落葉病と褐斑病の防除について
6月号	川守田 真紀 富永 朋之	樹相診断について 輪紋病と炭そ病の発生生態と防除について
7月号	及川 耳呂 羽田 厚 富永 朋之	夏期管理について 枝幹害虫の防除について 効率的なすす病対策について
8月号	川守田 真紀	早生品種の管理について
9月号	及川 耳呂 佐藤 喬	紅いわてについて りんごの施肥について
10月号	浅川 知則	大玉で果汁が多い「岩手5号」
11月号	佐藤 喬	リンゴ園の土壌診断
12月号	田口 礼人	改植の進め方について
1月号	及川 耳呂 富永 朋之 羽田 厚	せん定について 平成26年りんご病害虫防除指針の主な改正点 平成26年りんご病害虫防除指針の主な改正点

(5) その他の雑誌等

現代農業

高橋昭喜 ディスク式中耕培土機で小ウネ立てもできる 2013年8月号
及川耳呂 りんご「ふじ」わい性台樹の簡単樹相診断 2013年9月号

農業食料工学会東北支部報

高橋昭喜 岩手県農業研究センターにおける最近10年の作業技術研究 農業食料工学会東北支部法第60号(2013):9

果実日本

及川 耳呂 果樹園管理のポイント(りんご) 2014, 1月号～3月号

農業および園芸

*1前田智雄、*2元木 悟、*3井上勝広、*4園田高広、*5松永邦則、*5三浦信一、*6甲村浩之、*7地子 立、*8荒木 肇、*9山口貴之 世界のアスパラガス生産の現状と展望[16] 国内におけるホワイトアスパラガスおよびムラサキアスパラガスなどの流通事情と先進地オランダから学ぶホワイトアスパラガス生産の展開 農業および園芸、養賢堂、88(4) (2013) *1弘前大学農学生命科学部、*2明治大学農学部、*3長崎県農林技術センター、*4酪農学園大学農食環境学群、*5バイオニアエコサイエンス、*6県立広島大学、*7上川農業試験場、*8北海道大学北方生物圏フィールド科学センター、*9岩手農研セ
--

農業および園芸

<p>山口貴之*1、元木 悟*2、小泉丈晴*3、松永邦則*4、渡辺慎一*5、前田智雄*6、浦上敦子*7、荒木 肇*8</p> <p>世界のアスパラガス生産の現状と展望〔17〕17. 日本特有の「伏せ込み促成栽培」における現状と今後の方向性</p> <p>農業および園芸、養賢堂、88(5):571-578 (2013)</p> <p>*1岩手農研セ、*2明治大学農学部、*3群馬県農林技術センター、*4パイオニアエコサイエンス、*5農研機構九州沖縄農研セ、*6弘前大学農学生命科学部、*7農研機構野菜茶研、*8北海道大学北方生物圏フィールド科学センター</p>
<p>元木 悟*1、井上勝広*2、前田智雄*3、松永邦則*4、渡辺慎一*5、植野玲一郎*6、山口貴之*7、浦上敦子*8</p> <p>世界のアスパラガス生産の現状と展望(18) 国内および海外のアスパラガス産地における株の「力」を引き出す「かん水」と「土づくり」</p> <p>農業および園芸、養賢堂、88(6):678-689 (2013)</p> <p>*1明治大学農学部、*2長き研農林技術センター、*3弘前大学農学生命科学部、*4パイオニアエコサイエンス、*5農研機構九州沖縄農研セ、*6北海道野菜花きセ、*7岩手農研セ、*8農研機構野菜茶研</p>
<p>元木悟*1、前田智雄*2、甲村浩之*3、山口貴之*4、浦上敦子*5、井上勝広*6、佐藤達雄*7、尾崎行生*8、園田高広*9、北澤裕明*10、皆川祐一*11</p> <p>世界のアスパラガス生産の現状と展望〔22〕(終)22. 世界と日本におけるアスパラガス生産の現状と課題、今後の方向性</p> <p>農業および園芸、養賢堂、88(10):678-689(2013)</p> <p>*1明治大学農学部、*2弘前大学農学生命科学部、*3県立広島大学、*4岩手農研セ、*5農研機構野菜茶研、*6長崎県農林技術セ、*7茨城大学農学部、*8九州大学農学部、*9酪農学園大学農食環境学群、*10農研機構食総研、*11美幌町</p>
<p>元木悟*1、尾崎行生*2、二階堂華那*3、甲村浩之*4、松永邦則*5、山口貴之*6、園田高広*7、前田智雄*8、鈴木卓*3、菅野明*9、井上勝広*10、荒木肇*11</p> <p>世界のアスパラガス生産の現状と展望〔追加その1〕. 世界最大のアスパラガス生産国、中国の最新事情ー第13回アスパラガスシンポジウムの現地視察からー</p> <p>農業および園芸、養賢堂、89(3):383-398(2014)</p> <p>*明治大学農学部、*2九州大学大学院農学研究院、*3北海道大学農学部、*4県立広島大学、*5パイオニアエコサイエンス(株)、*6岩手農研セ、*7酪農学園大学農食環境学群、*8弘前大学農学生命科学部、*9東北大学大学院生命科学研究所、*10長崎県農林技術セ、*11北海道大学北方生物圏フィールド科学センター</p>

開拓情報

<p>漆原昌二</p> <p>露地ピーマン 点滴かん水で収量アップ・リン酸減肥で肥料コストが低減</p> <p>開拓情報、公益社団法人全国開発振興協会、第666号 10月15日号 5面</p>
--

グリーンレポート

<p>山口貴之</p> <p>アスパラガスを11月に生産できる伏せ込み促成栽培</p> <p>グリーンレポート No.535 2014年1月号:8-9(2014)</p>
<p>田代 勇樹*1(2013)</p> <p>硫酸カルシウム資材の施用で寒玉系キャベツの心腐れ症を軽減</p> <p>グリーンレポートNo.529、10-11 (2013)</p> <p>*1 現 農林水産部農業普及技術課</p>

農業日誌

<p>佐々木康仁</p> <p>食料自給率の向上に貢献する豚肉生産 「豚にお米」これには値打ちあり</p>

6 新聞等掲載

部所名	記事見出し(●は投込記事)	掲載紙	掲載年月日
共通	復興加速へ新チーム 県農研センター 沿岸部農業を再生へ 技術、経営両面から支援	岩手日日新聞	25.7.24
	県農研センター 実証研究へ産学官連携 今年度業務方針の重点に	岩手日日新聞	25.8.13
プロジェクト推進室	●水稲直播 陸前高田で実験 県農研センター農家の復興支援	岩手日報	25.5.10
	●「直播」で効率アップ 稲の種もみ直にまく 陸前高田で初の実証試験 広田町	東海新報	25.5.10
	ソバを「小畦立て播種」 2割増収確認 湿害軽減対策普及へ 岩手農研	日本農業新聞	25.9.27
	麦・大豆畦立て播種 ディスク式中耕除草機改良 岩手県農研	日本農業新聞	25.10.8
	農業復興へ多彩な成果 農研機構が報告会 復旧水田、堆積分別土の調査も 陸前高田で	東海新報	H26.2.5
	地域特性生かし農業再生 農研機構 実証研究成果を公表 陸前高田	岩手日日新聞	26.2.6
企画管理部			
研究企画室			
	●一日子供農業研究員を募集 県農研センター小学5年生対象	岩手日日新聞	25.7.12
	●気分は「科学者」 県農研センター一日子供研究員 虫に理解深める	岩手日日新聞	25.8.2
	●子供研究員、農業学ぶ 北上	岩手日報	25.8.2
	●害虫の被害学ぶ 農業研究体験 北上で小5児童	毎日新聞	25.8.3
	●生産者自慢の140点展示 県農研センター・フラワーコン 30、31日に一般公開	岩手日日新聞	25.8.28
	●先端科学に触れよう 県の研究機関 あすから施設公開	岩手日日新聞	25.8.29
	●斎藤さん(八幡平市)が最優秀賞 県農研センター・フラワーコンテスト きょうから一般公開 43点が入賞	岩手日日新聞	25.8.30
	●農業、科学の成果展示 きょうまで一般公開 イネ展示やリンゴ釣り 北上・県試験研究機関	岩手日日新聞	25.8.31
	●きょう犬猫譲渡会 県農研センター	岩手日日新聞	25.8.31
	●農業研究の成果発表 北上 2施設で「参観デー」	岩手日報	25.8.31
総務課			
	●水田教室 心に潤い 泥んこ楽しみ元気に田植え 北上・暁の星幼稚園	岩手日報	25.6.6
	●歓声上げながら丁寧に 県農研センター 幼稚園児招き田植え	岩手日日新聞	25.6.6
	県農業研究センターが交通安全誓約書	岩手日報	25.9.21
	ビオトープ調整池 植生分布 管理法学ぶ 県農研センター職員が研修	岩手日日新聞	26.2.22
農業科学博物館			
	●稲わら加工製品紹介 農業科学博物館 7日から企画展	岩手日日新聞	25.4.3
	●道具や製品70点展示 県立農業科学博物館 暮らしと稲わら加工テーマに	岩手日日新聞	25.6.18
	●そば作りを体験 種まきから加工まで 農業科学博物館 来月から4回 受講者を募集	岩手日日新聞	25.6.23
	●粒食、粉食テーマに きょうから道具類展示 農業科学博物館	岩手日日新聞	25.7.7
	●親子で種からそば作り体験 農業科学博物館 28日に学習会	岩手日日新聞	25.7.21
	●ソバの種まき親子で体験 農業科学博物館 学習会が開講	岩手日日新聞	25.7.29
	●31日、ソバ栽培 親子体験学習会 農業科学博物館	岩手日日新聞	25.8.28
	●粒食、粉食に使われた道具 農業科学博物館「企画展」 先人の知恵学ぼう	岩手日日新聞	25.9.19
	●来月、親子でソバ学習会 農業科学博物館	岩手日日新聞	25.9.26
	●農業科学博物館 病害虫防除テーマに 6日から企画展 歴代の器具類紹介	岩手日日新聞	25.10.4
	●収穫、製粉を体験 農業科学博物館 親子でソバ栽培を学ぶ	岩手日日新聞	25.10.25
	●17日に親子そば打ち体験 農業科学博物館	岩手日日新聞	25.11.10
	●親子一緒にそば打ち 県立農業科学博物館 体験学習会が終了	岩手日日新聞	25.11.21
	県立農業科学博物館 開館15年、入館10万人突破 食の大切さ、役割伝える4500点	岩手日日新聞	25.11.26
	●農業科学博物館企画展 明治以降のby等害虫防除技術など紹介	岩手日日新聞	25.12.15
	●親子が協力し完成 農業科学博物館 正月飾り作り	岩手日日新聞	25.12.23

部所名	記事見出し(●は投込記事)	掲載紙	掲載年月日
技術部			
作物研究室			
	水稲育苗後半は温度や水に注意 岩手・JA江刺	日本農業新聞	25.4.23
	JAいわて花巻 水稲種子生産者が法人化 「胡四王みらい」設立	日本農業新聞	26.2.25
果樹研究室			
	リンゴ摘果楽々 3枚刃ばさみ開発 生研センターなど 一度に複数切断	日本農業新聞	25.4.19
	リンゴ用摘果ばさみ 3枚刃構造で開閉回数30%減 生研センターなどが開発	農業共済新聞	25.4.24
	●ブドウ新品种「シャインマスカット」省力栽培を実証 県農研センター キャンベルの技術流用 新たな主力目指す	岩手日報	25.9.17
	「紅いわて」が収穫期 食味が良く農家好感触 県オリジナル品種 栽培拡大へ期待	岩手日日新聞	25.9.25
	●収量、品質に影響なし 県農研センター シャインマスカット普及へ 短梢剪定で栽培実証	岩手日日新聞	25.10.1
	リンゴ「紅いわて」快調 県独自品種きょう初競り 省力化、増収に期待	岩手日日新聞	25.10.4
	「紅いわて」1箱2万円 初競り	読売新聞	25.10.8
	色づき 硬さ良く いわて純情りんごコンテスト なかて種58点出品	岩手日日新聞	25.10.25
	13年農林水産研究成果10大トピックス 1位 3枚刃リンゴ摘果ばさみ	日本農業新聞	25.12.17
野菜花き研究室			
	●農業で復興後押し 新規参入も視野に 気仙で実証実験	東海新報	25.6.23
	アスパラ伏せ込み 11月収穫技術開発 岩手県農研 根株掘り取り低温処理	日本農業新聞	25.8.21
	●生産者自慢の140点展示 県農研センター・フラワーコン 30、31日に一般公開(再掲)	岩手日日新聞	25.8.28
	●斎藤さん(八幡平市)が最優秀賞 県農研センター・フラワーコンテスト きょうから一般公開 43点が入賞(再掲)	岩手日日新聞	25.8.30
南部園芸研究室			
	●木骨ハウス、農家に力 県農業研究センター 被災2市で説明会	岩手日報	25.6.7
	●沿岸園芸復興へ一歩 陸前高田 南部研究室が再開 市、隣接地に拠点整備へ	岩手日報	26.1.11
	●地域に根差し復興推進 県農研センター南部園芸研究室を再建 陸前高田	岩手日日新聞	26.1.11
	●陸前高田 園芸研究室が再開 農業再生に希望膨らむ	毎日新聞	26.1.11
	●県園芸研究拠点が再建 陸前高田 育苗施設など整備	読売新聞	26.1.11
	●農業復興の技術発信へ 米崎・南部園芸研究室「開所式」 陸前高田	東海新報	26.1.11
	●現地展開の成果確認 沿岸地域農業復興セミナー	東海新報	26.3.13
	沿岸地域の拠点へ震災越え再出発 岩手県農業研究センター 南部園芸研究室	農業共済新聞	26.3.19

部所名	記事見出し(●は投込記事)	掲載紙	掲載年月日
環境部			
	病理昆虫研究室		
	●キュウリ黒星病 薬剤予防呼び掛け 岩手県農研 抵抗性品種見つからず	日本農業新聞	25.4.10
	キュウリホモブシ根腐病 土壌改良で被害軽減 転炉スラグで散布しpH7.5に 岩手農研センター	日本農業新聞	25.4.11
	●ダニでピーマン害虫駆除 県農業研究センター成果公表 適切管理で効果持続 労力軽減と品質向上に	岩手日報	25.5.23
	●転炉スラグでキュウリ病害防止 岩館さん(県農業研究センター)博士号 土壌改良剤 製造はミネックス	岩手日報	25.6.13
	●ウコンノメイガ防除基準解明 発生拡大する大豆の害虫 県農業研究センター 26~31日、要否判定時期	岩手日報	25.7.20
	●県農研センター アカスジ防除策開発 薬剤と草刈り合わせ	岩手日報	25.7.25
	●大豆害虫防除へ基準策定 ウコンノメイガ 農家の判断目安に 県農研センター安定生産の効果期待	岩手日日新聞	25.7.29
	岩手県農業研究センター 夏秋どりハウスピーマン 光反射ネットと天敵など併用 難防除害虫を抑制 通気性がよく増収効果も	農業共済新聞	26.2.12
畜産研究所			
	家畜飼養・飼料研究室		
	●収量向上へ技術開発 堆肥施用や除草剤で工夫 県畜産研究所 飼料用トウモロコシ	盛岡タイムス	25.5.17
	種山畜産研究室		
	●県産種牛に有望株 3頭品質の高さで確認 県農家助成で活用促す	岩手日報	25.11.3
	●県有種雄牛 新たに3頭 子牛生産 選択肢拡大に期待	岩手日日新聞	25.12.25
	東北期待の種雄牛図鑑① 脂肪交雑は歴代最高 花安勝 岩手	日本農業新聞	26.1.7
県北農業研究所			
	作物研究室		
	誕生 冷凍さばずし 久慈市漁協 花巻で販売開始 三陸産と県産米共演 大学生も協力「復興の後押し」	岩手日報	26.2.19

7 テレビ・ラジオ放送

(1) テレビ

部所名	出演者	内 容	放送局名	放送年月日	投込み有無
環境部 病理昆虫研究室	岩館 康哉	施設ピーマンにおけるスワルスキーカブリダニの定着促進	NHK盛岡	25.5.2	有
プロジェクト推進室		沿岸農業復興 陸前高田 水稲直直播	IBC岩手放送テレビ 岩手朝日放送	25.5.9 25.5.9	有
企画管理部 総務課		棚田で田植え	IBC岩手放送テレビ テレビ岩手 北上ケーブルテレビ	25.6.5 25.6.5 25.6.5	有
技術部 果樹研究室		食料生産地域再生のための先端技術展開事業 ブランド化を促進する果実の生産・加工技術の実証研究 現地検討会	岩手朝日放送	25.6.12	有
技術部 南部園芸研究室		南部園芸研究室復興開所式	NHK盛岡 IBC岩手放送テレビ テレビ岩手 めんこいテレビ 岩手朝日放送	26.1.10	有
技術部 南部園芸研究室	山田修 他	南部園芸研究室の再開	IBC岩手放送テレビ	26.1.20	無

(2) ラジオ

部所名	出演者氏名	内 容	放送局名	放送年月日	投込み有無
プロジェクト推進室		沿岸農業復興 陸前高田 水稲直直播	IBCラジオ	25.5.9	有
企画管理部 総務課		棚田で田植え	IBCラジオ	25.6.5	有

8 指導資料等掲載

部所・研究室名	執筆者氏名	タイトル	掲載資料名	発行年月
プロジェクト推進室	高橋 昭喜	高精度直播機に装着する新型作興装置の装着マニュアル	岩手県農業研究センターホームページ資料室	25.5
	高橋 昭喜	稲作指導資料 (収穫・乾燥・調製)	平成26年度稲作指導指針	26.3
	寺田 道一	稲作指導資料 (湛水直播栽培技術(主に表面播種)導入の手引き)	平成26年度稲作指導指針	26.3
	臼井 智彦	稲作指導資料 (環境保全型農業に関する技術、機械除草)	平成26年度稲作指導指針	26.3
	高橋 昭喜 藤田 智美	ディスク畑用除草機をベースとしたディスク式畦立て播種機の組み立てマニュアル	岩手県農業研究センターホームページ資料室	26.3
	藤田 智美 高橋 昭喜	改良型ディスク式除草機の組み立てマニュアル	岩手県農業研究センターホームページ資料室	26.3
企画管理部 農業経営研究室	村上和史	農業ビジネス戦略計画の策定	農業ビジネス戦略計画の策定	25.10
技術部				
果樹研究室	浅川知則	果樹雑草防除及び果樹用成長調整剤使用指針	平成26年度岩手県農作物病虫害・雑草防除指針	26.3
作物研究室	高橋 智宏	雑草防除(水稲)	平成26年度岩手県農作物病虫害・雑草防除指針	26.3
	伊藤 信二 小原 公則	雑草防除(畑作物)	平成25年度岩手県農作物病虫害・雑草防除指針	26.3
野菜花き研究室	漆原 昌二	“減肥を目指した”露地栽培への点滴かん水導入の手引き	「気候変動に対応した循環型食料生産のためのプロジェクトB2系」研究成果マニュアル	26.2
	山口 貴之	防除指導資料 (野菜雑草防除及び野菜成長調整剤)	平成25年度岩手県農作物病虫害・雑草防除指針	26.3
	赤坂志保	防除指導資料 (花き雑草防除及び花き成長調整剤)	平成26年度岩手県農作物病虫害・雑草防除指針	26.3
	藤原 一道	品目別栽培技術指針 りんどう(切花)	平成26年度 花き栽培技術指針	26.3
	中里 崇	品目別栽培技術指針 りんどう(鉢花)	平成26年度 花き栽培技術指針	26.3
環境部				
生産環境研究室	島 輝夫	土づくり及び化学肥料低減技術	平成26年度野菜栽培技術指針	26.3
	島 輝夫 高橋 彩子	土壌・施肥管理と生育栄養診断技術	平成26年度野菜栽培技術指針	26.3
病理昆虫研究室	多田 典穂	防除指導資料(野菜害虫)	平成25年度農作物病虫害・雑草防除指針	26.3
	富永 朋之	防除指導資料(果樹・花き病害)	平成25年度農作物病虫害・雑草防除指針	26.3
	羽田 厚	防除指導資料(果樹・花き害虫)	平成25年度農作物病虫害・雑草防除指針	26.3
	岩舘 康哉	防除指導資料(畑作・野菜病害、土壌病害)	平成25年度農作物病虫害・雑草防除指針	26.3

部所・研究室名	執筆者 氏名	タイトル	掲載資料名	発行年月
病理昆虫研究室	菅 広和	防除指導資料(水稲病害、資材消毒、展着剤の利用)	平成25年度農作物病害虫・雑草防除指針	26.3
	久保田 真衣	防除指導資料(水稲・畑作害虫、土壌害虫、鳥獣害防除)	平成25年度農作物病害虫・雑草防除指針	26.3
	菅 広和	水稲病害の発生生態と防除技術指導資料	平成26年度稲作指導指針	26.3
	久保田 真衣	水稲害虫の発生生態と防除技術指導資料	平成26年度稲作指導指針	26.3
	富永 朋之	花き病害の発生生態と防除技術指導資料	平成26年度 花き栽培技術指針	26.3
	岩館 康哉	花き病害の発生生態と防除技術指導資料	平成26年度 花き栽培技術指針	26.3
	岩館 康哉	小麦、大豆の採種ほ基本防除体系(病害防除)	平成26年度主要農作物採種ほ病害虫基本防除体系	26.3
	菅 広和	水稲の採種ほ基本防除体系(病害防除)	平成26年度主要農作物採種ほ病害虫基本防除体系	26.3
	久保田 真衣	水稲、小麦、大豆の採種ほ基本防除体系(虫害防除)	平成26年度主要農作物採種ほ病害虫基本防除体系	26.3
病虫害防除部 病虫害防除課	吉田 雅紀	農薬安全使用指針	平成26年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	26.3
畜産研究所				
家畜飼養・飼料研究室	尾張 利行	雑草防除(飼料作物)	平成26年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	26.3
家畜飼養・飼料研究室	尾張 利行 佐藤 まり子	牧草、飼料作物栽培技術指導資料	平成26年度牧草飼料作物生産利用指針	26.3
外山畜産研究室	増田 隆晴	トラクタ搭載型GPS作業システム、概要、作業事例および作業時の注意事項	トラクタ搭載型GPS利用マニュアル	26.3
県北農業研究所				
園芸研究室	鹿糠 美雪	県北地域での採花期と切り花品質	露地輪ぎく「芽なし菊栽培マニュアル」	26.3
作物研究室	大里 達朗	平成26年度稲作指導指針	同左	26.3

9 図書資料収集・提供

項目	冊数・人数
総蔵書数	70,752 冊
平成25年度収集図書数	777 冊
学会誌	33 冊
資料	157 冊
研究報告	140 冊
気象	7 冊
記録誌	0 冊
国関係刊行物	1 冊
雑誌(図書)	73 冊
社団法人	2 冊
財団法人	18 冊
図鑑	0 冊
総記	1 冊
単行本	69 冊
定期	2 冊
統計	17 冊
図書	64 冊
洋雑誌	5 冊
CD-ROM	18 冊
雑誌	170 冊
図書室利用者数(延べ)	194 名
同貸し出し冊数	401 冊

※数値はいずれもセンター本部のみ(2014/3/31現在)

10 ホームページ

項目	件数	内訳	
入力件数	研究レポート	62	平成25年度発行分
	試験研究成果	60	平成25年度試験研究成果書
	研究報告類	9	農業研究センター研究報告 第12号
	らぼ・れたあ	111	No. 1~111(研究トピックス)
	行事予定	5	参観デー、一日子ども農業研究員、親子そばづくり体験、他
	各種資料	47	平成24年度年報、研究成果マニュアル
	農業科学博物館	5	企画展第56~59回
	その他	20	英語版サイト、月別アクセス状況、組織紹介、沿革他
アクセス件数	トップページ	44,125	平成25年度分
	総ページビュー	4,474,522	平成25年度分

V 指導・啓発活動

V 指導・啓発活動

1 技術伝達研修等への対応

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
農業研究センター主催				
県北農業研究所 作物研究室	25.9.6	軽米町 (県北農業研究所)	雑穀研究者会議 (機能性研究に関するこれまでの技術紹介と情報交換)	20名
県北農業研究所 園芸研究室	25.9.6	軽米町 (県北農業研究所)	園芸ミニセミナー (春まきたまねぎの栽培法)	22名
県北農業研究所 作物研究室	25.12.26	軽米町 (県北農業研究所)	雑穀試培低コスト化研究会 (今年度の結果報告等)	40名
県北農業研究所 園芸研究室	25.7.31	軽米町 (県北農業研究所)	平成25年度二戸地域たまねぎ春植え新作型研修会	30名
【新技術・普及活動検討会】(中央農業改良普及センター主催)				
畜産研究所 家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室 種山畜産研究室	26.1.21	滝沢村 (畜産研究所)	平成25年度新技術・普及活動検討会(畜産)	30名
プロジェクト推進室 企画管理部 農業経営研究室 技術部 作物研究室 環境部 生産環境研究室 県北農業研究所 作物研究室	26.1.23	北上市 (農業研究センター)	平成25年度新技術・普及活動検討会(作物部門)	31名
技術部 野菜花き研究室 環境部 病理昆虫研究室 県北農業研究所 園芸研究室	26.1.23	北上市 (農業研究センター)	平成25年度新技術・普及活動検討会(花き)	24名
技術部 果樹研究室	26.1.23～24	北上市 (農業研究センター)	平成25年度新技術・普及活動検討会(果樹)	30名
企画管理部 農業経営研究室 技術部 野菜花き研究室 環境部 病理昆虫研究室 県北農業研究所 園芸研究室	26.1.27～28	北上市 (農業研究センター)	平成24年度新技術・普及活動検討会(野菜)	35名
企画管理部 農業経営研究室	26.1.27	北上市 (農業研究センター)	平成25年度新技術・普及活動検討会(経営)	15名
企画管理部 農業経営研究室	25.10.17 25.11.28 25.12.26 26.1.9 26.1.10	盛岡市	農業ビジネス戦略計画の策定(IAFS)	各回とも30名

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
【普及指導員専門技術研修】(中央農業改良普及センター主催)				
プロジェクト推進室	25.6.24	北上市 (農業研究センター)	普及指導専門技術研修Ⅰ(作物) 「水稲直播調査について」	2名
技術部				
果樹研究室	26.2.25～27	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(りんご)	3名
	25.6.27、7.12 26.3.5～6	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(ぶどう)	1名
	25.6.10 26.2.19	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(核果類)	2名
	26.3.11	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(核果類)	1名
作物研究室	25.6.25～26	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅰ)	2名
	25.8.20	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅱ)	2名
	25.10.10～11	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅲ)	2名
	25.11.18	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅳ)	2名
	25.10.28	北上市 (農業研究センター)	普及指導員スペシャリスト養成研修(畑作)	1名
野菜花き研究室	25.5.28～31	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修Ⅰ(野菜)	4名
	25.7.2～4	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修Ⅱ(野菜)	4名
	25.9.24～27	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修Ⅳ(野菜)	4名
	25.7.25	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(野菜・なす)	1名
	25.6.18	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(野菜・アスパラガス)	1名
	25.11.14	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(野菜・アスパラガス)	1名
	25.5.29	八幡平市、西和賀町	スペシャリスト養成研修(花き)	7名
	25.12.9	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(花き病害虫)	11名
南部園芸研究室	25.9.26	北上市 (陸前高田市)	普及指導員専門技術基本研修(野菜第Ⅳ期)	3名
畜産研究所				
全研究室	25.7.22～26 25.9.24～30	滝沢村、盛岡市、住 田町 (畜産研究所)	普及指導員専門技術基本研修Ⅰ(畜産) 普及指導員専門技術基本研修Ⅱ(畜産)	1名
家畜飼養・飼料研究室	25.6.13	滝沢村 (畜産研究所)	スペシャリスト養成研修 ・牛群検定データ診断	9名
家畜飼養・飼料研究室	25.7.11	滝沢村 (畜産研究所)	スペシャリスト養成研修 ・乳牛飼料計算トレーニング	8名

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
家畜飼養・飼料研究室	25.10.10	滝沢村 (畜産研究所)	スペシャリスト養成研修 ・植生診断、土壌診断、不耕起栽培	7名
家畜育種研究室 種山畜産研究室	25.12.11	滝沢村 (畜産研究所)	スペシャリスト養成研修 ・牛の審査、尿石症対策、種雄牛選定	4名
県北農業研究所 園芸研究室	25.8.20～23	軽米町 県北農業研究所	普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅲ期)	4名

2 現地指導・研修会等への講師派遣

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
プロジェクト推進室				
白井智彦	平成25年度水稲直播栽培現地検討会 「直播栽培の出芽・苗立ち向上に向けて」	25.6.18	農産園芸課	矢巾町、雫石町、 JAいわて中央
高橋昭喜 藤田智美	平成25年度岩手県産麦現地検討会 「畦立て播種栽培技術による単収向上について」	25.6.21	岩手県農業再生協議会	JA花巻、農研セン ター、北上市、紫波 町
白井智彦	普及指導専門技術研修Ⅰ(作物) 「水稲直播調査について」	25.6.24	中央農業改良普及センター (領域G)	農研センター
白井智彦	水稲直播栽培先進事例調査 「水稲直播栽培について」	25.8.1	一関農林振興センター、一関 農業改良普及センター	農研センター、花巻 市
寺田道一	平成25年度東北農業試験研究推進会議作物推 進部会直播研究会並びに水稲直播等低コスト技 術現地検討会	25.8.23	東北農業研究センター、東北 地域土地利用型作物安定生 産推進協議会	ホテルルイズ
高橋昭喜 藤田智美	平成25年度岩手県産大豆現地検討会	25.9.11	岩手県農業再生協議会	NOSA岩手中央、 農研センター、盛岡 市、紫波町
高橋昭喜	平成25年度東北農業試験研究推進会議畑作物 推進部会東北ソバ研究会(東北ソバフォーラム)	25.9.18	東北農業研究センター	滝沢村
高橋昭喜	東北地域研究・普及連絡会議現地調査	25.10.22	東北農政局	陸前高田市
寺田道一	水稲鉄コーティング直播に関する研修	25.11.18	JA岩手ふるさとアレル省農薬 米生産者協議会	農研センター
寺田道一	担い手経営力アップセミナー 「岩手県における水稲直播栽培技術(鉄コーティ ング栽培)について」	25.11.19	JA全農いわて	JAいわて中央
寺田道一	水稲鉄コーティング直播に関する研修	25.12.16	宮守川上流生産組合	農研センター
白井智彦	岩手県産業用無人ヘリコプターオペレーター連絡 協議会安全運航研修会	26.1.31	岩手県産業用無人ヘリコプ ターオペレーター連絡協議会	千秋閣
高橋昭喜 白井智彦	先端技術展開事業「中小区画土地利用型営農技 術の実証研究」現地成果報告会	26.2.4	東北農業研究センター	農研センター
寺田道一	平成25年度水稲直播栽培実績検討会	26.2.6	中央農業改良普及センター	農研センター
寺田道一	稲作技術対策会議	26.2.13	農産園芸課	農研センター
寺田道一	平成25年度胆江地域水稲直播栽培実績検討会	26.3.4	奥州農業改良普及センター	奥州合庁江刺分庁
白井智彦	平成25年度 農業機械開発改良試験研究打合せ 会議「水稲生産の省力化・低コスト化技術の実証」	26.3.14	(独)生研センター	生研センター
高橋昭喜	大豆・麦生産拡大検討会 「大豆の効率的な機械除草技術の実証」	26.3.24	岩手県農業再生協議会長	エスポワールいわて
寺田道一	平成25年度いわて純情米稲作技術研修会	26.3.28	JA全農いわて	JA全農いわて純情 産地営農支援セン ター

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
企画管理部				
農業経営研究室				
小野寺 郁夫	第1回いわてリーディング経営体育成支援事業選 定委員会	25.6.24	農業振興課	盛岡市
小野寺 郁夫	園芸産地新生プロジェクト支援事業計画審査会	25.6.19	農産園芸課	盛岡市
小野寺 郁夫	園芸産地新生プロジェクト支援事業計画審査会	25.9.18	農産園芸課	盛岡市
小野寺 郁夫	第2回いわてリーディング経営体育成支援事業選 定委員会	26.1.22	農業振興課	盛岡市
小野寺 郁夫	土地改良事業営農推進対策委員会中央幹事会	26.2.5	農村計画課	盛岡市
小野寺 郁夫	特産農作物生産振興共進会(ホップ部門)審査委 員会	26.1.10	農産園芸課	盛岡市
小野寺 郁夫	岩手県野菜産地改革戦略会議	26.1.31	農産園芸課	盛岡市
小野寺 郁夫	特産農作物生産振興共進会(タバコ部門)審査委 員会	26.3.25	農産園芸課	盛岡市
村上 和史	農業農村整備事業地区担い手育成協議会	25.11.17	農村建設課	盛岡市
村上 和史	施設園芸経営規模拡大実践支援セミナー	25.11.21	農産園芸課	盛岡市
村上 和史	施設園芸経営規模拡大実践支援セミナー	25.12.16	農産園芸課	岩手町
村上 和史	農業農村整備事業地区担い手育成協議会	25.11.17	農村建設課	盛岡市
松浦 貞彦	園芸産地新生プロジェクト支援事業計画審査会	25.8.9	農産園芸課	盛岡市

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
技術部				
果樹研究室				
小原 繁 及川 耳呂 川守田 真紀 浅川 知則 田口 礼人	純情りんごコンテスト審査(1期)	25.10.24	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
小原 繁 及川 耳呂 川守田 真紀 浅川 知則 田口 礼人	純情りんごコンテスト審査(2期)	25.11.21~22	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
小原 繁 浅川 知則	JA江刺 りんご品評会(ジョナゴールド) " (ふじ)	25.10.25 25.11.29	岩手江刺農業協同組合	奥州市
小原 繁	岩手県果樹協会平成25年度冬期講習会 第21回通常総会	26.1.20	岩手県果樹協会	花巻市
浅川 知則	農業大学校 講師(作物増殖・果樹)	25.10.7	岩手県立農業大学校	金ヶ崎町
及川 耳呂	りんご早期多収栽培技術講習会	26.3.4	奥州農業改良普及センター	奥州市
作物研究室				
菅原 浩視	農産物検査員育成研修会	25.7.4	穀物検定協会岩手県支部	花巻市 (渡嘉商店会議室)
菅原 浩視	新潟県三条市農業委員会研修	25.7.4	新潟県三条市農業委員会	北上市 (農研センター)
扇 良明 菅原 浩視	JA栗っこ視察研修	25.7.11	宮城県JA栗っこ	北上市 (農研センター)
高橋 昭喜 菅原 浩視 伊藤 信二	二子米生産組合視察研修 (水稲直播、大豆品種・除草体系)	25.7.29	二子米生産組合	北上市 (農研センター)
菅原 浩視	広島県米穀協会視察研修 (水稲作柄、情報伝達手法)	25.9.3	広島県米穀協会	北上市 (農研センター)
菅原 浩視	平成26年度卒業研究計画発表会	25.3.10	岩手県立農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
高橋 智宏	平成25年度水稲種子オペレーター研修会	25.9.10	公益社団法人岩手県農産物 改良種苗センター	紫波町(志和種子 センター)
高橋 智宏	農業気象研究会	25.11.13~14	農業気象研究会	つくば市
尾形 茂	水沢水稲採種部会視察研修	25.8.27	水沢水稲採種部会	北上市 (農研センター)
尾形 茂	平成25年産水稲種子現物品検討会	25.10.15	公益社団法人岩手県農産物 改良種苗センター	北上市 (NOSAI岩手中部)
尾形 茂	平成25年度岩手県農業管理使用アドバイザー養成研修	26.1.16	岩手県	盛岡市 (アイーナ)
伊藤 信二	平成25年度岩手県産大豆現地検討会	25.9.11	農産園芸課	花巻市ほか
伊藤 信二	全農実需者大豆クローズドツアー	25.10.24	全農岩手県本部	北上市ほか
伊藤 信二	豆腐流通協議会定例会	25.11.13	豆腐流通協議会	盛岡市
伊藤 信二	大豆シェユリユ豆腐等試食・意見交換会	26.2.14	農産園芸課	盛岡市
小原 公則	喜多方市麦作組合研修	25.11.19	喜多方市麦作組合	北上市 (農研センター)

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
小原 公則 伊藤 信二 及川 一也	「銀河のちから」試食意見交換会	26.2.26	農産園芸課	盛岡市(工業技術センター)
川代 早奈恵	農業大学校(作物増殖)	25.8.26	岩手県立農業大学校	農業大学校
川代 早奈恵 太田 裕貴 小綿 寿志	全農との品種情報交換会	26.1.23	農産園芸課	盛岡市
野菜花き研究室				
本田 純悦	いわてフラワーコンテスト2013	25.8.29	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
藤尾 拓也	養液土耕システムによる施肥管理技術向上研修会	25.6.5	JAふるさと	奥州市
本田 純悦 漆原 昌二 内藤 善美	平成25年度岩手県農業農村指導士協会 野菜部会研修会	25.6.7	岩手県農業農村指導士協会	北上市 (農研センター)
漆原 昌二	平成25年度岩手県園芸産地改革戦略推進会議 技術対策部会 簡易点滴かん水装置研修会	25.4.22	農産園芸課	北上市 (農研センター)
漆原 昌二	奥中山野菜生産部会トマト専門部視察研修 露地における簡易かん水システムについて	25.7.22	JA新いわて	北上市 (農研センター)
漆原 昌二	平成25年度二戸地域点滴かん水施肥装置活用研 修会	25.11.26	二戸地方農林水産振興協議 会	二戸市
漆原 昌二 菊地 淑子	平成25年度遠野地域ピーマン生産班反省会 リン酸減肥実証と土壌診断に基づいた適正施肥	25.12.19	JAいわて花巻	遠野市
山口貴之	JA岩手ふるさとアスパラガス研修会	25.7.4	JA岩手ふるさと	金ヶ崎町
山口貴之	花北アスパラ塾	25.8.29	中央農業改良普及センター 地域普及グループ	北上市
山口貴之	奥中山アスパラガス研修会	25.9.11	JA新いわて	一戸町
山口貴之	花北アスパラ塾	25.12.13	中央農業改良普及センター 地域普及グループ	北上市
山口貴之	金ヶ崎町アスパラ研修会	25.12.16	JA岩手ふるさと	金ヶ崎町
山口貴之	奥中山アスパラガス研修会・アスパラガス部会	26.1.23	中央農業改良普及センター 軽米普及サブセンター	一戸町
山口貴之	金ヶ崎町伏せ込みアスパラ生産組合研修会	26.1.24	金ヶ崎町伏せ込みアスパラ生 産組合	北上市
山口貴之	JA岩手ふるさとアスパラガスフォーラム	26.1.28	JA岩手ふるさと	金ヶ崎町
山口貴之	JAいわて花巻アスパラガス研修会	26.3.6	JAいわて花巻	花巻市
山口貴之	農大卒業研究計画検討会	26.3.12	農業大学校	金ヶ崎町
藤原 一道	りんどう採種技術検討会	25.4.26 25.5.28 25.6.20 25.7.23	農産園芸課	奥州市、金ヶ崎町
本田 純悦	りんどう採種技術検討会	25.7.23	農産園芸課	奥州市、金ヶ崎町
藤原 一道	園芸育種研究会総会	25.6.7	農産園芸課	北上市 (農研センター)
本田 純悦	園芸育種研究会総会	25.6.7	農産園芸課	北上市 (農研センター)
星 伸枝	園芸育種研究会総会	25.6.7	農産園芸課	北上市 (農研センター)
中里 崇	花き高温対策技術検討会	25.6.19	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市 (農研センター)

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
中里 崇	園芸育種研究会りんどう部会「りんどう現地視察会」	25.6.25	農産園芸課	奥州市衣川区
中里 崇	平成25年度第2回鉢花りんどう圃場巡回	25.7.12	JAいわて花巻	花巻市、北上市
中里 崇	りんどう生産振興検討会	25.7.12	農産園芸課	西和賀町
中里 崇	園芸産地改革戦略推進会議りんどう技術対策部会	25.7.12	農産園芸課	西和賀町
中里 崇	りんどう有望系統検討会	25.8.5	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市 (農研センター)
藤原 一道	園芸育種研究会りんどう部会	25.9.12	農産園芸課	北上市 (農研センター)
中里 崇	園芸育種研究会りんどう部会	25.9.12	農産園芸課	北上市 (農研センター)
星 伸枝	園芸育種研究会りんどう部会	25.9.12	農産園芸課	北上市 (農研センター)
中里 崇	農業大学校(作物増殖・花き)	25.10.7	岩手県立農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
星 伸枝	りんどう研究会	25.10.17～18	AFR	八幡平市
藤原 一道	りんどう研究会	25.10.17～18	AFR	八幡平市
藤原 一道	岩手大学植物育種学実験	25.7.5	岩手大学農学部	北上市 (農研センター)
中里 崇	平成25年度鉢花りんどう実績検討会	25.11.1	JAいわて花巻	花巻市
中里 崇	花き経営者協議会女性研修交流会	25.11.26	全農岩手県本部	花巻市
中里 崇	岩手ふるさと農協園芸部会りんどう専門部実績検討会	25.11.29	JA岩手ふるさと	奥州市
中里 崇	花き産地拡大研修会	25.12.16	農産園芸課	盛岡市
中里 崇	新技術・普及活動検討会	25.1.23	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市 (農研センター)
中里 崇	園芸産地改革戦略推進会議りんどう技術対策部会	26.1.23	農産園芸課	北上市 (農研センター)
中里 崇	卒業研究計画発表会	26.3.12	岩手県立農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
中里 崇	平成25年度花巻農協鉢花部会通常総会	25.3.13	JAいわて花巻	花巻市
南部園芸研究室				
山田 修	「いわての復興を自治の進化に」第1回シンポジウム	26.2.6	農林水産部	岩手県水産会館
環境部				
多田 勝郎	いわてアグリフロンティアスクール	25.8.23	岩手大学	盛岡市 (岩手大学)
生産環境研究室				
佐藤 喬	水稲作における施肥コスト低減に向けた技術普及研究会「リン酸・カリの減肥指針と肥料成分の見直し」	25.10.30	(独)農研機構 中央農業総合研究センター	東京都
島 輝夫	岩手県土づくり研究会	26.2.5	全国農業協同組合連合会 岩手県本部	北上市 (農研センター)
佐藤 喬	岩手町キャベツ指導会	26.2.20	新岩手農業協同組合 県北園芸センター	岩手町
佐藤 喬 島 輝夫 高橋 彩子	INS第15回土づくり研究会	26.3.10	INS土づくり研究会	盛岡市

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
病理昆虫研究室				
多田勝郎	消費者交流会	25.7.6	(有)ピース	江刺区内圃場
多田典徳	平成25年度「岩手県園芸産地改革戦略推進会議 技術対策部会ねぎ安定生産技術研修会	25.5.21	推進会議会長(農産園芸課総 括課長)	JA全農いわて純情 産地営農支援セン ター
多田典徳	平成25年度「岩手県園芸産地改革戦略推進会議 技術対策部会天敵昆虫利用研修会(ピーマン・な す)	25.5.28	推進会議会長(農産園芸課総 括課長)	農研センター会議 室
多田典徳	平成25年度岩手県園芸産地改革戦略推進会議 技術対策部会・園芸産地改革ネットワーク合同第1 回ピーマン現地研修会	25.7.9	推進会議会長(農産園芸課総 括課長)	JAいわて花巻石鳥 谷東支店、現地実 証圃
多田典徳	平成25年度天敵昆虫利用技術視察研修会	25.9.3	一関農業改良普及センター	農研センター会議 室・圃場
多田典徳	平成25年度専門技術基本研修(野菜第IV期)	25.9.25	中央農業改良普及センター-地域	農研センター会議
多田典徳	農薬適正販売使用研修会	26.1.30	盛岡市八幡宮「参集殿」	岩手県農薬卸商業 協同組合
多田典徳	平成25年度新技術・普及活動検討会(野菜部門)	26.1.28	中央農業改良普及センター-地域 G	農研センター会議 室
多田典徳	農薬適正販売使用研修会	26.1.30	盛岡市八幡宮「参集殿」	岩手県農薬卸商業 協同組合
多田典徳	平成25年度天敵昆虫利用技術検討会	26.3.13	一関農業改良普及センター	川崎公民館
富永朋之	平成25年度普及指導員スペシャリスト養成研修 (果樹:病害虫I)	25.8.27	中央農業改良普及センター-地域 G	農研センター会議 室
富永朋之	平成26年度普及指導員スペシャリスト養成研修 (果樹:病害虫I)	25.8.28	中央農業改良普及センター-地域 G	農研センター会議 室
富永朋之	平成25年度花きスキルアップ講座(第4回)	25.12.4	一関農業改良普及センター	JA岩手南会議室
富永朋之	平成25年度植物防疫事業実績検討会(果樹部 会)	25.12.20	病害虫防除所、全農岩手県 本部	農研センター会議 室
羽田 厚	平成25年度 第2回りんご病害虫防除研修会	25.7.17	JA全農いわて	農研センター会議 室・圃場
羽田 厚	平成25年度青森県りんご病害虫マスター養成事 業視察研修	25.8.23	公益財団法人 青森県りんご 協会	農研センター会議 室
羽田 厚	平成25年度普及指導員スペシャリスト養成研修 (果樹:病害虫I)	25.8.27	中央農業改良普及センター-地域 G	農研センター会議 室
羽田 厚	平成25年度植物防疫関係者技術研修会	25.11.27	(社)岩手県植物防疫協会	ホテル志戸平
羽田 厚	平成25年度植物防疫事業実績検討会(果樹部 会)	25.12.20	病害虫防除所、全農岩手県 本部	農研センター会議 室
羽田 厚	平成26年度一関地方りんご病害虫防除歴編集会 議	26.1.8	一関地方農林業振興協議会	一関地区合同庁舎 会議室
羽田 厚	平成25年度新技術・普及活動検討会(果樹部門)	26.1.23	中央農業改良普及センター-地域 G	農研センター会議 室
岩館 康哉	キュウリホモプシス根腐病抑制対策実証にかか る緩衝能曲線作成研修	25.4.10	中央農業改良普及センター-地域 G	農研センター会議 室
岩館 康哉	平成25年度二戸地方キュウリホモプシス根腐病抑 制対策研修会	25.4.18	二戸農業改良普及センター	二戸地区合同庁舎
岩館 康哉	平成25年度「岩手県園芸産地改革戦略推進会議 技術対策部会ほうれんそう安定生産技術研修会	25.5.9	推進会議会長(農産園芸課総 括課長)	JA新いわて岩手中 央支所
岩館 康哉	平成25年度「岩手県園芸産地改革戦略推進会議 技術対策部会」第1回きゅうり現地研修会	25.7.11	推進会議会長(農産園芸課総 括課長)	全農いわて純情産 地営農支援セン ター、盛岡市現地 圃場
岩館 康哉	平成25年度「岩手県園芸産地改革戦略推進会議 技術対策部会」第2回きゅうり現地研修会	25.9.12	推進会議会長(農産園芸課総 括課長)	農研センター会議 室・圃場

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
岩館 康哉	平成25年度専門技術基本研修(野菜第IV期)	25.9.25	中央農業改良普及センター 県域G	農研センター会議室
岩館 康哉	日本植物病理学会東北部会公開シンポジウム講演	25.10.29	日本植物病理学会東北部会	秋田市「にぎわい交流館」
岩館 康哉	「キュウリホモブシス根腐病」対策研修会	25.11.6	中央農業改良普及センター 地域G	JAいわて花巻コミュニティホール
岩館 康哉	平成25年度植物防疫関係者技術研修会	25.11.27	(社)岩手県植物防疫協会	ホテル志戸平
岩館 康哉	平成25年度東北地域マッチングフォーラム「忍び寄る驚異から産地を守るーウリ科野菜ホモブシス根腐病の総合防除対策ー」	25.12.9	農林水産技術会議・東北農業研究センター	郡山市「ビッグパレットふくしま」
岩館 康哉	平成25年度「岩手県園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会ほうれんそう実績検討会	25.12.11	推進会議会長(農産園芸課総括課長)	JA新いわて岩手中央支所
岩館 康哉	農業管理使用アドバイザー研修	26.1.17	農業普及技術課	マリオス会議室
岩館 康哉	平成25年度新技術・普及活動検討会(野菜部門)	26.1.28	中央農業改良普及センター 県域G	農研センター会議室
岩館 康哉	畑作物共済(ホップ)事業推進会議並びにホップ栽培歴検討会	26.1.23-24	岩手県農業共済組合連合会 岩手県ホップ協会	ホテル愛真館
岩館 康哉	転戸スラグ実施講習会	26.2.21	宮城県大河原農業改良普及	JAみやぎ仙南蔵王
岩館 康哉	平成26年度秋田県ホップ栽培作業暦(病虫害防除暦)編成会議	26.3.4	秋田県ホップ組合連絡協議会	秋田市「ふきみ会館」
岩館 康哉	キュウリホモブシス根腐病総合対策研修会	26.3.5	中央農業改良普及センター 県域G	農研センター会議室
岩館 康哉	JAいわて花巻野菜生産部会湯本連絡会通常総会講演会	26.3.10	JAいわて花巻湯本支店、JAいわて花巻野菜部会湯本連絡会	ホテル紅葉館
菅 広和	農業管理使用アドバイザー研修	26.1.17	農業普及技術課	マリオス会議室
菅 広和	平成25年度水沢地域水稲生育展示圃実績検討会	26.1.22	岩手ふるさと農協	水沢サンパレスホテル会議室
菅 広和	畑作物共済(ホップ)事業推進会議並びにホップ栽培歴検討会	26.1.23-24	岩手県農業共済組合連合会 岩手県ホップ協会	ホテル愛真館
久保田真衣	消費者交流会	25.7.6	(有)ピース	江刺区内圃場
久保田真衣	農業管理使用アドバイザー研修	26.1.17	農業普及技術課	マリオス会議室

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
病害虫防除部 病害虫防除課				
大友 令史	新規就農者研修第2回集合研修	25.5.24	農業大学校	農業大学校
大友 令史	第1回りんご病害虫防除研修会	25.6.11	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
大友 令史	農薬適正販売使用研修会	25.6.24	全農岩手県本部	矢巾宮農センター
大友 令史	農薬工業会東北支部と全国農薬安全指導者合同 研修会	25.7.10	農薬工業会	盛岡市
大友 令史	第2回りんご病害虫防除研修会	25.7.17	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
大友 令史	普及指導員スペシャリスト養成研修	25.8.27	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市 (農研センター)
大友 令史	全国ホップ連合会研修会	25.11.26	全国ホップ連合会	仙台市
大友 令史	岩手県植物防疫関係者技術研修会	25.11.27	(社)岩手県植物防疫協会	花巻市
大友 令史	農薬管理使用アドバイザー更新研修	25.12.11	農業普及技術課	奥州市 (文化会館)
大友 令史	盛岡地方りんご病害虫防除検討会	25.12.25	盛岡地方農業農村振興協 議会	盛岡市
大友 令史	室根稲作部会斑点米講習会	25.12.26	JAいわい東室根稲作部会	一関市
大友 令史	平成26年りんご防除暦(案)及び生産販売体制(案) 説明会	26.1.9	JAいわて中央農協	紫波町
大友 令史	農薬管理使用アドバイザー更新研修	26.1.15	農業普及技術課	北上市 (さくらホール)
大友 令史	全国農薬協同組合東北地区研修会	26.2.18	岩手県農薬卸商組合	盛岡市
大友 令史	緑の安全協議会特別研修会	26.2.24	緑の安全協議会	仙台市
名久井 一樹	産直農薬野菜適正使用講習会	25.4.30	JAシンセラ	盛岡市
名久井 一樹	新規就農者研修第2回集合研修	25.5.24	農業大学校	農業大学校
名久井 一樹	ぶどう栽培流通研修会	25.5.30	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	花巻市
名久井 一樹	第1回りんご病害虫防除研修会	25.6.11	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
名久井 一樹	第2回りんご病害虫防除研修会	25.7.17	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
名久井 一樹	岩手県立学校技能職員等研究協議会講習会	25.8.5	岩手県立学校技能職員等研 究協議会	花巻市
名久井 一樹	普及指導員スペシャリスト養成研修	25.8.27	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市 (農研センター)
名久井 一樹	農薬管理使用アドバイザー更新研修	25.10.17	農業普及技術課	釜石市
名久井 一樹	岩手県植物防疫関係者技術研修会	25.11.27	(社)岩手県植物防疫協会	花巻市
名久井 一樹	農薬管理使用アドバイザー更新研修	25.12.11	農業普及技術課	奥州市 (文化会館)
名久井 一樹	盛岡地方りんご病害虫防除検討会	25.12.25	盛岡地方農業農村振興協 議会	盛岡市
名久井 一樹	一関地方りんご病害虫防除暦編集会議	26.1.8	一関地方農林業振興協議会	一関市
名久井 一樹	平成26年りんご防除暦(案)及び生産販売体制(案) 説明会	26.1.9	JAいわて中央	紫波町
名久井 一樹	農薬管理使用アドバイザー養成研修	26.1.16	農業普及技術課	盛岡市
名久井 一樹	江刺りんご栽培暦作成検討会	26.1.17	JA江刺	奥州市江刺区

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
名久井 一樹	「環境にやさしいりんごづくり推進事業」実績検討会	26.1.22	滝沢市	滝沢市
阿部 弘	鉢花りんどう実績検討会	25.11.1	JAはなまき	花巻市
阿部 弘	農薬管理使用アドバイザー更新研修	25.12.11	農業普及技術課	盛岡市
阿部 弘	農薬管理使用アドバイザー更新研修	26.1.15	農業普及技術課	北上市 (さくらホール)
阿部 弘	花きスキルアップ講座	26.1.28	一関農業改良普及センター	一関市
宍戸 貴洋	農薬管理使用アドバイザー更新研修	25.9.25	農業普及技術課	二戸市
宍戸 貴洋	室根稲作部会斑点米講習会	25.12.26	JAいわい東室根稲作部会	一関市
宍戸 貴洋	農薬適正販売使用研修会	26.1.31	岩手県農薬卸商組合	盛岡市
宍戸 貴洋	岩手県担い手農業者研修会	26.2.6	ヤンマーアグリジャパン(株)	北上市
宍戸 貴洋	種子用大豆紫斑病対策勉強会	26.2.17	JA新いわて	軽米町
宍戸 貴洋	全国農薬協同組合東北地区研修会	26.2.18	岩手県農薬卸商組合	盛岡市
吉田 雅紀	農業普及員新任者・普及活動基本研修	24.5.22	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	農業大学校
吉田 雅紀	農薬管理使用アドバイザー更新研修	25.9.25	農業普及技術課	二戸市
吉田 雅紀	農薬基礎講座	25.10.10	宮古農業改良普及センター	宮古市
吉田 雅紀	農薬アドバイザー更新研修	25.10.17	農業普及技術課	釜石市
吉田 雅紀	農薬アドバイザー更新研修	25.11.21	農業普及技術課	盛岡市
吉田 雅紀	普及指導員スペシャリスト養成研修	25.11.29	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市 (農研センター)
吉田 雅紀	農薬管理使用アドバイザー更新研修	25.12.11	農業普及技術課	奥州市 (文化会館)
吉田 雅紀	農薬管理使用アドバイザー養成研修	26.1.16	農業普及技術課	盛岡市
吉田 雅紀	西和賀花卉研究会	26.3.7	JA花巻	西和賀町
村上 太郎	農薬アドバイザー更新研修	25.11.21	農業普及技術課	盛岡市
村上 太郎	胆江広域無人ヘリ防除協議会全体研修会	25.11.28	農業普及技術課胆江広域無人ヘリ防除協議会	奥州市
村上 太郎	無人ヘリオペレーター研修	26.1.31	岩手県無人ヘリオペレーター協議会	花巻市
村上 太郎	室根地区水稲病害虫防除実績検討会	26.2.14	JAいわい東室根稲作部会	一関市
村上 太郎	種子用大豆紫斑病対策勉強会	26.2.17	JA新いわて	軽米町
村上 太郎	全国農薬協同組合東北地区研修会	26.2.18	岩手県農薬卸商組合	盛岡市
山本 明日香	産直農薬野菜適正使用講習会	25.4.30	JAシンセラ	盛岡市
山本 明日香	農薬アドバイザー更新研修	25.11.21	農業普及技術課	盛岡市
山本 明日香	農薬管理使用アドバイザー更新研修	26.1.15	農業普及技術課	北上市 (さくらホール)

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
畜産研究所				
家畜育種研究室				
佐々木 睦美	第2回西和賀町地鶏産業プロジェクト会議(6次産 業化)	25.7.3	西和賀町	西和賀町
児玉 英樹	第56回岩手県家畜共進会日本短角種の部審査 員	25.9.5	岩手県畜産協会	雫石町
児玉 英樹	家畜受精卵移植講習会	25.9.10,17, 20,24~27, 30,10.1,2	畜産課	滝沢村 (畜産研究所)
児玉 英樹	人工授精技術の先進地調査について	25.11.1	福岡県農林水産部	滝沢村 (畜産研究所)
児玉 英樹	家畜人工授精講習会	25.11.13	畜産課	農業大学校
児玉 英樹	岩手県獣医畜産業績発表会特別発表	26.1.23	畜産課	盛岡市
鈴木 強史	家畜人工授精講習会	25.11.1	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
鈴木 強史	新岩手浄法寺短角生産部会研修会	25.6.27	新岩手浄法寺短角生産部会	畜産研究所
鈴木 強史	農業大学校講義	25.11.20	岩手県立農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
鈴木 強史	日本短角種振興協議会研修会	26.1.28	日本短角種振興協議会	盛岡市
鈴木 強史	新岩手くじ短角生産部会研修会	26.2.26	新岩手くじ短角生産部会	久慈市
神山 洋	家畜人工授精講習会	25.11.19	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
家畜飼養・飼料研究室				
藤原 哲雄	牧草およびとうもろこしの栽培管理の基礎	25.4.17	いわい東農協酪農部会	畜産研究所
齋藤 浩和	家畜人工授精講習会	25.10.31	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
尾張 利行	子牛市場ワンポイント講座	25.11.6	全農岩手県本部	奥州市
尾張 利行	子牛市場ワンポイント講座	25.11.7	全農岩手県本部	奥州市
伊藤 孝浩	家畜人工授精講習会	25.11.11 11.19	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
山形 広輔	子牛市場ワンポイント講座	25.11.13	全農岩手県本部	雫石町
佐藤 まり子	子牛市場ワンポイント講座	25.11.14	全農岩手県本部	雫石町
佐藤 まり子	子牛市場ワンポイント講座	25.11.15	全農岩手県本部	雫石町
伊藤 孝浩	農大講義	25.12.2	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
齋藤 浩和	農大講義	25.12.12	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
伊藤 孝浩	家畜商講習会	25.12.17	流通課	盛岡市
外山畜産研究室				
熊谷 光洋	家畜受精卵移植講習会	25.9.13	畜産課	滝沢村 (畜産研究所)
太田原 健二	家畜人工授精講習会	25.11.23,25	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
太田原 健二	農業大学校講義	25.11.8	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
佐々木 正俊	胆江地域肉用牛生産性向上研修会	26.3.18	胆江地方農業振興協議会	奥州市

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
種山畜産研究室				
西田 清	JA岩手中央女性部研修会	25.4.4	JA岩手中央	紫波町
今野 一之	農業大学校講師	25.10.7	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
菊池 雄	「いわて生まれ・いわて育ち」事業授精師等講習会	25.10.1	畜産課	軽米町
大崎 翔	「いわて生まれ・いわて育ち」事業授精師等講習会	25.10.1	畜産課	軽米町
大崎 翔	「いわて生まれ・いわて育ち」事業授精師等講習会	25.10.8	畜産課	大槌町
大崎 翔	「いわて生まれ・いわて育ち」事業授精師等講習会	25.10.11	畜産課	江刺市
今野 一之	「いわて生まれ・いわて育ち」事業授精師等講習会	25.10.11	畜産課	江刺市
西田 清	県北衛生指導協会和牛講習会	25.11.7	県北家畜衛生協議会	二戸市
今野一之	人工授精講習会	25.11.8	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
大崎翔	人工授精講習会	25.11.14	畜産課	住田町(種山)
西田 清	人工授精講習会	25.11.15	畜産課	住田町(種山)
西田 清	人工授精講習会	25.11.18	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
大崎 翔	人工授精講習会	25.11.18	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
西田 清	人工授精講習会	25.11.25	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
大崎 翔	枝肉調査・研修会	25.12.6	全農岩手県本部	花巻市
今野 一之	家畜商講習会	25.12.17	畜産課	滝沢村 (畜産研究所)
今野 一之	家畜商講習会	25.12.18	畜産課	滝沢村 (畜産研究所)
西田 清	久慈和牛改良部会研修会	25.12.20	久慈和牛改良部会	久慈市
大崎 翔	JA岩手中央畜産部会研修会	25.12.26	JA岩手中央	都南村
今野一之	獣医畜産業績発表会特別講演	26.1.23	畜産課	盛岡市
西田 清	和牛女性研修会	26.1.23	全農岩手県本部	花巻市
西田 清	和牛女性研修会	26.1.30	全農岩手県本部	花巻市
大崎 翔	「いわて生まれ・いわて育ち」事業授精師等講習会	26.2.19	畜産課	軽米町
菊池 雄	岩手県家畜受精卵移植懇話会	26.2.21	岩手県家畜受精卵移植懇話会	滝沢村 (アピオ)
大崎 翔	「いわて生まれ・いわて育ち」事業授精師等講習会	26.2.26	畜産課	江刺市
大崎 翔	「いわて生まれ・いわて育ち」事業授精師等講習会	26.2.26	畜産課	滝沢村 (畜産研究所)
大崎 翔	子牛市場ワンポイント講習会	26.3.5	全農岩手県本部	江刺市
菊池 雄	子牛市場ワンポイント講習会	26.3.6	全農岩手県本部	江刺市
大崎 翔	「いわて生まれ・いわて育ち」事業授精師等講習会	26.3.6	畜産課	遠野市

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
西田 清	子牛市場ワンポイント講習会	26.3.12	全農岩手県本部	雫石町
西田 清	子牛市場ワンポイント講習会	26.3.13	全農岩手県本部	雫石町
西田 清	子牛市場ワンポイント講習会	26.3.14	全農岩手県本部	雫石町
菊池 雄	黒毛和種子牛生産管理講習会	26.3.18	岩泉普及	岩泉町
大崎 翔	人工授精師担当者会議受胎調査	26.3.19	岩手県畜産協会	滝沢市(畜産協会)
西田 清	牛友会研修会	26.3.25	雫石町牛友会	雫石町
県北農業研究所				
作物研究室				
仲條 真介	一戸町雑穀生産者研修会	26.8.6	一戸町	一戸町(一戸町役場)
仲條 真介	二戸地域雑穀生産者大会	26.1.16	二戸地方農林水産振興協議会 農産園芸部会	二戸市
仲條 真介	一戸町雑穀セミナー	26.2.25	一戸町	一戸町(一戸町役場)
園芸研究室				
藤沢 巧	岩手県園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会 ほうれんそう安定生産技術研修会	25.5.9	農産園芸課	岩手町
鹿糠 美雪	北部地域輪菊栽培指導会	25.5.16	新岩手農業協同組合北部営農経済センター	軽米町 (県北農業研究所)
藤沢 巧	岩手県園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会・園芸産地改革ネットワーク合同ほうれんそう現地研修会及び査定会	25.7.23	農産園芸課	八幡平市 盛岡市
横田 啓 武田 純子	たまねぎ春植え新作業型研修会	25.7.31	主催研修会	軽米町 (県北農業研究所)
藤沢 巧	第64回全日本野菜品種審査会 キャベツ(春まき夏どり)審査会	25.8.5~6	一社)日本種苗協会	群馬県嬭恋村 (高冷地野菜研究センター)
藤沢 巧	第64回全日本野菜品種審査会 レタス(初夏まき秋どり)審査会	25.9.3~4	一社)日本種苗協会	長野県塩尻市 (野菜花き試験場)
鹿糠 美雪	輪ぎく講習会	25.9.9	二戸農業改良普及センター	軽米町 (県北農業研究所)
横田 啓	久慈農業改良普及センター普及活動の内部評価(中間)	25.10.11	久慈農業改良普及センター	久慈市
武田 純子	岩手県園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会・園芸産地改革ネットワーク合同ねぎ実績検討会	25.12.2	農産園芸課	盛岡市
藤沢 巧	岩手県園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会・園芸産地改革ネットワーク合同「ほうれんそう実績検討会」	25.12.11	農産園芸課	岩手町
鹿糠 美雪	平成25年度北部地域花卉生産部会菊類実績検討会	26.1.14	新岩手農業協同組合北部営農経済センター	二戸市
鹿糠 美雪	岩手県園芸産地改革戦略推進会議りんどう技術対策部会「実績検討会」	26.1.23	農産園芸課	北上市 (農業研究セン)
鹿糠 美雪	りんどうにかかる普及活動検討会	26.2.7	中央農業改良普及センター	北上市 (農業研究セン)
鈴木 良則	久慈農業改良普及センター普及活動の内部評価	26.2.13	久慈農業改良普及センター	久慈市
横田 啓 武田 純子	たまねぎ春植え新作業型勉強会	26.3.4	二戸青果生産組合	二戸市
鹿糠 美雪	露地ぎく春管理指導会	26.3.13	新岩手農業協同組合北部営農経済センター	軽米町 (県北農業研究所)

3 視察者、見学者の受け入れ状況

区分	来所者数	参観デー来場者数	合計	備考
本部	1,128人	2,500人	3,628人	平成25年4月～平成26年3月
畜産研究所	321人	1,000人	1,321人	
県北農業研究所	356人	460人	816人	
計	1,805人	3,960人	5,765人	

4 春季一般公開及び参観デー

名称	開催期日	開催場所	参集人員
春季一般公開	25.4.16～21	農業ふれあい公園 「農業科学博物館」	59名
参観デー(本部)	25.8.30～31	農業研究センター本部 農業ふれあい公園 「農業科学博物館」	2,500名
参観デー(畜産研究所)	25.8.23～25	岩手産業文化センター(アピオ)	1,000名
一般公開デー(県北農業研究所)	25.9.6～7	県北農業研究所	460名

5 現地ふれあい農業研究センター

開催期日	開催場所	主な内容	参集人員
(開催なし)			

6 一日子供農業研究員

名称	開催期日	内容	参集人員
一日子供農業研究員 ～夏休み農業 研究体験～	25.8.1	小学5年生を対象とした研究体験 ・害虫と「タダの虫」 講師：農業研究センター職員	16名

7 農業科学博物館、農業ふれあい公園、加工工房(加工体験)の利用者

項目	主な内容	開催年月日	参集人数	
農業科学博物館	入館者数	入館者総数(企画展、イベント、その他を含む来館者数)	4,682名	
		農業研究センター春季一般公開	25.4.16～21 (59名)	
		農業研究センター参観デー	25.8.30～31 (932名)	
	企画展	収蔵品を「企画テーマ」に合わせて年4回展示紹介		—
		第56回「暮らしと稲わら加工」	25.4.7～6.28	
		第57回「岩手の郷土食～粒食・粉食に使われた道具～」	25.7.7～9.29	
		第58回「食糧増産運動時代の病虫害防除」	25.10.6～12.27	
	イベント	「松飾り作り体験」	25.12.22	13名(10組)
		「ソバづくり体験」	4回	14名(10組)
	その他	学校教育支援活動 16校(社会科実習、校外学習等の受入)	—	894名(19校)
在宅高齢者支援活動(北上市在宅高齢者ふれあいデーサービス事業)		—	318名(12団体)	
農業ふれあい公園 ゲートボール場	ゲートボール、グラウンドゴルフなど	利用期間 4月～11月	6,470名 (311件)	
農業ふれあい公園 加工工房	加工試作	食品加工試作	25.9.17 3名	
	加工試作	そば打ち体験	25.11.17 30名	

8 研修生の受け入れ

(1) 海外研修

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
該当なし				

(2) 北東北3県連携にかかる人事交流(研修)

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
高橋 東	秋田県農業試験場	原種生産について	作物研究室(技術)	25.7.11 ～25.7.12
猿田 進	秋田県農業試験場	原種生産について	作物研究室(技術)	25.7.11 ～25.7.12

(3) 短期研修生

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
野尻 翼	岩手県農業共済組合連合会	果樹栽培技術習得	果樹研究室	25.6.4 ～26.1.16
菅野 大晴	胆江地域農業共済組合	果樹栽培技術習得	果樹研究室	25.6.4 ～26.1.16

(4) 体験学習の受け入れ

ア 小中学校等の「総合的な学習の時間」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
筑波大学駒場中学校体験学習	現地踏査(水稻の品種など)	6	作物研究室	25.5.23
あけの星幼稚園体験学習	体験学習(田植え)	60	作物研究室 企画管理部総務課	25.6.5
軽米町立軽米中学校 2年生	体験学習	1	県北農業研究所	25.7.2～4
軽米町立晴山中学校 2年生	体験学習	1	県北農業研究所	25.8.21～23

イ 高等学校、大学の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
岩谷堂高等学校	職場研修	33	研究企画室	25.9.3
早稲田実業高等学校	農業の歴史と現代	7	研究企画室 作物研究室	25.8.28
県立農業大学校花き経営科1年 事例研修	現場研修	9	野菜花き研究室	25.11.5
弘前大学農学生命科学部3年生、 4年生、修士学生	アスパラガス伏せ込み促成栽培について	3	野菜花き研究室	25.11.19
岩手大学農学部獣医学課程 4年	家畜衛生学実習:各種家畜の飼養管理方法や衛生管理などを理解する。	35	家畜飼養・飼料研究室 家畜育種研究室	25.5.13
県立農業大学校畜産学科1年 事例視察研修	畜産研究所における牛の研究概要	19	家畜飼養・飼料研究室 家畜育種研究室	25.6.18
岩手大学農学部生命科学課程 3年	畜産研究所における研究概要	40	家畜飼養・飼料研究室 家畜育種研究室	25.7.11
岩手大学農学部獣医学課程 4年	畜産研究所における日本短角種の研究概要	1	家畜育種研究室	26.3.14
盛岡農業高校2年	肉用牛の放牧管理実習	1	外山畜産研究室	25.8.6～8
日本大学生物資源科学部動物資源科学科3年	日本短角種飼養形態について	10	外山畜産研究室	25.10.25
岩手大学農学部共同獣医学科 2年	乳用牛の飼養管理	2	家畜飼養・飼料研究室	26.2.27
日本大学生物資源科学部動物資源科学科3年	日本短角種検定実施状況について	10	家畜育種研究室	25.10.25
盛岡農業高校特別専攻科	畜産研究所における牛の研究概要	15	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	25.5.28 25.7.2
岩手大学農学部動物科学課程 2年	畜産研究所における研究概要と乳牛管理の見学	31	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	25.10.9
岩手大学農学部・東京農工大学農学部共同獣医学科1年	畜産研究所における研究概要と乳牛管理の見学	76	家畜飼養・飼料研究室	25.9.26

ウ インターンシップ等に対応したもの

氏名	所属	研修内容	受入研究室等	期日
木村 桃子	岩手大学	農産物の生産振興や環境に配慮した農業生産を普及するための農業研究分野の役割について理解を深める	県北農業研究所	25.9.9～13

9 協議会、委員会等委員

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
岩手県研究開発推進連絡会議	委員	所長	商工労働観光部科学・ものづくり振興課
岩手県農業技術開発会議	構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員	所長 副所長 企画管理部長 技術部長 環境部長 病虫害防除部長 畜産研究所長 県北農業研究所長	農業普及技術課
岩手県バイオテクノロジー研究調整会議	委員	所長	農業普及技術課
岩手県農業農村指導士選考委員会	選考委員	所長	農業普及技術課
岩手県農業気象協議会	委員 委員 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	技術部長 病虫害防除所長 (病虫害防除部長) 果樹研究室長 作物研究室長(技術部) 野菜花き研究室長 生産環境研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 作物研究室長(県北研) 病虫害防除所次長 (病虫害防除課長)	農業普及技術課
岩手県農薬管理使用アドバイザー認定委員会	副会長 委員	病虫害防除部長 環境部長	農業普及技術課
放射性物質の農作物等への影響に係る 生産管理指導対策会議	構成員	環境部長 畜産研究所次長	農業普及技術課
特別栽培農産物に係る慣行レベル検討会議	構成員	プロジェクト推進室長 果樹研究室長 作物研究室長 野菜花き研究室長 生産環境研究室長 病理昆虫研究室長 病虫害防除課長 園芸研究室長(県北研) 作物研究室長(県北研)	農業普及技術課
岩手県農業共済保険審査委員会	委員	技術部長	団体指導課
いわて純情米需要拡大推進協議会	幹事	技術部長	流通課
いわての大豆普及推進協議会	委員	技術部長	流通課
土地改良事業営農推進対策委員会	副委員長 委員 委員 中央幹事 中央幹事 中央幹事 中央幹事 中央幹事	企画管理部長 技術部長 県北農業研究所長 農業経営研究室長 野菜花き研究室長 生産環境研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 園芸研究室長(県北研)	農村計画課
岩手県農業農村整備事業地区 担い手育成協議会	委員	農業経営研究室経営 チーム長	農村建設課
農作物奨励品種検討会議	構成員	所長	農産園芸課

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
岩手県特産農産物生産振興共進会	審査委員長 審査委員 審査委員	県北農業研究所長 農業経営研究室長 作物研究室長(県北研)	農産園芸課
岩手県農作業安全対策協議会	委員	副所長	農産園芸課
岩手県農業機械士認定委員会	委員	技術部長	農産園芸課
岩手県農業機械士技能検定	技能検定員 技能検定員	上席専門研究員 (プロジェクト推進室) 主任技能員、技能員 (プロジェクト推進室、 技術部、環境部)	農産園芸課
岩手県麦・大豆等産地体制確立推進協議会 同 事務局員	委員 事務局員	技術部長 作物研究室長(技術部)	農産園芸課
全国豆類経営改善共励会岩手県審査委員会	審査委員長 審査委員 審査委員	技術部長 作物研究室長(技術部) 作物研究室長(県北研)	農産園芸課
全国麦作共励会岩手県審査委員会	審査委員長 審査委員 審査委員	技術部長 作物研究室長(技術部) 作物研究室長(県北研)	農産園芸課
岩手県特産農作物生産振興共進会審査委員会	審査委員長 審査委員 審査委員	県北農業研究所長 作物研究室長(技術部) 作物研究室長(県北研)	農産園芸課
麦・大豆収益性向上対策チーム	構成員 構成員	プロジェクト推進室長 作物研究室長(技術部)	農産園芸課
県産米食味向上プロジェクトチーム	構成員 構成員 構成員	プロジェクト推進室長 作物研究室長(技術部) 生産環境研究室長	農産園芸課
岩手県園芸産地改革戦略推進会議	委員 委員	農業経営研究室長 野菜花き研究室長	農産園芸課
(公財)岩手生物工学研究センター評議会	評議員	所長	(公財)岩手生物工学研究センター
花北地方農業農村振興連絡協議会 (花巻地域希望農業技術サポート会議を兼ねる)	構成員	企画管理部長	県南広域振興局農政部 花巻農林振興センター
大船渡地方農業振興協議会	構成員	南部園芸研究室長	沿岸広域振興局農林部 大船渡農林振興センター
中央環境審議会土壌農薬部会農薬小委員会	専門委員	病虫害防除部長	環境省 水・大気環境局
東北土地利用型作物安定生産推進協議会	構成員	作物研究室長(技術部)	東北農政局
北上市みどりのまちづくり審議会	委員	企画管理部長	北上市
住田町農業振興協議会	構成員	南部園芸研究室長	住田町
日本農業経営学会	理事	農業経営研究室長	(独)中央農業総合研究センター
東北農業試験研究協議会	理事	所長	(独)農研機構・東北農業研究センター
東北農業経済学会	評議員	農業経営研究室長	東北大学農学部
岩手農林研究協議会(AFR)	副会長(委員) 幹事	所長 技術部長	岩手大学農学部
いわて純情米体質強化推進協議会	幹事	技術部長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
日本農業賞岩手県代表選考審査委員	委員長	所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部

協議会、委員会等の名称	役職	職名	担当機関
岩手県施肥合理化協議会	参与 参与 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	環境部長 畜産研究所長 プロジェクト推進室長 果樹研究室長 野菜花き研究室長 生産環境研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 県北農業研究所次長兼 作物研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
いわて純情りんごコンテスト	審査委員長 審査員 審査員 審査員	技術部長 果樹研究室長 研究室員 (果樹研究室) 病理昆虫研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
いわてフラワーコンテスト	審査委員長 審査委員	技術部長 野菜花き研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県麦民間流通地方協議会	構成員	作物研究室長(技術部)	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県農業共済組合連合会損害評価会	損害評価委員 (農作物・水稲) 損害評価委員 (農作物・水稲) 損害評価委員 (農作物・水稲) 損害評価委員 (果樹) 損害評価委員 (果樹) 損害評価委員 (農作物・麦) 損害評価委員 (畑作物・大豆・ ホップ) 損害評価委員 (畑作物・麦・ 大豆・ホップ) 損害評価委員 (園芸施設)	病害虫防除課長 上席専門研究員 (技術部作物研究室) 病理昆虫研究室長 果樹研究室長 主任主査 (病害虫防除課) 主任専門研究員 (技術部作物研究室) 主任専門研究員 (技術部作物研究室) 主任主査 (病害虫防除課) 野菜・花き研究室長	岩手県農業共済組合連合会
岩手県産業用無人ヘリコプター推進協議会	幹事	病害虫防除課長	岩手県農業共済組合連合会
(公財)日本植物調節剤研究協会東北支部	委員 監事	作物研究室長(技術部) 果樹研究室長	(公財)日本植物調節剤研究協会東北支部
(社)岩手県植物防疫協会	幹事 幹事 幹事 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員	技術部長 環境部長 病害虫防除所長 (病害虫防除部長) 作物研究室長(技術部) 果樹研究室長 野菜花き研究室長 病理昆虫研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 病害虫防除所次長 (病害虫防除課長)	(社)岩手県植物防疫協会

協議会、委員会等の名称	役職	職名	担当機関
種子価格設定委員会	委員	作物研究室長(技術部)	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
種子事故防止委員会兼種子事故調査委員会	委員 委員	作物研究室長(技術部) 病理昆虫研究室長	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	畜産課
いわて短角和牛改良推進協議会	委員	家畜育種研究室長 外山畜産研究室長	日本短角種集団育種推進協議会 畜産課
全国和牛能力共進会出品対策委員会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	畜産課 全国農業協同組合連合会岩手県本部
畜産環境整備事業農機具導入委員会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	畜産課
岩手県飼料増産推進協議会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	畜産課
岩手県畜産技術連盟	世話人	畜産研究所長	畜産研究所
盛岡市牧野運営協議会委員	委員	外山畜産研究室長	盛岡市
岩手県農協大型酪農経営連絡協議会	委員	畜産研究所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県乳質改善協議会	委員	畜産研究所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
ミルクシステム診断事業推進委員会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	(社)岩手県畜産協会
岩手県乳用牛群検定推進協議会	幹事	家畜飼養・飼料研究室長	(社)岩手県畜産協会
全国和牛登録協会登録委員産肉能力検定委員会	参与 参与 委員	畜産研究所長 畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会
和牛改良専門委員会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	全国和牛登録協会岩手県支部
県南和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会岩手県支部
中央和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会岩手県支部
日本短角種検定委員会	委員	家畜育種研究室長	日本短角種登録協会
日本短角種研究会	評議員	家畜育種研究室長	日本短角種研究会
日本短角種枝肉情報分析委員会	委員	家畜育種研究室長	肉用牛改良情報活用協議会
国産牛肉新需要創出緊急対策事業地方特定品種牛肉検討部会	委員	家畜育種研究室長	(社)全国肉用牛振興基金協会
八戸平原地域営農推進協議会	委員	県北農業研究所長	東北農政局 北奥羽調査管理事務所

VI 職員研修

VI 職員研修

1 大学院派遣

職・氏名	所属部所・研究室	研究内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 野々上慈徳	技術部 作物研究室	イネの多収に関わる遺伝子の解析	岩手大学大学院 連合農学研究科 (連携院:岩手生物 工学研究センター)	24.4～
主任専門研究員 山口 貴之	技術部 野菜花き研究室	休眠特性の解明によるアスパラガス新作型の開発	岩手大学大学院 連合農学研究科 (弘前大学)	24.4～
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	リンゴ重点防除害虫の分子生物学的識別と個体群構造の解析	東京農工大学大学院 連合農学研究科	25.10～ 28.9
主査専門研究員 増田 隆晴	畜産研究所 外山畜産研究室	高標高・寒冷地域における粗飼料調製技術に関する研究	岩手大学大学院連 合農学研究科 (岩手大学)	23.4～

2 海外派遣・研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容等	派遣先	派遣期間
該当なし				

3 国内研修への派遣

(1) 依頼研究員

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 熊谷 祐宏	畜産研究所 家畜育種研究室	DNAマーカー育種の高度化のための技術開発	独立行政法人・農業 生物資源研究所	25.8.1～ 10.31

(2) 北東北3県研究職員交流(職員派遣)

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 及川耳呂 技師 田口礼人	技術部・果樹研究室	ぶどう系統適応亭試験に関する情報交換会	秋田県果樹試験場	25.9.25～26

(3) 農林水産関係研究リーダー研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
該当なし				

(4) 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主任専門研究員 寺田 道一	プロジェクト推進室	数理統計研修(基礎編)	茨城県つくば市 農林水産技術会議 事務局筑波事務所	25.11.11～15

(5) 農林水産関係研究者研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 高橋 智宏	技術部 作物研究室	平成24年度農林水産中堅研究者研修	茨城県つくば市(農 林水産技術会議事 務局筑波事務所)	24.6.20～22
専門研究員 佐々木 康仁	畜産研究所 家畜育種研究室	食肉の官能評価ワークショップ	農研機構 畜産草地 研究所	25.10.2～4
専門研究員 佐々木 康仁	畜産研究所 家畜育種研究室	アミノ酸分析、豚肉せん断力測定技術研修	農研機構 東北農業 研究センター	25.9.17～ 12.27(実13 日)
主任専門研究員 横田 啓	県北農業研究所 園芸研究室	平成25年度農林水産中堅研究者研修	茨城県つくば市(農 林水産技術会議事 務局筑波事務所)	25.7.10～12

(6) その他

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主任専門研究員 臼井 智彦	プロジェクト推進室	第56回東北農業試験研究発表会	盛岡市	25.7.31
主任専門研究員 藤田 智美	プロジェクト推進室	平成25年度東北農業試験研究推進会議畑作物 推進部会畑作物栽培研究会 ○先端的な生産技術の導入による新たな営農 技術実証の検討	宮城県大崎市、名 取市	25.8.21～22
主任専門研究員 寺田 道一	プロジェクト推進室	平成25年度東北農業試験研究推進会議稲推進 部会直播研究会並びに水稲直播等低コスト技 術検討会	盛岡市、雫石町、矢 巾町	25.8.22～23
主任専門研究員 臼井 智彦	プロジェクト推進室	平成25年東北農業試験研究推進会議農業生産 基盤推進部会作業技術研究会 ○農作業安全への取組と課題	福島県郡山市	25.8.22～23
上席専門研究員 高橋 昭喜	プロジェクト推進室	平成25年度東北農業試験研究推進会議畑作物 推進部会東北ソバ研究会	滝沢村	25.9.18
主任専門研究員 藤田 智美	プロジェクト推進室	農研機構シンポジウム 「田畑輪換と地力」	東京都	25.11.20
上席専門研究員 高橋 昭喜	プロジェクト推進室	予防的鳥獣被害対策についての講演・調査検 討会	盛岡市	26.1.27
主任専門研究員 臼井 智彦	プロジェクト推進室	平成25年度生研センター研究報告会・農業機 械開発改良試験研究打合せ会議	埼玉県さいたま市	26.3.13～14
主任専門研究員 寺田 道一	プロジェクト推進室	日本作物学会第237回講演会	千葉県千葉市	26.3.29～30
主査専門研究員 土 田 泰輔	企画管理部 研究企 画室	「戦略的な研究企画の策定」WS	農林水産技術会議 事務局筑波事務所 セミナー室	25.10.10～11
主任主査 吉田 勝 主査 茨島あゆみ 主任 島山聡子	企画管理部 総務課	会計事務基本研修(出納局主催)	奥州市	25.6.6～7
主任主査 吉田 勝	企画管理部 総務課	会計事務基本研修(出納局主催)	盛岡市	25.6.25
主幹兼総務課長 澤口 総一	企画管理部 総務課	会計事務研修(県南局主催)	花巻市	25.6.21
主幹兼総務課長 澤口 総一	企画管理部 総務課	安全運転管理者等講習 (公安委員会による研修)	北上市	25.9.3
主任主査 吉田 勝	企画管理部 総務課	会計事務研修(県南局主催)	奥州市	26.1.23
果樹研究室長	技術部 果樹研究室長	農業食料工学シンポジウム 第18回テクノフェス タ防除・管理作業機分科会	さいたま市	25.12.13
上席専門研究員 小綿 寿志	技術部 作物研究室	日本作物学会東北支部講演会	福島県郡山市	25.8.20
上席専門研究員 高橋 智宏	技術部 作物研究室	ヤマセ研究会	宮城県大崎市	25.8.20～21
上席専門研究員 高橋 智宏	技術部 作物研究室	東北6県主要農作物原種・原原種生産に係る情 報交換会	山形市	25.8.1～2
主任専門研究員 小原 公則	技術部 作物研究室	水稲用除草剤試験方法に関する研修会	茨城県	25.4.24～25
主任専門研究員 小原 公則	技術部 作物研究室	雑草生態及び除草剤試験に関する研修会	茨城県	25.8.22～23
主任専門研究員 小館 琢磨 専門研究員 川代 早奈恵	技術部 作物研究室	日本作物学会第237回講演会	千葉市	26.3.29～30
専門研究員 川代 早奈恵 技師 太田 裕貴	技術部 作物研究室	普及指導員スペシャル養成研修	紫波町、花巻市	25.12.4
主査専門研究員 野々上 慈徳 専門研究員 川代 早奈恵 技師 太田 裕貴	技術部 作物研究室	日本育種学会第125回講演会	仙台市	26.3.21～22
技師 太田 裕貴	技術部 作物研究室	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅰ)	北上市(本部)ほか	25.6.24～26

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
上席専門研究員 漆原 昌二	技術部 野菜花き研究室	平成25年度農研機構シンポジウム「地域資源を活用した効率的施肥技術による資源循環型作	東京都	25.10.31
上席専門研究員 漆原 昌二	技術部 野菜花き研究室	平成25年度農研機構シンポジウム「地域資源を活用した環境保全型農業生産技術とその多面的環境影響評価」	京都府	25.12.5
上席専門研究員 漆原 昌二	技術部 野菜花き研究室	第6回「環境保全型農業シンポジウム」～日本の農業を盛り上げていこう！～	東京都	26.3.11
主任専門研究員 中里 崇	技術部 野菜花き研究室	平成25年度花き研究シンポジウム「日持ち保証販売の現状と展望およびそれを支持する技術開発」	茨城県	25.10.29～30
南部園芸研究室長 佐々木裕二 主査専門研究員 山田修 主任専門研究員 小田島 雅	南部園芸研究室	園芸学会秋季大会	岩手県	25.9.20～22
生産環境研究室長 小林 卓史	環境部 生産環境研究室	第35回施設園芸総合セミナー・機械資材展	一般社団法人 日本施設園芸協会	26.2.20～21
上席専門研究員 佐藤 喬	環境部 生産環境研究室	日本土壌肥料学会東北支部会	日本土壌肥料学会	25.7.8～9
上席専門研究員 佐藤 喬	環境部 生産環境研究室	東北農業試験研究発表会	東北農業研究センター	25.7.31
上席専門研究員 佐藤 喬	環境部 生産環境研究室	水稲作における施肥コスト低減に向けた技術普及研究会	中央農業総合研究センター	25.10.30
上席専門研究員 佐藤 喬	環境部 生産環境研究室	平成25年度農研機構シンポジウム 地域資源を活用した効率的施肥技術による資源循環型作物生産	中央農業総合研究センター	25.10.31
上席専門研究員 佐藤 喬	環境部 生産環境研究室	地力窒素の簡易評価・利用方研修	鹿児島農業研究所	26.2.24～26
上席専門研究員 佐藤 喬	環境部 生産環境研究室	りんごの施肥反応試験に係る先進地研修	長野果樹試験場	26.3.11
上席専門研究員 島 輝夫	環境部 生産環境研究室	東北農業試験研究発表会	東北農業研究センター	25.7.31
上席専門研究員 島 輝夫	環境部 生産環境研究室	全国土の会	全国土の会	25.10.24
上席専門研究員 島 輝夫	環境部 生産環境研究室	農業農村工学会研究集会	農業農村工学会土壌物理研究部会	25.10.25
上席専門研究員 島 輝夫	環境部 生産環境研究室	みやぎの農業農村復旧復興シンポジウム	宮城県	26.2.6
上席専門研究員 島 輝夫	環境部 生産環境研究室	第31回土・水研究会 農産物によるカドミウム・ヒ素の吸収とそのリスク管理	(独)農業環境技術研究所	26.2.26
上席専門研究員 島 輝夫	環境部 生産環境研究室	第4回農業環境イベントリー研究会 農薬等化学物質のリスク評価を効率的に行うためのイベントリーの構築	(独)農業環境技術研究所	26.2.27
主査専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	日本土壌肥料学会東北支部会	日本土壌肥料学会	25.7.8～9
主査専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	東北農業試験研究発表会	東北農業研究センター	25.7.31
主査専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	土壌調査技術研修会	土壌保全調査事業全国協議会	25.11.14～15
主査専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	平成25年度食品試験研究推進会議	食品総合研究所	26.2.27～28
主査専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	平成25年度農業生産工程管理体制構築事業成果報告会	中央農業総合研究センター	26.3.25

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主任専門研究員 桐山 直盛	環境部 生産環境研究室	東北農業試験研究発表会 発表	東北農業研究センター	25.7.31
主任専門研究員 桐山 直盛	環境部 生産環境研究室	放射線・放射能計測技術セミナー	放射線・放射能・中性子計測クラブ研究会	25.8.28
主任専門研究員 桐山 直盛	環境部 生産環境研究室	第2種放射線取扱主任者講習	(公財)原子力安全技术センター	25.11.12～15
主任専門研究員 桐山 直盛	環境部 生産環境研究室	平成25年度農業環境技術研究所連携推進会議	(独)農業環境技術研究所	26.2.21～22
主任専門研究員 桐山 直盛	環境部 生産環境研究室	東北ソバ研究会	東北農政局	26.2.25
専門研究員 高橋 彩子	環境部 生産環境研究室	東北農業試験研究発表会 発表	東北農業研究センター	25.7.31
専門研究員 高橋 彩子	環境部 生産環境研究室	日本土壌肥料学会(名古屋大会)	日本土壌肥料学会	25.9.10～13
専門研究員 高橋 彩子	環境部 生産環境研究室	第31回土・水研究会 農産物によるカドミウム・ヒ素の吸収とそのリスク管理	(独)農業環境技術研究所	26.2.26
上席専門研究員 多田 典穂	環境部 病理昆虫研究室	平成25年度野菜茶業課題別研修会	名古屋市	25.10.17～18
上席専門研究員 多田 典穂	環境部 病理昆虫研究室	第23回天敵利用研究会	栃木県	25.12.10～11
上席専門研究員 多田 典穂	環境部 病理昆虫研究室	第67回北日本病害虫研究発表会 発表	福島市	26.2.20～21
主査専門研究員 富永 朋之	環境部 病理昆虫研究室	第7回植物病害診断研究会	岡山市	25.9.27～28
主査専門研究員 富永 朋之	環境部 病理昆虫研究室	農研機構セミナー「イネいもち病「圃場抵抗性」は本当に持続的なのか？」	つくば市	25.11.11
主査専門研究員 富永 朋之	環境部 病理昆虫研究室	第67回北日本病害虫研究発表会 発表	福島市	26.2.20～21
主査専門研究員 富永 朋之	環境部 病理昆虫研究室	日本農薬学会第38回大会	京都市	26.3.13～15
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	日本植物防疫協会シンポジウム「転機に立つ国内農業と植物防疫の展開方向」	東京都	25.9.11
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	第22回日本ダニ学会大会 発表	静岡市	25.9.27～29
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	日本バイオリジカルコントロール協議会講演会	岐阜市	25.10.10～11
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	第67回北日本病害虫研究発表会 発表	福島市	26.2.20～21
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	日本生態学会第61回大会	広島市	26.3.14～18
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	第58回日本応用動物昆虫学会大会 発表	高知市	26.3.26～28
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	平成24年度能力開発研修(eラーニング研修)	所内パソコン	—
主任専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	日本土壌微生物学会2013年度大会 発表	東京都	25.6.19～21
主任専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	ドイツおよびチェコにおけるホップ病害虫の発生実態と農薬使用実態についての視察研修	ドイツ、チェコ	25.8.3～10
主任専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	EBC研究会ワークショップ2013	東京都	25.9.18
主任専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	日本植物病理学会関西西部会	岡山市	25.9.26～27
主任専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	第7回植物病害診断研究会	岡山市	25.9.27～28
主任専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	日本植物病理学会東北部会 発表	秋田市	25.10.28～29
主任専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	第4回根こぶ病研究会	京都市	26.2.13～14
主任専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	第67回北日本病害虫研究発表会 発表	福島市	26.2.20～21
主任専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	平成25年度能力開発研修(eラーニング研修)	所内パソコン	—

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	イネもみ枯細菌病等にかかる研修	富山市	25.8.16
専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	EBC研究会ワークショップ2013	東京都	25.9.18
専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	平成25年度選択研修(集合研修)政策形成実践力向上講座	盛岡市	25.9.25～26
専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	日本植物病理学会東北部会	秋田市	25.10.28～29
専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	農研機構セミナー「イネいもち病「圃場抵抗性」は本当に持続的なのか？」	つくば市	25.11.11
専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	生態と防除研究会(植物病害カンファレンス)	富山市	25.12.17
専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	第67回北日本病害虫研究発表会 発表	福島市	26.2.20～21
専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	平成24年度能力開発研修(eラーニング研修)	所内パソコン	—
技師 久保田 真衣	環境部 病理昆虫研究室	第19回農作物病害虫防除フォーラム	東京都	25.7.1
技師 久保田 真衣	環境部 病理昆虫研究室	第18回農林害虫防除研究会奈良大会	奈良市	25.7.10～11
技師 久保田 真衣	環境部 病理昆虫研究室	第28回報農会シンポジウム	東京都	25.9.26
技師 久保田 真衣	環境部 病理昆虫研究室	平成25年度病害虫防除所職員等中央研修	横浜市	25.12.10～13
技師 久保田 真衣	環境部 病理昆虫研究室	畑作物薬剤抵抗性病害虫の防除に関する検討会	名古屋市	26.1.20～21
技師 久保田 真衣	環境部 病理昆虫研究室	第65回北陸病害虫研究会	福井市	26.2.13～14
技師 久保田 真衣	環境部 病理昆虫研究室	第67回北日本病害虫研究発表会	福島市	26.2.20～21
技師 久保田 真衣	環境部 病理昆虫研究室	日本農薬学会第38回大会	京都市	26.3.13～15
技師 久保田 真衣	環境部 病理昆虫研究室	第58回日本応用動物昆虫学会大会	高知市	26.3.26～28
技師 久保田 真衣	環境部 病理昆虫研究室	平成25年度能力開発研修(eラーニング研修)	所内パソコン	—
主任主査 大友 令史 他2名	病害虫防除部 病害虫防除課	野菜茶業課題研究会(アザミウマ)	名古屋市	25.10.17～18
主任主査 大友 令史 他8名	病害虫防除部 病害虫防除課	第66回北日本病害虫研究発表会	福島市	26.2.20～21
主任主査 名久井 一樹	病害虫防除部 病害虫防除課	日本植物防疫協会シンポジウム 「転機に立つ国内農業と植物防疫の展開方向」	東京都	25.9.19
主任主査 名久井 一樹	病害虫防除部 病害虫防除課	植物病害診断研究会	岡山市	25.9.26～28
主任主査 名久井 一樹	病害虫防除部 病害虫防除課	北海道・東北地区植物防疫職員等技術研究会	仙台市	26.1.30
主任 阿部 弘	病害虫防除部 病害虫防除課	視察研修(福島防除所・埼玉防除所)	郡山市、大宮市	25.10.22～23
主任 宍戸 貴洋	病害虫防除部 病害虫防除課	イネもみ枯細菌病等にかかる研修	富山市(富山県農林水産総合技術センター)	25.8.16
主任 宍戸 貴洋 他1名	病害虫防除部 病害虫防除課	日本植物防疫協会シンポジウム 「農業生産基盤の変化と病害虫防除技術を考え」	東京都	25.1.16
主任 宍戸 貴洋	病害虫防除部 病害虫防除課	北海道・東北地区病害虫防除所職員技術研修会	つくば市	26.2.13～14
主任 吉田 雅紀	病害虫防除部 病害虫防除課	中央農業研究センター農業生物資源研究所合同研究会	つくば市	25.11.27～28
技師 村上 太郎	病害虫防除部 病害虫防除課	大豆研修会	盛岡市	25.7.31
技師 山本 明日香	病害虫防除部 病害虫防除課	日本病理学会第9回植物病害診断プログラム	つくば市(農林交流センター)	25.8.5～9
技師 山本 明日香	病害虫防除部 病害虫防除課	病害虫防除所職員等中央研修	横浜市	25.12.10～13

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主幹兼総務課長 大峠 英光 ほか2名	畜産研究所 総務課	盛岡広域振興局管内会計事務担当者研修	盛岡市	25.11.29
専門研究員 佐々木 康仁	畜産研究所 家畜育種研究室	中央畜産技術研修会・養豚	福島県西郷村	25.7.8～10
専門研究員 佐々木 康仁	畜産研究所 家畜育種研究室	第100回日本養豚学会大会	神奈川県厚木市	26.3.17～18
室長 熊谷 光洋	畜産研究所 外山畜産研究室	平成25年度岩手県畜産技術連盟研修会	盛岡市	25.9.27
室長 熊谷 光洋	畜産研究所 外山畜産研究室	平成25年度岩手県獣医師会岩手・盛岡合同講習会	滝沢村	25.11.1
室長 熊谷 光洋	畜産研究所 外山畜産研究室	安全運転管理者等講習	盛岡市	25.11.25
主査専門研究員 増田 隆晴	畜産研究所 外山畜産研究室	平成25年度岩手県畜産技術連盟研修会	盛岡市	25.9.27
主査専門研究員 増田 隆晴	畜産研究所 外山畜産研究室	2014年度日本畜産学会宮崎大会	宮崎県宮崎市	26.3.31～4.2
主査専門研究員 太田原 健二	畜産研究所 外山畜産研究室	平成25年度全国公共牧場長等研修会	東京都	26.1.30
専門研究員 佐々木 正俊	畜産研究所 外山畜産研究室	平成25年度岩手県畜産技術連盟研修会	盛岡市	25.9.27
主幹兼総務課長 大峠 英光	畜産研究所 総務課	安全運転管理者講習	滝沢村	25.6.14
主任専門研究員 尾張 利行	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	平成25年度自給飼料利用研究会	つくば市	25.11.14～15
専門研究員 山形 広輔	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	生研センター研究報告会	埼玉県	26.3.13～14
主任専門研究員 尾張 利行 他5名	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	飼料生産技術現地検討会	県内	25.11.21
主任専門研究員 伊藤 孝浩	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	全酪連酪農セミナーワークショップ2013	福島市	25.5.17
主任専門研究員 伊藤 孝浩	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	平成25年度東北地区登録委員研修会	郡山市	25.7.22～23
技能員 谷地館 透	畜産研究所 総務課	玉掛け技能講習	県内	25.6.17～21
技能員 谷地館 透	畜産研究所 総務課	小型移動式クレーン運転技能講習	県内	25.7.8～10
専門研究員 大崎 翔	畜産研究所 種山畜産研究室	中央畜産技術研修会・肉用牛生産技術指導者養成A	福島県西郷村	25.7.1～5
専門研究員 大崎 翔	畜産研究所 種山畜産研究室	農研機構シンポジウム「牛の受胎率向上に向けた雌雄両側からの研究アプローチ」	茨城県つくば市	26.3.26
主査専門研究員 今野 一之	畜産研究所 種山畜産研究室	中央畜産技術研修会・畜産新技術A	福島県西郷村	25.10.15～17
主査専門研究員 今野 一之	畜産研究所 種山畜産研究室	第21回和牛育種・改良問題セミナー	京都府京都市	26.1.9
主任専門研究員 横田 啓	県北農業研究所 園芸研究室	第1回加工・業務用タマネギ研究会	東京都千代田区 JA全農	25.4.25
上席専門研究員 大里 達朗 主査専門研究員 仲條 真介	県北農業研究所 作物研究室	日本作物学会東北支部	福島県福島市(福島 県農業総合研究セ ンター)	25.8.20～21
主査専門研究員 鹿糠 美雪 主任専門研究員 横田 啓 専門研究員 武田 純子	県北農業研究所 園芸研究室	日本園芸学会秋期大会	盛岡市(岩手大学)	25.9.19～21
主査専門研究員 仲條 真介	県北農業研究所 作物研究室	日本育種学会	鹿児島県鹿児島市 (鹿児島大学)	25.10.12～13
主任専門研究員 横田 啓	県北農業研究所 園芸研究室	ネギアザミウマを巡る諸問題とアザミウマ類防除の新展開シンポジウム	名古屋市 東建ホ ル丸の内	25.10.17～18

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主任専門研究員 横田 啓	県北農業研究所 園芸研究室	第2回加工・業務用タマネギ研究会	東京都千代田区 JA全農	25.11.14
主任専門研究員 横田 啓	県北農業研究所 園芸研究室	平成25年度土づくり研究会	仙台市	25.11.19
次長兼作物研究室長 小菅 裕明	県北農業研究所 作物研究室	知的財産権研修(産学官連携)	東京都千代田区 (独)工業所有権情報・研修館	26.1.29～31
上席専門研究員 藤沢 巧 主任専門研究員 横田 啓	県北農業研究所 園芸研究室	北日本病害虫研究会	福島県福島市(コラッセふくしま)	25.2.20～21
上席専門研究員 藤沢 巧	県北農業研究所 園芸研究室	日本応用動物昆虫研究会	高知県高知市(高知大学)	26.3.26～28
主査専門研究員 鹿糠 美雪	県北農業研究所 園芸研究室	日本園芸学会春期大会	茨城県つくば市(筑波大学)	26.3.29～30
上席専門研究員 藤沢 巧	県北農業研究所 園芸研究室	日本雑草学会	東京都小金井市(法政大学)	26.3.29～30

4 所内研修等

(1) 岩手県総務部人事課主催研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
プロジェクト推進室長 扇 良明	プロジェクト推進室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	25.10～12
上席専門研究員 高橋 昭喜	プロジェクト推進室	eラーニング 企業会計講座(基礎編)	人事課主催	25.10～12
主任専門研究員 臼井 智彦	プロジェクト推進室	eラーニング 企業会計講座(実務編)	人事課主催	25.10～12
主任専門研究員 藤田 智美	プロジェクト推進室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	25.10～12
果樹研究室長 小原 繁	技術部 果樹研究室長	管理監督者のマネジメント向上セミナー	人事課主催	26.1.29
技師 田口 礼人	技術部 果樹研究室	採用3年目職員研修	人事課主催	25.9.18～20
室長 菅原 浩規	技術部 作物研究室	新任担当課長等研修	人事課主催	25.6.12～14
上席専門研究員 高橋 智宏	技術部 作物研究室	ブレイン・マネジャー研修(第1期)	人事課主催	25.6.11～12
主任専門研究員 小館 琢磨	技術部 作物研究室	新採用職員指導担当者研修	人事課主催	25.4.25 25.6.27
技師 太田 裕貴	技術部 作物研究室	新採用職員研修	人事課主催	25.4.16～19 25.6.18～21
生産環境研究室長 小林 卓史	環境部 生産環境研究室	平成25年度コンプライアンス推進員研修	人事課主催	25.4.25
技師 山本 明日香	病害虫防除部 病害虫防除課	選択研修 交渉力向上セミナー	人事課主催	25.9.24～25
主査専門研究員 佐々木 睦美ほか1名	畜産研究所 家畜育種研究室	経済学入門	人事課主催	25.10.28～29
技能員 畠山 博文	畜産研究所 飼料生産	新採用職員指導者研修	人事課主催	25.4.25、 25.6.27
技能員 武田 溪介	畜産研究所 飼料生産	新採用職員研修	人事課主催	25.4.16～19、 25.10.23～25
専門研究員 大崎 翔	畜産研究所 種山畜産研究室	採用3年目研修	人事課主催	25.9.4～6
専門研究員 佐々木 正俊	畜産研究所 外山畜産研究室	中堅職員研修	人事課主催	25.7.10～ 7.12
専門研究員 佐々木 正俊	畜産研究所 外山畜産研究室	ITサポーター研修会	盛岡市	25.12.5
主任専門研究員 尾張 利行	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究	eラーニング 論理的思考力向上講座	人事課主催	25.10.16～ 12.27
専門研究員 伊藤 孝浩	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究	eラーニング 論理的思考力向上講座	人事課主催	25.10.16～ 12.27
主任専門研究員 山形 広輔	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究	eラーニング 論理的思考力向上講座	人事課主催	25.10.16～ 12.27
専門研究員 佐々木 正俊	畜産研究所 外山畜産研究室	eラーニング 論理的思考力向上講座	人事課主催	25.10.16～ 12.27

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 熊谷 祐宏	畜産研究所 外山畜産研究室	eラーニング 論理的思考力向上講座	人事課主催	25.10.16～ 12.27
室長 齋藤 久孝	畜産研究所 家畜育種研究室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	25.10.16～ 12.27
主査専門研究員 太田原 健二	畜産研究所 外山畜産研究室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	25.10.16～ 12.27
主査専門研究員 児玉 英樹	畜産研究所 家畜育種研究室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	25.10.16～ 12.27
主査専門研究員 今野 一之	畜産研究所 種山畜産研究室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	25.10.16～ 12.27
主任専門研究員 鈴木 強史	畜産研究所 家畜育種研究室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	25.10.16～ 12.27
専門研究員 神山 洋	畜産研究所 家畜育種研究室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	25.10.16～ 12.27
室長 熊谷 光洋	畜産研究所 外山畜産研究室	eラーニング 企業会計講座【基礎編】	人事課主催	25.10.16～ 12.27
主任主査 近藤 光宏	畜産研究所 総務課	eラーニング 企業会計講座【基礎編】	人事課主催	25.10.16～ 12.27
主査専門研究員 佐々木 睦美	畜産研究所 家畜育種研究室	eラーニング 企業会計講座【基礎編】	人事課主催	25.10.16～ 12.27
主任 鷺田 昭雄	畜産研究所 総務課	eラーニング 企業会計講座【実務編】	人事課主催	25.10.16～ 12.27
主任専門研究員 齋藤 浩和	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究	eラーニング マーケティング講座	人事課主催	25.10.16～ 12.27
専門研究員 佐々木 康仁	畜産研究所 家畜育種研究室	eラーニング マーケティング講座	人事課主催	25.10.16～ 12.27
主任専門研究員 佐藤 まり子	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	25.10.16～ 12.27
専門研究員 大崎 翔	畜産研究所 種山畜産研究室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	25.10.16～ 12.27
園芸研究室長 鈴木 良則	県北農業研究所 園芸研究室	新任担当課長等研修	人事課主催	25.6.5～7
上席専門研究員 藤沢 巧	県北農業研究所 園芸研究室	ブレイン・マネジャー研修(第2期)	人事課主催	25.6.13～14
上席専門研究員 大里 達朗	県北農業研究所 作物研究室	能力開発研修 「経済学入門講座」	人事課主催	25.10.28～29
主査専門研究員 仲條 眞介	県北農業研究所 作物研究室	能力開発研修 特別研修「地域経営推進研修(市町村合同研 修)」	人事課主催	25.10.28～29
園芸研究室長 鈴木 良則 上席専門研究員 藤沢 巧 上席専門研究員 中西 商量 主査専門研究員 鹿糠 美雪	県北農業研究所 園芸研究室 作物研究室	eラーニング 論理的思考力向上講座	人事課主催	25.9.9～ 12.27
主査専門研究員 鹿糠 美雪	県北農業研究所 園芸研究室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	25.9.9～ 12.27
上席専門研究員 大里 達朗 上席専門研究員 中西 商量	県北農業研究所 作物研究室	eラーニング 企業会計講座(基礎編)	人事課主催	25.9.9～ 12.27
主査専門研究員 横田 啓	県北農業研究所 園芸研究室	eラーニング マーケティング講座	人事課主催	25.9.9～ 12.27

(2) 岩手県農林水産部主催研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
技師 太田 裕貴	技術部 作物研究室	平成25年度農林水産部新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	25.6.10～11
技師 太田 裕貴	技術部 作物研究室	平成25年度農林水産部新採用職員農林漁家体験研修	農林水産部農林水産企画室主催	25.9.17～24
技能員 武田 溪介	畜産研究所 飼料生産	平成25年度新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	25.6.10～11
主任主査 近藤 光宏	畜産研究所 総務課	農林水産部会計事務担当者研修	農林水産部農林水産企画室主催	25.9.24

(3) 所内研修

研修会名称	所属部所・研究室	研修内容	主催	開催日
情報セキュリティ研修会	本部	情報の安全・安心10のポイント・情報セキュリティ対策 講師:研究企画室員	研究企画室	25.4.12
会計事務等研修会	本部	会計の基本原則、適正な会計事務処理の方法、経理事務処理方法等 講師:総務課員	総務課	25.6.27 26.1.24
交通安全研修	畜産研究所	交通安全の啓発ビデオ上映、交通安全知識 講師:盛岡西警察署交通課長	総務課	25.9.12
コンプライアンス研修	畜産研究所	県職員コンプライアンスマニュアルほか	総務課	26.2.14
地域活動に係る職場研修会	県北農業研究所	NHKテレビ小説「あまちゃん」にまつわる県北広域振興局の地域とのかかわり方など、地域活動としての取組事例 講師:県北広域振興局経営企画部職員	総務課	25.7.5
三公所合同交通安全研修会	県北農業研究所	交通安全の啓発ビデオ上映、講話 講師:二戸警察署員	総務課	25.9.18

5 所内セミナー等

名 称	開催期日	内 容	参集人員
【本部】 [プロジェクト推進室] プロジェクト推進室ゼミ	25.6.27	会計事務等研修 (総務課主催の研修を室内ゼミに位置付け)	5 名
	25.9.10	生産現場の状況について(水稻直播・大豆の現地事例調査) 花巻市、奥州市、一関市等	5 名
	26.1.24	会計事務等研修 (総務課主催の研修を室内ゼミに位置付け)	5 名
【企画管理部】 職場研修会	26.2.21	「ひょうたん池」ビオトープにおける施工直後と現在の比較 岩手県立大学 講師 辻 盛生 氏	50 名
職場研修会	26.3.10	連携研究・共同研究の進め方 独立行政法人科学技術振興機構 JST復興促進センター盛岡事務所 所長 箭野 謙 氏	43 名
【技術部】 技術部ゼミ	25.5.14	研究プランニングとデザイン 及川一也(技術部 部長)	16 名
	25.5.24	外部資金2次審査プレゼンテーション検討 山口 貴之(野菜花き研究室 主任専門研究員)	13 名
	25.5.29	6次産業化に関わる戦略及び継続 (株)マイルストーン 代表取締役 鈴木勝美氏	29 名
	25.9.27	大豆有望系統「東北166号」の紹介 伊藤信二(作物研究室 主任専門研究員)	15 名
	25.11.1	農家派遣研修報告 太田裕貴(作物研究室 技師)	13 名
【環境部】 環境部ゼミ	25.7.26	牧草の放射性セシウム吸収に対するリター・ルートマット層および 土壌中の交換性カリ含量の影響 (東北農業試験研究発表会プレ発表) 桐山直盛(生産環境研究室 主任専門研究員) 岩手県における水稻に対するケイ酸資材の効果・モニタリング (東北農業試験研究発表会プレ発表) 高橋彩子(生産環境研究室 専門研究員)	8 名
	25.10.4	バルクブレンド肥料製造工場視察研修	20 名
	25.11.5	先端技術展開事業現地圃場担当農家との意見交換	20 名
	25.12.26	農業研究センターのあらまし 多田勝郎(環境部長)	20 名
	26.2.12	北日本病害虫研究発表会(2014.2.20～21開催・福島市)の講演予 行演習	15 名
	26.3.20	日本応用動物昆虫学会(2014.3.26～28開催・高知大学)の講演予 行演習	10 名

名 称	開催期日	内 容	参集人員
[病虫害防除部] 病虫害防除部オープンゼミ	25.6.3	初期害虫の生態について 講師:久保田 真衣(病理昆虫研究室 技師)	64 名
	26.2.7	初期害虫の隔年防除について 講師:村上 太郎(病虫害防除所 技師) 水田周辺環境における斑点米カメムシのリスク評価 講師:田淵 研(東北農業研究センター 主任研究員) 小麦の赤かび病の発生生態と防除について 講師:宍戸 貴洋(病虫害防除所 主任)	40 名
[畜産研究所] 第1回所内セミナー(予演会)	25.7.3	牧草地におけるゼオライト施用および碎土率の向上が放射線セシウムの低減に及ぼす効果 佐藤 まり子(家畜飼養・飼料研究室 主任専門研究員) 傾斜放牧地における作溝式播種機初冬期播種技術 佐々木 正俊(外山研究室 専門研究員) 近赤外測定装置を活用した黒毛和種枝肉筋間脂肪中の脂肪酸測定方法の検討 神山 洋(家畜育種研究室 専門研究員) 飼料用米の多給がパークシャー種肥育後期豚の発育及び肉質に及ぼす影響 佐々木 康仁(家畜育種研究室 専門研究員)	10 名
第2回所内セミナー(ゼミ)	25.12.27	依頼研究員研修報告 熊谷 祐宏(家畜育種研究室 専門研究員)	8 名
第3回所内セミナー(予演会)	26.1.20	岩手県における日本短角種の現状 鈴木 強史(家畜育種研究室 主任専門研究員)	8 名
第4回所内セミナー(予演会)	26.1.28	パークシャー種における輸入トウモロコシから飼料用米への全量代替給与技術の確立 佐々木 康仁(家畜育種研究室 専門研究員)	10 名
第5回セミナー(予演会)	26.3.26	土壌中前植生塊とカリ追肥が牧草放射性セシウム濃度に与える影響 佐藤 まり子(家畜飼養・飼料研究室 主任専門研究員)	8 名
[県北農業研究所] 第1回所内ゼミ	25.7.3	試験圃場説明会	20 名
第2回所内ゼミ	25.8.9	学会等発表報告会 大里 達朗(作物研究室 上席専門研究員) 中條 真介(作物研究室 主査専門研究員)	12 名
第3回所内ゼミ	26.3.24	先輩職員から学ぶ 講師 所長 菊池 利行	25 名

VII 試験研究以外の業務概要

Ⅶ 試験研究以外の業務概要

1 作物の原々種の採種

(1) 主要農作物種子法に基づく原々種種子の生産

種 類	品 種	面 積 (a)	採種量 (kg)	備考 (採種場所等)
水稻(うるち)	いわてっこ	3	75	農業研究センター
	あきたこまち	3	100	〃
	ササニシキ	3	75	〃
酒造好適米	結の香	2	19	〃
水稻(もち)	ヒメノモチ	3	109	〃
	もち美人	2	41	〃
小麦	生産無し	—	—	—
大豆	シュウリュウ	23aの内数	75	農業研究センター

(2) その他原々種種子の生産

種 類	品 種	面 積(a)	採種量(g)	備考(採種場所等)
小豆	生産無し	—	—	—
りんどう	ITc	—	6.36	農業研究センター
	EZ	—	0.10	〃
	Ho	—	1.20	〃
	Ha	—	4.70	〃
	Y514	—	0.50	〃
	Job	—	0.65	〃
	Y531	—	0.46	〃
	Ba	—	13.95	〃

2 作物の原種の採種

(1) 主要農作物種子法に基づく原種種子の生産

種 類	品 種	面 積 (a)	採 種 量 (kg)	備 考 (採種場所等)
水稲うるち	ひとめぼれ	405	16,140	農業研究センター
	あきたこまち	96	3,200	〃
	いわてっこ	96	3,340	〃
	どんびしゃり	29	620	〃
	ササニシキ	28	920	〃
酒造好適米	ぎんおとめ	7	30	農業研究センター
	結の香	14	250	〃
水稲非主食用米	つぶみのり	23	500	農業研究センター
水稲もち	ヒメノモチ	50	1,900	紫波町
小麦	ナンブコムギ	20	2,880	農業研究センター
	ゆきちから	15	3,900	〃
大豆	ナンブシロメ	-	545	〃
	リュウホウ	150	1,200	〃

(2) その他原種種子の生産

種 類	品 種	面 積(単位)	採種量(kg)	備考(採種場所等)
小豆	岩手大納言	-	26	農業研究センター
	ベニダイナゴン	-	2	〃
そば	-	-	-	-
ヒエ	ねばりっこ1号	-	2	県北農業研究所
	ねばりっこ2号	-	10	〃
キビ	釜石16	-	10	〃
	キビ岩手糯1号	-	0.3	〃
アワ	ゆいこがね	-	3	〃

3 種苗等の配布

(1) 主要農作物種子法に基づく種苗の配布

種 類	品 種	数 量(kg)	配 布 先
水稻うるち (平成26年採種圃播種用)	ひとめぼれ	11840	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	あきたこまち	2,860	〃
	いわてっこ	1,580	〃
	どんびしゃり	600	〃
	かけはし	240	〃
	ササニシキ	180	〃
酒造好適米 (平成26年採種圃播種用)	ぎんおとめ	40	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	吟ぎんが	60	〃
	結の香	20	〃
水稻非主食用米 (平成26年採種圃播種用)	つぶゆたか	480	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	つぶみのり	340	〃
水稻もち (平成26年採種圃播種用)	ヒメノモチ	1,200	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	もち美人	120	〃
小麦原種 (25年採種圃播種用)	ナンブコムギ	4,560	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ゆきちから	3,510	〃
	ネバリゴシ	180	〃
大豆原種 (25年採種圃播種用)	ナンブシロメ	892	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	リュウホウ	810	〃
	青丸くん	16	〃
	ユキホマレ	15	〃
	すずほのか	5	〃
	コスズ	6	〃

注) 旧年産の種子も供給していること。

(2) その他種苗の配布

種 類	品 種	数 量(単位)	配 布 先
酒造好適米 (平成26年一般播種用)	結の香	220(kg)	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
水稻新形質米等 (平成26年一般播種用)	岩手91号(きらほ)	290(kg)	〃
水稻新形質米等 (平成25年一般播種用)	岩手91号(きらほ)	200(kg)	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ゆきおとめ	5(kg)	〃
	つづみ星	15(kg)	〃
小豆原種	岩手大納言	30(kg)	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ベニダイナゴン	46(kg)	〃
ヒエ原種			配布実績無し
キビ原種			配布実績無し
アワ原種	虎の尾	0.1(kg)	〃
	アワ岩手糯3号	0.1(kg)	〃
そば原種	岩手早生		配付実績無し
えだまめ原種			配付実績無し
りんどう	採種用母株(組織培養株)		
	Sen2	348(株)	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	Sen2A	31(株)	〃
	採種用母株(実生苗)		
	ENG	200(本)	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ETC	100(本)	〃
	ITC	260(本)	〃
	AZP2	100(本)	〃
	EZ	618(本)	〃
	Ha	1,952(本)	〃
SpB	320(本)	〃	

4 県有種雄牛の精液の供給

(畜産研究所種山畜産研究室:平成26年3月31日現在)

(1) 黒毛和種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
菊福秀	635	597	656	733	692	694	672	773	634	640	632		7,358
菊安舞鶴	113	91	111	128	128	90	93	85	77	67	43		1,026
来待招福	105	208	185	163	136	116	109	140	136	95	69		1,462
金菊徳	0	20	0	0	0	40	0	10	0	0	0		70
飛良美継	273	26	20	24	0	30	10	10	15	0	0		408
雪乃花	135	122	105	44	128	95	119	55	50	70	70		993
花安勝	113	225	350	80	232	268	367	345	358	417	378		3,133
秀福安	45	15	40	42	50	25	0	20	10	5	15		267
月山桜	209	261	222	170	46	50	122	95	53	100	17		1,345
北真鶴	10	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0		15
花金幸	40	0	0	0	0	0	0	100	5	30	70		245
第5八雲	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0		10
緑乃大地	0	0	0	0	0	0	0	0	40	20	100		160
絹美継	0	0	0	0	0	0	0	0	70	70	30		170
純康大	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0		2
優成	0	0	0	0	0	0	0	20	0	10	2		32
照成	0	0	0	50	20	5	0	2	0	0	0		77
春奈	0	0	0	0	0	0	30	25	0	0	0		55
山根雲	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5	3		13
平花丸	5	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0		20
その他	95	143	140	58	85	113	128	216	275	220	186		1,659
計	1,778	1,708	1,829	1,494	1,527	1,531	1,655	1,911	1,723	1,749	1,615	0	18,520

(2) 日本短角種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
松秋	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		10
糸月	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0		20
波辰	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	4		24
福藤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
川辰	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0		30
木川12	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0		30
慶一	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0		15
辰錦	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		5
辰福	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
辰郎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
高福	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
計	15	35	0	0	0	0	0	80	0	0	4	0	134

5 種豚、種鶏等の配布

(畜産研究所家畜育種研究室:平成25年3月31日現在)

(1) 種豚の配布

品 種	種 類			配 布 先
	雌(頭)	雄(頭)	計(頭)	
L	2	1	3	県内養豚農場
B	3	0	3	県内養豚農場
LW	0	0	0	
計	5	1	6	

(2) 種鶏等の配布

品 種	種 類			配 布 先
	雌(羽)	雄(羽)	計(羽)	
南部かしわ雛	3,312	838	3,850	岩手しずくいし南部かしわ生産組合他

6 寄託放牧

(畜産研究所外山畜産研究室:平成26年3月31日現在)

(1) 牛

品 種	種 類			計(頭)
	成牛雌(頭)	成牛雄(頭)	子牛(頭)	
日本短角種	54	1	46	101

(2) 馬

品 種	種 類			計(頭)
	成馬雌(頭)	成馬雄(頭)	子馬(頭)	
ブル系等	8	3	5	16

VIII 人事、予算、財産

Ⅷ 人事、予算、財産

1 岩手県農業研究センター予算 (H25年度・2月現計)

(単位:千円)

区 分	(内 訳)	予 算 額
【農業費】		
人件費(本部・県北)		750,763
庁舎管理費(本部)		121,138
ほ場管理費(本部)		50,624
ふれあい公園管理運営費		13,569
庁舎管理費(県北)		25,184
ほ場管理費(県北)		4,483
試験研究費(国庫、委託試験等)		281,836
(1)植物防疫研究費	11,727	
(2)土壌対策研究費	4,049	
(3)外部資金等農業試験研究費	266,060	
高生産性農業新技術開発促進研究費(県単研究費)		19,416
主要農作物採種管理費		18,905
令達事業(本部)		
令達事業(県北)		
合 計		1,285,918
【畜産業費】		
人件費(畜産)		457,534
庁舎管理費		63,661
飼育管理費		115,893
管理運営費(種山畜産研究室分)		124,609
試験研究費(国庫、委託試験等)		6,801
農業関係試験研究委託事業	6,801	
高生産性畜産新技術開発促進研究費(県単研究費)		17,134
令達事業		
合 計		785,632
全 体 計		2,071,550

2 建物・用地の面積及び飼養家畜数 (H26.3.31現在)

(1) 建物・用地の面積

	用 地 (ha)							建物(m ²)		
	耕 地					林野等	施設用地	総面積	棟数	延面積
	水田	畑	樹園地	採草放牧地	小計					
本 部	30	28	21		79	16	23	118	73	27,776
北 上	26	18	21		65		18	84	32	19,198
【主な施設面積(内数)】										
管理棟										2,911
実験研究棟										5,057
作物調査研究棟										716
育苗ガラス温室										992
穀物乾燥原種調整調査棟										860
園芸作物調査棟										716
生産環境調査棟										608
ふれあい公園						16	2	17	13	3,431
南部園芸研究室							0.5	0.5	8	1,832
旧銘柄米開発研究室	4	1			5		2	7	25	4,306
その他		8			8		0	8	3	841
畜産研究所		136		1,535	1,671	399	38	2,108	181	36,427
滝沢(本所)		22		64	86	50	33	165	124	23,299
外山畜産研究室		6		1,471	1,477	241	5	1,722	42	6,676
種山畜産研究室		63		50	112	108	0	221	15	6,452
県北農業研究所	1	11	0		12		8	20	17	8,083
合 計	31	175	21	1,535	1,763	415	69	2,246	271	72,286

(2) 飼養家畜頭数 (H26.2.1現在)

(単位:頭・羽)

種別性別		雄	雌	計	品種別頭羽数
乳用牛	経産牛		41	41	ホルスタイン種 74
	育成牛(子牛含む)		33	33	
肉用牛	(滝沢)	57	46	103	黒毛和種 40、日本短角種 57、交雑種 6
	(外山)	(雄29, 去勢28)	129	129	
	(種山)	95	54	149	
		(雄63, 去勢32)			
牛 計		152	303	455	
豚	種豚	15	21	36	【種豚の内訳】
	その他	47	47	94	
	計	62	68	130	
鶏	種鶏	473	1,558	2,031	岩手地鶏 265、岩手大型ロード 409、基礎鶏 354、ホワイトロックロード 662、軍鶏 292、ホワイトロック 49

3 種苗登録、特許等

(1) 種苗登録

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日	備 考
りんどう	いわて	第 311号	S52. 9. 7	育成者権消滅
りんどう	いわて乙女	第 544号	S59. 3.19	〃
りんどう	ジョバンニ	第 1,101号	S61. 8. 8	〃
りんどう	イーハトーヴォ	第 1,100号	S61. 8. 8	〃
大豆	緑良	第 2,517号	H 2.12. 5	〃
大豆	緑翠	第 2,516号	H 2.12. 5	〃
りんどう	アルビレオ	第 2,553号	H 2.12. 5	〃
りんどう	マシリイ	第 3,073号	H 4. 2.29	〃
りんどう	ホモイ	第 3,074号	H 4. 2.29	〃
ぶどう	エーデルアーリー	第 3,404号	H 5. 3.10	〃
りんご	きおう	第 3,947号	H 6. 3.14	〃
りんどう	アルタ	第 4,085号	H 6. 8.22	〃
稲	かけはし	第 4,410号	H 7. 3.23	〃
稲	ゆめさんさ	第 4,411号	H 7. 3.23	育成者権放棄
りんどう	ポラーノ ホワイト	第 4,999号	H 8. 3.18	育成者権消滅
りんどう	あおこりん	第 7,713号	H12. 2.22	品種登録取消
りんどう	ももこりん	第 7,714号	H12. 2.22	
りんどう	ポラーノ ブルー	第 7,715号	H12. 2.22	
大豆	星めぐり	第 7,756号	H12. 2.22	
稲	吟ぎんが	第10,471号	H14. 9. 4	
スターチス	アイスター モーブ	第10,673号	H14. 9.30	育成者権放棄
スターチス	アイスター ラベンダー	第10,674号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ライラックブルー	第10,675号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ロージーピンク	第10,676号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ライラック	第10,677号	H14. 9.30	〃
稲	ぎんおとめ	第10,963号	H15. 2.20	品種登録取消
大豆	ちやげ丸	第11,099号	H15.3.17	
大豆	ぶっくらこ	第11,100号	H15.3.17	
稲	いわてっこ	第12,177号	H16. 8.18	
きく	アイمامアーリーイエロー	第13,034号	H17. 3.23	
きく	アイمامホワイト	第13,035号	H17. 3.23	
きく	アイمامピンク	第13,036号	H17. 3.23	
きく	アイمامイエロー	第13,037号	H17. 3.23	
きく	アイمامホワイトピーチ	第13,038号	H17. 3.23	
稲	もち美人	第13,295号	H17. 9.13	

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日	備 考
りんご	黄香	第13,771号	H18. 2.27	
きく	アイمامレモンイエロー	第13,800号	H18. 2.27	
きく	アイمامオータムホワイト	第13,801号	H18. 2.27	
きく	アイمامパープルレッド	第13,802号	H18. 2.27	
きく	アイمامアーリーホワイト	第13,803号	H18. 2.27	
きく	アイمامオレンジ	第15,952号	H19.12.18	
きく	アイمامレッド	第15,953号	H19.12.18	
稲	どんぴしゃり	第16,604号	H20. 3.17	
りんどう	マジエル	第16,725号	H20. 3.17	
りんどう	キュースト	第16,726号	H20. 3.17	
スターチス	アイスター ソフトピンク	出願番号第18,507号	出願(H17. 7. 8)	登録申請取り下げ
きく	アイمامオータムイエロー	第17,727号	H21. 3. 6	
きく	アイمامオータムレッド	第17,728号	H21. 3. 6	
きく	アイمامピュアホワイト	第17,968号	H21. 3.19	
りんご	岩手7号(商標:紅いわて)	第18,415号	H21. 9.10	
りんどう	いわて夢あおい	第18,762号	H22. 1.14	
りんどう	ももずきんちゃん	第20,210号	H23. 1.25	
りんどう	いわてDPB1号	第20,345号	H23. 2.15	
稲	かぐやの舞	第20,350号	H23. 2.15	
稲	つづみ星	第20,351号	H23. 2.15	
稲	つづみのり	第20,535号	H23. 3. 9	
稲	あけのむらさき	第20,710号	H23. 3.18	
稲	吟さやか	第20,711号	H23. 3.18	
稲	ゆきおとめ	第20,712号	H23. 3.18	
稲	つづゆたか	第20,716号	H23. 3.18	
ひえ	ねばりっこ1号	第21,577号	H24. 3. 9	
ひえ	ねばりっこ2号	第21,578号	H24. 3. 9	
ひえ	ねばりっこ3号	第21,579号	H24. 3. 9	
りんご	大夢	第22,369号	H25. 3. 6	
ぶどう	エーデルロツソ	第22,547号	H25. 3.25	
りんどう	いわて夢みのり	第22,946号	H26. 1.23	
稲	結の香	出願番号第27,277号	出願(H24. 8. 6)	
りんどう	いわて夢みつき	出願番号第27,278号	出願(H24. 8. 6)	
稲	きらほ	出願番号第27,998号	出願(H25. 3.15)	
あわ	ゆいこがね	出願番号第28,551号	出願(H26. 2. 5)	

(2) 特許、実用新案

名 称	出願・公開番号(年月日)	登録番号(年月日)
米を原料とした飲料の製造方法	特開平03-272671 (H 3.12. 4)	1990534(H 7.11. 8) ※H22. 3.19存続期間満了
牧草種子の播種方法及び牧草種子の散布用の複合肥料ペレット	特開平10-276514 (H10.10.20)	(公開・拒絶査定)
マクロシードペレットの散布装置	特開平10-276516 (H10.10.20)	(公開・拒絶査定)
遺伝子導入りんご及びその作出法	特開2000-270700 (H12.10. 3)	(公開・拒絶査定)
果樹の育成状態評価方法	特開2004-147539 (H16. 5.27)	4026684(H19.10.19)
土壌用有機成分の推定装置	特開2005-017115 (H17. 1.20)	3902160(H19. 1.12)
ハトムギ食品の製造方法	特開2005-040104 (H17. 2.17)	3842253(H18. 8.18)
家畜用胚移植器	特開2006-181078 (H18. 7.13)	4111523(H20. 4.18)
降霜予測装置	特開2006-189403 (H18. 7.20)	4053544(H19.12.14)
有機肥料の製造方法及び有機肥料	特開2006-265027 (H18.10. 5)	4240492(H21. 1. 9)
物質の成分推定方法及び物質の成分推定装置	特開2007-187486 (H19. 7.26)	4258780(H21. 2.20)
水田作業機の排水溝形成装置	特開2010-124775(H22. 6.10)	4854045(H23.11. 4)
りんごの鮮度保持用包装袋及びりんごの保存方法	特開2010-163197(H22. 7.29)	(公開・拒絶査定)
高設栽培装置及びこれを用いた高設栽培方法	特開2010-227008(H22.10.14)	4900735(H24. 1. 13)
樹皮繊維培土の製造方法及び樹皮繊維培土	特開2012-024006(H24. 2. 9)	5013558(H24. 6.15)
切断装置	特願2013-084786(H25. 4.15)	(出願中)
植物の栽培方法および植物の栽培装置	特願2014-051011(H26. 3.14)	(出願・審査請求中)

(3) 一般に公開しているプログラム等

名 称	公 開 (年月日)	バージョン	担当研究室(開発者)
「生産技術体系」及び「営農計画作成支援シート」	平成18年 2月22日	ver.1.2	農業経営研究室 (主任専門研究員 前山 薫)
集落営農組織化効果試算シート	平成18年 6月 9日	ver.0.1	農業経営研究室 (主任専門研究員 前山 薫)
作業可能日数率算出支援シート	平成19年 3月30日	ver.1.0	生産工学研究室 (主任専門研究員 大里 達朗)
水稻施肥設計支援シート	平成21年 7月 6日	ver.3.0	生産環境研究室 (主任専門研究員 大友 英嗣)
園芸畑作施肥設計支援シート	平成24年 2月 7日	ver.1.0	生産環境研究室 (主任専門研究員 大友 英嗣)

4 表彰

表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)				表彰の対象となった事績内容	表彰年月日
研究功労者表彰 (全国農業関係試験研究場所長会)	岩手県生物工学研究所長 (前技術部作物研究室長)			佐々木 力	耐冷性等に優れる寒冷地向け 水稲品種の育成	25.6.25
(内部表彰) 農林水産部長表彰	技術部 ※グループ ○印はリーダー、以下 同じ	南部園芸研究室	室長 主査専門研究員 主任専門研究員 主任専門研究員	○佐々木 裕二 山田 修 小田島 雅 藤尾 拓也※ ※現:野菜花き研究 室	新技術実用化による「復興イチ ゴ」と沿岸地域への導入	25.10.30
	県北農業研究所	作物研究室	主査専門研究員	仲條 真介	オリジナル雑穀品種3作物(ヒ エ、アワ及びキビ)5品種を有望 系統から選抜、品種育成した。 また、県立大学との共同により 「岩手県雑穀遺伝資源データ ベース」のシステムを構築した。	26.3.26
(内部表彰) 平成25年度第1回 農業研究センター 所長表彰 (通算23回)	企画管理部	総務課	主幹兼総務課長	澤口 総一	労働災害ゼロに向けた全所的 予防システムの構築	25.7.30
	技術部	野菜花き研究室	主任専門研究員	山口 貴之	消防団活動を通じた地域防災 への貢献と信頼の向上	
	技術部 ※グループ	南部園芸研究室	室長 主査専門研究員 主任専門研究員	○佐々木 裕二 山田 修 小田島 雅	県内企業との連携による大規模 な共同研究を推進	
	環境部	病理昆虫研究室	主任専門研究員	岩舘 康哉	キュウリホモブシス根腐病に関 する研究により博士号を取得	
	病害虫防除部		主任	宍戸 貴洋	水稲育苗期の細菌病被害回避 に向けた防除指導対策への貢 献	
(内部表彰) 平成25年度第2回 農業研究センター 所長表彰 (通算24回)	プロジェクト 推進室 ※グループ		主任専門研究員 主任専門研究員	○寺田 道一 白井 智彦	岩手県における水稲鉄コーティ ング直播栽培関連技術の開発	26.2.17
	プロジェクト 推進室 ※グループ		主任専門研究員 上席専門研究員 主任技能員	○藤田 智美 高橋 昭喜 菅野 輝彦	水田転換畑収益性向上関連技 術の開発	
	企画管理部 ※個人	研究企画室	主任専門研究員	伊勢 智宏	アウトカムを意識した農業者や 県民に対する分かりやすい情 報を多数発信	
	企画管理部 ※個人	農業経営研究室	室長	小野寺 郁夫	農業構造政策に対応する部内 横断的組織の設置に貢献	
	企画管理部 ※個人	総務課	主査	茨島 あゆみ	大会議室天井落下後の迅速な 修繕対応	
	技術部 ※個人	果樹研究室	主査専門研究員	及川 耳呂	りんご「紅いわて」の収穫適期判 断技術の開発	
	技術部 ※グループ	作物研究室	主任専門研究員 主任専門研究員	○伊藤 信二 小原 公則	良質多収ダイズ新品種「シュウ リュウ」及び製パン性に優れるコ ムギ新品種「銀河のちから」の 採用に貢献	
	技術部 ※グループ	野菜花き研究室	主任専門研究員 上席専門研究員	○中里 崇 藤原 一道	形質が優れる彼岸需要向けリン ドウ新品種の育成に貢献	
	技術部 ※グループ	南部園芸研究室	主査専門研究員 主任専門研究員	○山田 修 小田島 雅	本県沿岸部の気候条件を生か した夏秋どりイチゴの技術確立 に貢献	
	環境部 ※個人	生産環境研究室	主任専門研究員	佐藤 喬	鶏ふんたい肥に尿素を添加し たL型肥料の開発	
	環境部 ※個人	生産環境研究室	専門研究員	高橋 彩子	県内水田・畑土壌の30年間の 施肥管理等と化学性の変化	
	環境部 ※個人	生産環境研究室	主任専門研究員	島 輝夫	ガレキ分別土の農地作土利用 における水稲生育への影響	
	環境部 ※個人	病理昆虫研究室 病害虫防除部	主任専門研究員 主任主査	○羽田 厚 大友 令史	部横断的な取組によるりんご新 規害虫「ヒメボクトウ」防除対策	
	環境部 ※個人	病理昆虫研究室	主任専門研究員	岩舘 康哉	ホウレンソウの新規病害「白斑 病」及び重要病害「萎凋病」の 防除技術開発	
	環境部 ※個人	病理昆虫研究室	上席専門研究員	多田 典徳	天敵製剤と物理的防除を組合 せた果菜のアザミウマ類防除対 策	

表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)				表彰の対象となった事績内容	表彰年月日		
(内部表彰) 平成25年度第1回 農業研究センター 畜産研究所長表彰 (通算10回)	畜産研究所 ※グループ	総務課	主任	○鷺田 昭雄	種山畜産研究室の職員の病休期間に、自らの業務多忙にかかわらず、現地に向いて事務を支援し、同研究室運営の円滑に大きく貢献	26.2.28		
			主任主査	近藤 光宏				
	畜産研究所 ※個人	家畜育種研究室	主査専門研究員		児玉 英樹		肥育牛飼料中の特定成分比(NFC/DIP)と尿石症発症との関連性を明らかにし、肥育経営の安定に資する成果を上げるとともに、自らの家畜診療技術向上に努め、場内で飼養する牛の健康確保に貢献	
			畜産研究所 ※グループ	家畜育種研究室	主査専門研究員		○佐々木 睦美	種鶏への飼料給与制限技術の導入により、産卵率の維持と疾病発生予防を図りながら、飼料費の削減等鶏舎管理運営の改善に貢献
	総務課	主任技能員			右京 隆二			
		主任技能員			鷺見 義信			
	畜産研究所 ※グループ	家畜育種研究室	主査専門研究員		○佐々木 康仁		豚への飼料用米給与が豚肉の美味しさ向上につながることを現地実証し、美味しい豚肉生産技術の確立に貢献	
			総務課	主任技能員				米沢 健治
				技能員				西野 聖
				技能員				荒屋 康之
	畜産研究所 ※グループ	総務課	主任技能員		○永洞 俊司		自主的に習得したFRP修繕技術を活用して腐食した牛房柵の補修に根気強く取り組み、施設の耐久性向上等牛舎管理運営に貢献	
			主任技能員		細野 貴樹			
			主任技能員		菅原 薫			
			技能員		葉木澤 一也			
	畜産研究所 ※グループ	家畜飼養・飼料研究室	主任専門研究員		○齋藤 浩和		乳牛の搾乳時間の画期的な変更と的確な飼養管理の徹底により、乳牛の健康を損ねることなく、常態化していた過重な超過勤務の大幅な縮減に貢献	
			主任専門研究員		伊藤 孝浩			
			総務課	主任技能員				小林 雄二
				主任技能員				上野 由克
				主任技能員				中村 健
				主任技能員				水澤 博征
畜産研究所 ※個人	家畜飼養・飼料研究室	主任専門研究員		佐藤 まり子	牧草地の除染対策に関連して、土壌の攪拌状況と牧草の放射性物質吸収との関連性を明らかにするとともに、高濃度カリ施用で生産された牧草のミネラルバランスを明らかにすることにより、本県畜産物の安全・安心確保に貢献			
		畜産研究所 ※グループ	家畜飼養・飼料研究室	専門研究員		○山形 広輔	飼料生産管理の的確な実施により収量を例年より約5割増加させるとともに、農業機械の適切な管理により修繕費を低減させるなど、飼料生産業務の向上に貢献	
				主任専門研究員		尾張 利行		
			総務課	主任技能員		工藤 明彦		
				技能員		島山 博文		
				技能員		谷地館 透		
技能員				武田 溪介				
非常勤専門職員		関村 武志						

表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)				表彰の対象となった事績内容	表彰年月日
(内部表彰) 平成25年度第1回 農業研究センター 畜産研究所長表彰 (通算10回)	畜産研究所 ※グループ	総務課	日々雇用職員	○山口 はる美	牧草地の除染対策に伴う分析業務において、作業の効率化等に取り組み、2千点を超える牧草・土壌の分析を円滑に遂行し、本県畜産物の安全・安心確保に貢献	26.2.28
			日々雇用職員	上川原 幸子		
			日々雇用職員	大森 由香子		
	畜産研究所 ※グループ	外山畜産研究室	専門研究員	○佐々木 正俊	経年劣化が進行していた屋外パドックの低コストな改修に取り組み、飼養牛の管理における安全確保と業務の効率化に貢献	
			非常勤専門職員	室坂 光榮		
	畜産研究所 ※グループ	外山畜産研究室	技能員	○鳴海 茂樹	平成25年度の放牧看視業務において、放牧期間中の的確な観察・対処により、死廃事故ゼロを達成し、預託者の信頼向上に貢献	
			期限付臨時職員	八重畑 功		
			期限付臨時職員	舘 春美		
	畜産研究所 ※グループ	外山畜産研究室	主任技能員	○竹田 政則	課題であった夏季放牧地及び冬季畜舎での飲料水不足について、構内給排水状況の調査を基に、給水経路の確保及び屋外給水用水槽の補修などを実施し、飲用水不足の解消に貢献	
			非常勤専門職員	藤原 時夫		
	畜産研究所 ※グループ	外山畜産研究室	主査専門研究員	○大田原 健二	繁殖部門において、的確な県有種雄牛の交配利用と飼養管理の実践により、市場性の高い子牛を生産・育成し、県有種雄牛産子の評価向上に貢献	
			主任技能員	荒木田 俊一		
畜産研究所 ※グループ	種山畜産研究所	主査専門研究員	○西田 靖	県有種雄牛精液の利用を促進するため、人工授精師へのダイレクトメールや講習会での主体的な対応等、新たな取組を積極的に実施し、シェア改善に貢献		
		主査専門研究員	今野 一之			
		技師	大崎 翔			
(内部表彰) 平成25年度第1回 農業研究センター 県北農業研究所長表彰 (通算7回)	県北農業研究所 ※個人	園芸研究室	上席専門研究員	藤沢 巧	通行中路上脇に倒れる高齢男性を目撃するや否や消防に通報するとともに、介抱に当たり救急隊に円滑に引継し人命の救助に貢献した。	25.7.29
(内部表彰) 平成25年度第2回 農業研究センター 県北農業研究所長表彰 (通算8回)	県北農業研究所 ※個人	作物研究室	上席専門研究員	大里 達朗	平成25年度における水稲品種「いわてっこ」の障害不稔発生の解析	26.2.28
	県北農業研究所 ※個人	園芸研究室	上席専門研究員	藤沢 巧	土壌くん蒸剤による難防除雑草ゴウシュウアリタソウの防除効果の解明	
	県北農業研究所 ※個人	作物研究室	上席専門研究員	中西 商量	雑草発生量の少ない雑穀畑輪作技術の確立	
	県北農業研究所 ※個人	作物研究室	主査専門研究員	仲條 眞介	顔色の濃い大粒品種「キビ岩手糯1号」の育成	
	県北農業研究所 ※個人	園芸研究室	主査専門研究員	鹿糠 美雪	県北地域における無側枝性ギク(露地栽)の窒素施肥量の解明	
	県北農業研究所 ※個人	園芸研究室	専門研究員	武田 純子	加工業務用に求められるM規格のねぎ栽培に適した栽培密度の解明	
	県北農業研究所 ※グループ	作物研究室	上席専門研究員	○大里 達朗	水稲新品種「きらほ」、アワ新品種「ゆいこがね」の新需要創出に向けた商品開発等の連携活動	
総務課			主査専門研究員	仲條 眞介		

5 職員名簿

(平成26年3月31日現在)

職名	氏名	職名	氏名
所長	木内豊	[作物栽培・種子チーム]	
副所長	(欠員)	上席専門研究員(総括)	高橋智宏
プロジェクト推進室長	扇良明	主査専門研究員	尾形茂
[水田農業チーム]		主任専門研究員	小原公則
上席専門研究員(総括)	高橋昭喜	主任専門研究員	伊藤信二
主任専門研究員	寺田道一	野菜花き研究室長	本田純悦
主任専門研究員	白井智彦	[野菜チーム]	
主任専門研究員	藤田智美	上席専門研究員(総括)	漆原昌二
主任技能員	菅野輝彦	主査専門研究員	内藤善美
企画管理部長	阿部潤	主任専門研究員	山口貴之
研究企画室長	及川光史	主任専門研究員	藤尾拓也
[企画チーム]		[花きチーム]	
上席専門研究員(総括)	熊谷拓哉	上席専門研究員(総括)	藤原一道
主査専門研究員	土田泰輔	主査専門研究員	星伸枝
主任専門研究員	伊勢智宏	主任専門研究員	赤坂志保
主任専門研究員	大野浩	主任専門研究員	中里崇
専門研究員	田中英輝	南部園芸研究室長	佐々木裕二
農業経営研究室長	小野寺郁夫	主査専門研究員	山田修
[経営チーム]		主任専門研究員	小田島雅
上席専門研究員(総括)	村上和史	環境部長	多田勝郎
主任専門研究員	土澤一博	生産環境研究室長	小林卓史
主任専門研究員	松浦貞彦	[環境チーム]	
主幹兼総務課長	澤口総一	上席専門研究員(総括)	佐藤喬
[総務チーム]		上席専門研究員	島輝夫
主任主査(総括)	吉田勝	主査専門研究員	菊地淑子
主任	畠山聡子	主任専門研究員	桐山直盛
主事	佐々木あき子	専門研究員	高橋彩子
[管理チーム]		主任技能員	佐藤広昭
主査(総括)	茨島あゆみ	技能員	猪澤哲哉
主任	高橋俊也	病理昆虫研究室長	一守貴志
技術部長	及川一也	[病理チーム]	
果樹研究室長	小原繁	主査専門研究員(総括)	富永朋之
[果樹チーム]		主任専門研究員	岩舘康哉
主査専門研究員(総括)	及川耳呂	専門研究員	菅広和
主査専門研究員	川守田真紀	[昆虫チーム]	
主任専門研究員	浅川知則	上席専門研究員(総括)	多田典穂
技師	田口礼人	主任専門研究員	羽田厚
主任技能員	菊地徳章	技師	久保田真衣
技能員	西野哲仁	病害虫防除部長	築地邦晃
技能員	小黒澤清人	病害虫防除課長	田中英樹
技能員	中軽米徳典	[予察・防除チーム]	
作物研究室長	菅原浩視	主任主査(総括)	大友令史
[水稻育種チーム]		主任	穴戸貴洋
上席専門研究員(総括)	小綿寿志	技師	村上太郎
主査専門研究員	野々上慈徳	[農業指導チーム]	
主任専門研究員	小舘琢磨	主任主査(総括)	名久井一樹
専門研究員	川代早奈恵	主任	阿部弘
技師	太田裕貴	主任	吉田雅紀
		技師	山本明日香

職名	氏名	職名	氏名
畜産研究所長	高橋喜和夫		
次長	袴田尚武	外山畜産研究室長	熊谷光洋
次長	山田和明	主査専門研究員	増田隆晴
次長	菊池雄	主査専門研究員	太田原健二
主幹兼総務課長	大峠英光	専門研究員	佐々木正俊
主任主査	近藤光宏	主任技能員	荒木田俊一
主任	鷺田昭雄	主任技能員	竹田政則
主任技能員	小林雄二	技能員	鳴海茂揮
主任技能員	米澤健治	種山畜産研究室長 (次長兼務)	菊池雄
主任技能員	右京隆二	主査専門研究員	西田清
主任技能員	工藤明彦	主査専門研究員	今野一之
主任技能員	上野由克	主任	村上和也
主任技能員	中村健	専門研究員	大崎翔
主任技能員	菅原薫	主任技能員	斎藤和一
主任技能員	永洞俊司	主任技能員	佐藤洋貴
主任技能員	細野貴樹	主任技能員	松本徹
主任技能員	鷺見義信	主任技能員	後藤克明
主任技能員	水澤博征	技能員	
技能員	畠山博文	県北農業研究所長	菊池利行
技能員	上澤賢輝	次長	小菅裕明
技能員	谷地館透	総務課長	高橋啓三
技能員	葉木澤一也	主任主査	竹澤秀典
技能員	荒屋康之	運転技士兼技能員	日山千代司
技能員	西野聖	技能員	清水賢一
技能員	武田溪介	技能員	藤根寛道
家畜育種研究室長	齋藤久孝	園芸研究室長	鈴木良則
主査専門研究員	佐々木睦美	上席専門研究員(総括)	藤沢巧
主査専門研究員	児玉英樹	主査専門研究員	鹿糠美雪
主任専門研究員	鈴木強史	主任専門研究員	横田啓
専門研究員	佐々木康仁	専門研究員	武田純子
専門研究員	神山洋	作物研究室長(次長兼務)	小菅裕明
専門研究員	熊谷祐宏	上席専門研究員(総括)	大里達朗
家畜飼養・飼料研究室長	藤原哲雄	上席専門研究員	中西商量
主任専門研究員	佐藤まり子	主査専門研究員	仲條眞介
主任専門研究員	伊藤孝浩		
主任専門研究員	尾張利行		
主任専門研究員	齋藤浩和		
専門研究員	山形広輔		

IX 東日本大震災津波への対応

Ⅸ 東日本大震災への対応

1 農業研究センター震災復興加速プロジェクトチームの活動

(1) チーム会議の開催

会議の名称	開催回数	延べ対応者数
復興加速プロジェクトチーム会議	5	60

(2) 研修会、セミナーの開催

研修会・セミナー	開催日	延べ参加者数
沿岸地域農業復興セミナー	H26.3.12	41
リンゴフェザー苗育成現地研修会	H25.9.12	20
北限のユズ栽培セミナー	H25.11.7	40
中小区画土地利用型現地検討会	H25.10.22	40
中小区画土地利用型営農技術の実証研究現地報告会	H26.2.4	50

(3) 復興支援業務の実施

業務内容	実施日数	延べ対応者数
復旧水田での地力改善による水稲安定生産実証	100	200

2 放射性物質に係る農業技術対策調査検討チームの活動

業務内容	実施日数	延べ対応者数
本部		
前年度に改良した大豆圃場における作付前土壌調査	5	10
農作物及び土壌における放射性物質のモニタリング調査	20	40
平成24年度大豆検査で放射性セシウムを検出した大豆の要因調査	20	40
平成25年度大豆検査で放射性セシウムを検出した大豆の要因調査	20	40
牧草のコンテナ栽培によるセシウム吸収に関する基礎試験	20	40
畜産研究所		
原乳放射線測定	19	38
牧草等放射線検査 25年4月1日～26年3月31日	120	180
廃用牛の生体推定検査(岩手畜産流通センター)25年4月1日～26年3月31日	46	46

※本部の実施日数、延べ対応者数は中央農業改良普及センター(県域)を含む

3 復旧・復興支援の取組み紹介(農業研究センター主催含む)

会議等の名称	主催者	研究室名	発表者職・氏名	参加者数(人)
「いわての復興を自治の進化に」 第1回シンポジウム	岩手県 岩手県教育委員会	南部園芸研究室	主査専門研究員 山田 修	100

X 沿革

X 沿革

- 明治31年 種馬厩を盛岡市に設置。
- 明治34年 農事試験場(3部制:庶務・種芸・分析)を本宮村向中野(現盛岡市)に設置。
種馬厩を種畜場と改称。
- 明治35年 種畜場を盛岡市から滝沢村に移転。
- 明治36年 農事試験場に園芸部(4部制)を新設。
- 大正 2年 原蚕種製造所を胆沢郡水沢町(現奥州市水沢区)に設置。
- 大正 8年 農事試験場胆江分場を江刺郡愛宕村(現奥州市江刺区)に設置。
- 大正11年 原蚕種製造所を蚕業試験場(4係制:庶務・蚕種・試験・桑園)と改称。
- 大正12年 農事試験場に病虫部(5部制)を新設。
外山御料牧場を種畜場に移管し、種畜場本場を玉山村(現盛岡市玉山区)に移転(滝沢は支場となる)。
- 昭和 2年 種鶏場を岩手郡巻掘村(現盛岡市玉山区)に設置。
- 昭和 5年 農事試験場軽米農場を九戸郡軽米町に設置。
蚕業試験場一戸桑園を二戸郡一戸町に設置。
- 昭和10年 農事試験場遠野試験地を上閉伊郡松崎村(現遠野市)に設置。
- 昭和12年 種畜場本場を滝沢村に移転、玉山は外山支場となる。
蚕業試験場六原桑樹試験地を金ヶ崎町に設置。
- 昭和13年 蚕業試験場一戸桑園を一戸支場と改称。
- 昭和15年 農事試験場軽米農場を九戸分場と改称。
- 昭和21年 農事試験場高冷地試験地を二戸郡小鳥谷村(現一戸町)に設置。
- 昭和22年 農事試験場遠野試験地が国営に移管。
- 昭和23年 種鶏場を紫波郡日詰町(現紫波町)に移転。
- 昭和25年 農事試験場を農業試験場(4部制:総務・営農・農産・畜産)と改称。
農業試験場畜産部を種畜場と併設。
農業試験場葡萄試験地を稗貫郡大迫町(現花巻市大迫町)に設置。
農業試験場沿岸作物試験地を九戸郡長内村(現久慈市)、下閉伊郡豊間根村(現山田町)及び気仙郡小友村(現陸前高田市)に委託設置。
- 昭和26年 農業試験場南部試験地を気仙郡米崎村(現陸前高田市)に設置。
農業試験場に遠野試験地が国から移管。
農業試験場に農業経営研究部門設置。
工芸作物原種農場を雫石町に設置。
- 昭和28年 蚕業試験場を水沢市(現奥州市水沢区)龍ヶ馬場に移転。
- 昭和30年 農業試験場本場機構改革(8部制:庶務・種芸・化学・園芸・病虫・経営・農機具・畜産)。
蚕業試験場機構改革(4部制:庶務・栽桑・養蚕・病理化学)。
- 昭和32年 蚕業試験場一戸支場を一戸分場と改称。
- 昭和36年 蚕業試験場一戸分場を二戸郡一戸町上野に新築移転。
- 昭和37年 農業試験場の園芸部、南部試験地及びぶどう試験地を分離して園芸試験場(3部制:庶務・果樹・蔬菜花卉)を北上市に設置。南部試験地及びぶどう試験地をそれぞれ、南部分場、大迫圃場と改称。
農業試験場胆江分場及び九戸分場をそれぞれ、県南分場、県北分場と改称。
種畜場に種鶏場及び農業試験場畜産部を併合して畜産試験場を滝沢村に設置。
農業試験場遠野試験地及び沿岸作物試験地を廃止。
工芸作物原種農場を農業試験場に統合し、原種部を設置。
- 昭和38年 農業試験場本場を盛岡市から滝沢村へ移転。
- 昭和39年 畜産試験場外山支場を外山試験地と改称。
- 昭和41年 農業試験場本場機構改革(4部制:庶務2係・技術・環境・経営)。
- 昭和44年 園芸試験場蔬菜花卉部を野菜花き部に改称。
- 昭和46年 農業試験場本場機構改革(科制導入。技術部:水田作科・畑作科・作業技術科、環境部:施肥改善科・土壤改良科・病害虫科、経営部:経営科・流通経済科)。
農業試験場県南分場及び県北分場に分場次長を設置。
農業試験場高冷地試験地を園芸試験場へ移管し、高冷地分場となる。
園芸試験場に環境部を設置。
園芸試験場大迫圃場を大迫試験地と改称。
畜産試験場外山試験地を外山分場と改称。
- 昭和47年 園芸試験場南部分場を陸前高田市米崎町から同市高田町へ移転。

昭和48年	蚕業試験場六原桑樹試験地を六原試験地と改称。
昭和51年	農業試験場作業技術科を農業機械科に改称。
昭和53年	蚕業試験場六原試験地を廃止。 蚕業試験場養蚕部、病理化学部をそれぞれ養蚕経営部、環境部に改称。
昭和56年	園芸試験場高冷地分場を高冷地開発センターに改称。
昭和57年	蚕業試験場整備計画実施(～昭和58年)。
平成 3年	農業試験場に水稻育種科を設置。
平成 8年	畜産試験場種山肉用牛改良センターを住田町に設置。
平成 9年	農業試験場、蚕業試験場、園芸試験場及び畜産試験場を農業研究センターに再編整備。 農業試験場本場、園芸試験場本場、同大迫試験地及び蚕業試験場本場を統合し、北上市にセンター本部を設置。 農業試験場県南分場及び園芸試験場南部分場をそれぞれ銘柄米開発研究室、南部園芸研究室と改称。 農業試験場県北分場、園芸試験場高冷地開発センター及び蚕業試験場一戸分場を統合し、軽米町に県北農業研究所を設置。 畜産試験場を畜産研究所に改組。 畜産試験場外山分場及び種山肉用牛改良センターをそれぞれ外山畜産研究室、種山畜産研究室に改称。 県北農業研究所に専門技術員を配置。
平成10年	園芸畑作部蚕桑技術研究室繭品質評価分室を盛岡市に設置(繭検定所を廃止)。 センター本部に専門技術員を配置。
平成11年	企画経営情報部マーケティング研究室を農業経営研究室に統合。
平成13年	病害虫部を新設し、病害虫防除課及び病理昆虫研究室を設置。 銘柄米開発研究室、蚕桑技術研究室及び同研究室繭品質評価分室を廃止。 南部園芸研究室を陸前高田市高田町から同市米崎町へ移転。
平成16年	総務部管理課を同部総務課に統合。 県北農業研究所にいわて雑穀遺伝資源センターを設置。 企画経営情報部内にいわて農林水産知的財産相談センターを設置。
平成17年	病害虫防除課県北農業研究所駐在を廃止、病害虫防除所(本部)へ統合。 専門技術員(県北農業研究所勤務)を専門技術員室(本部)へ勤務振り替え。
平成18年	専門技術員室を廃止(中央農業改良普及センターへ勤務振り替え)。 いわて農林水産知的財産相談センターを閉鎖(業務は岩手県知的所有権センターで実施)。
平成20年	センター本部が2プロジェクト推進室4部体制、畜産研究所が1課4研究室、県北農業研究所が1課2研究室に再編整備。
平成23年	プロジェクト推進室を1プロジェクト体制、技術部園芸研究室を果樹研究室と野菜花き研究室に再編整備。 技術部南部園芸研究室(陸前高田市)が東日本大震災で被災し、研究員は本部勤務で研究を継続。
平成25年	技術部南部園芸研究室(陸前高田市)を再建し、研究員は平成26年1月から陸前高田市で勤務。

<所 在>

岩手県農業研究センター		
本 部	〒024-0003	岩手県北上市成田20-1 Tel. 0197-68-2331 FAX. 0197-68-2361 ホームページ http://www2.pref.iwate.jp/~hp2088/ E-mail : CE0008@pref.iwate.jp (本部) E-mail : CE0001@pref.iwate.jp (病害虫防除所)
畜産研究所	〒020-0173	岩手県岩手郡滝沢村字砂込737-1 Tel. 019-688-4326 FAX. 019-688-4327 E-mail : CE0010@pref.iwate.jp
(外山畜産研究室)	〒028-2711	岩手県盛岡市玉山区藪川字大の平40 Tel. 019-681-5011 FAX. 019-681-5012
(種山畜産研究室)	〒029-2311	岩手県気仙郡住田町世田米字飼沢30 Tel. 0197-38-2312 FAX. 0197-38-2177 E-mail : CE0034@pref.iwate.jp
県北農業研究所	〒028-6222	岩手県九戸郡軽米町大字山内23-9-1 Tel. 0195-47-1070 FAX. 0195-49-3011 E-mail : CE0009@pref.iwate.jp

平成 25 年度 岩手県農業研究センター年報

平成 27 年 2 月発行

岩手県農業研究センター

〒024-0003 岩手県北上市成田20-1

TEL (0197) 68-2331 FAX (0197) 68-2361

IWATE-AGRICULTURAL RESEARCH CENTER

20-1Narita,Kitakami Iwate 024-0003,Japan

